

第二十五回衆議院議事速記録第二十四號

明治四十二年三月二十二日(月曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十三號 明治四十二年三月二十二日

午後一時開議

第一 (第二號)明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(貴族院回付)

第二 種痘法案(政府提出(貴族院回付))

第三 東京都制案(貴族院提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 千代田縣設置ニ關スル法律案(貴族院提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 東京都千代田縣組合法案(貴族院提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 新聞紙法案(村松恒一郎君提出)

第十 醫師法中改正法律案(本院提出(貴族院回付))

第十一 齒科醫師法中改正法律案(本院提出(貴族院回付))

第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(根本正君提出(外三名))

第十三 所得稅法中改正法律案(花井卓藏君提出(外一名))

第十四 外交文書公表ニ關スル建議案(小川平吉君提出(外一名))

第十五 韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル建議案(金尾後藤君提出(外六名))

第十六 奥羽南部橫斷鐵道敷設ニ關スル建議案(近江谷榮次君提出(外六名))

第十七 渡良瀨川改修工事速成ニ關スル建議案(武藤金吉君提出(外七名))

第十八 鐵道改築ニ關スル建議案(水品平右衛門君提出)

第十九 滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案(原田十衛君提出(外一名))

第二十 本會長良兩川分水堤閘門設置ニ關スル建議案(森茂生君外八名提出)

第二十一 農科大學増設ニ關スル建議案(木村長君外一名提出)

第二十二 憲政創設功勞者行賞ニ關スル建議案(內藤管一君提出)

第二十三 汽船「トロール」漁業取締ニ關スル建議案(武滿義雄君外一名提出)

第二十四 天鹽北見鐵道速成ニ關スル建議案(東武君外五名提出)

第二十五 治水事業費繰延復活ニ關スル建議案(植場平名提出)

第二十六 「ローマ」字普及ニ關スル建議案(根本正君外三名提出)

第二十七 京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案(岩田信君外九名提出)

第二十八 車輛統一ニ關スル建議案(安東敏之君外一名提出)

第二十九 (特別報告第七二號)中島遊廓設置許可取消ノ請願

第三十 (特別報告第七三號)民屬金下附ノ請願

第三十一 (特別報告第七四號)銅山鑛毒及煙毒排除機裝置採用ノ請願

第三十二 (特別報告第七五號)煙害ニ關スル請願

第三十三 (特別報告第七六號)煙害ニ關スル請願(外一件)

第三十四 (特別報告第七七號)小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願

第三十五 (特別報告第七九號)煙害救濟ノ請願

第三十六 (特別報告第八〇號)銅山鑛毒排除ニ關スル請願

第三十七 (特別報告第七八號)青森港築修ノ請願

第三十八 (特別報告第八一號)加古川改修ノ請願

第三十九 (特別報告第八二號)四日市港修築費國庫補助ノ請願

第四十 (特別報告第八三號)樺太航路開始ノ請願

第四十一 (特別報告第八四號)青森浦鹽間命令航路開始ノ請願

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス
 (書記朗讀)

- 一 貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ
 家祿賞典祿處分ニ關スル法律案
- 一 貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル本院提出砂精消費稅法中改正法律案兩院協議會
 成案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
- 一 森茂生君ヨリ府縣會議員手當ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
 (左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)

府縣會議員手當ニ關スル質問主意書
 府縣會議員手當ニ關スル質問主意書
 右成規ニ據リ提出候也
 明治四十二年三月二十二日
 提出者 森 茂生君
 贊成者 濱名 信平君
 外三十一人

府縣會議員手當ニ關スル質問主意書
 府縣會議員其ノ職務ノ爲メニ受クル費用辨償額即チ手當ハ府縣制第九十四條ニ
 依リ府縣會議員ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム若シ之ヲ許可ス
 ヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ムルノ規定ナリ
 現今ニ於ケル此規定ニ基ツク各府縣會議員ノ受クル費用辨償額ヲ覽ルニ大概年手
 當百圓乃至百五十圓ニシテ其ノ二百圓ニ上ルモノハ僅カニ大阪府外四五ノ府縣ニ
 過キス

抑府縣會議員ハ每年通常會トシテ二十日間臨時會トシテ概ネ七日間ヲ開會スルヲ通例
 ナリトス而シテ之レカ應召ニ要スル往復日數ヲ一回一週間トセハ府縣會議員カ府縣
 會開會ノ爲メニ費ヤス日數ハ約五十日餘トス
 今此日數ヲ五十五日トシ年手當ヲ百三十圓トシテ計算スレハ府縣會議員カ職務
 ノ爲メニ受クル費用辨償額ハ一日僅カニ一圓四十錢未滿ノ割合ニ過キス

方今各地共ニ物價ノ騰貴著シキヲ以テ前記ノ金額ニテハ府縣會議員カ費ヤス所ノ實
 額ヲ支拂フニ足ラサルヤ言フヲ俟タサルナリ
 然ルニ聞クカ如クハ政府ハ該費用辨償額即チ府縣會議員手當標準ヲ內定シアリテ
 府縣會議員ニ於テ其増額ヲ議決スルモ政府ハ該標準ニ準據シテ容易ニ之ヲ許可セスト
 近時往々府縣會議員ニシテ收賄其ノ他破産恥ノ行爲ヲ爲ス者アルヲ見聞ス願フニ
 此ノ如キハ府縣會議員ノ受クル費用辨償額即チ手當ノ少額ニ失スルカ如キモ其ノ

一原因ナリト謂フモ敢テ過言ニアラサルヘシ
 依テ政府ニ對シ府縣會議員ノ受クル費用辨償額即チ手當ニ關シテ左ノ質問ヲ提起
 ス政府ハ之ニ對シ速ニ答辯セラルコトヲ望ム

一 政府ハ府縣會議員ノ受クル費用辨償額即チ手當ノ標準ヲ內定シアリテ府縣會議
 員ノ議決シタル所ノ該費用辨償額即チ手當ハ該標準ニ準據シテ之ヲ許可スト聞ク右ハ
 果シテ事實ナリヤ若シ事實ナリトセハ其標準ナルモノヲ示サレシム

一 政府ハ現今ニ於ケル各地方ノ府縣會議員ノ受クル費用辨償額即チ手當ヲ以テ
 適當ノ額ナリト信スルヤ又地方ニ依リテハ之ヲ増額スルヲ以テ適當ナリト信スルヤ
 將又近キ將來ニ於テハ各地方一般ニ之ヲ増額スルヲ以テ適當ナリト信セサルヤ
 一 政府ハ現今ニ於ケル府縣會議員ノ受クル費用辨償額即チ手當ハ平均何程ノ金
 額ト規定スルヲ適當ナリト信スルヤ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)
 一去ル二十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

- 日本勸業銀行法中改正法律案外二件
 委員 奧 繁三郎君 恆松 隆慶君 大久保弁太郎君
 秋岡 義一君 齋藤 二郎君 加藤 正英君
 鈴木久次郎君 松尾 寅三君 加瀬 禮逸君
- 立木ニ關スル法律案
 委員 鵜澤 總明君 井上 傳作期君 町田 旦龍君
 阿部 政太郎君 渡邊 兵四郎君 森 正君
 鈴木 總兵衛君 世良 靜一君 濱田 國松君
- 一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
 日本勸業銀行法中改正法律案外二件
 委員長 奧 繁三郎君 理事 加瀬 禮逸君
 立木ニ關スル法律案
 委員長 鵜澤 總明君 理事 渡邊 兵四郎君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シマス、委員長齋藤君次君ヨ
 リ北海道拓殖政策確立ニ關スル建議案ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フ請
 求ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ) 呼フ者アリ
 ○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、委員長細川義
 昌君ヨリ漁業法中改正法律案ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フ請求ガアリ
 マス、許可シテ差支アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ) 呼フ者アリ
 ○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス
 ○大竹貫一君 議事ニ關スル件ニ付テチヨット議長ニ御相談ヲシテ見タイト思ヒマス、
 去ル十六日日本員ヨリ議長ニ御請求致シマシテ先月十八日日本員提出シマシタコロノ
 韓國統監政治ニ對シマシテ本員ヨリ質問ヲ致シテ置キマシタコトハ、今日今以テ政府ヨ
 リ何等ノ答辯ガアリマセヌカ、之ヲ以テマシテ議長ヨリ内閣ノ方ニ談判ヲシテ戴キタイト
 云フコトヲ請求シテ置キマシタガ、其事ハ如何ニ成行キマシタラウカ挨拶ヲ聞キタイトデ
 リマス

○議長(長谷場純孝君) 御答致シマス、直チニ其時内閣ノ方ヘハ斯ウ云フ催促ガア
 ルカラト云フコトヲ通牒致シマシタガ、ソレ切リニナラデ居リマス

○議長(長谷場純孝君) 其時ノ返事ハ今調中デアルト云フ返事デゴザイマシタガ
 ○大竹貫一君 抑、韓國保護政策ノコトデアリマスレバ如何ナルトキト雖モ内閣ナルモ
 ノガ是等ノ大問題ニ付キマシテハ自ラ相當ノ所見抱懷ヲ持テ居ルコトハ、當然デアラウト
 思フデアリマス、遡テ申シマシレバ明治二十七八年ノ日清ノ戰役、或ハ二十七八年ノ日
 露ノ大戰争、其當時ニ於テ韓國ノコトハ當局ガ決心セネバナラヌ意見デアラウト思フノデ
 アリマス、ソレガ一箇月モ經チマシタ今日ニ於テ尙且答辯シ得ヌト云フコトハ内閣ニ於テ
 之ニ對スルコロノ意見ガナイノデアリマセウカ、ソレトモ或ハ統監閣下ニ對シマシテ今ノ
 内閣ガ自由ニ答辯デモシ得ナイト云フコトデアリマセウカ、又今日マデ一月以上モ答辯ヲ
 ヒヌト云フコトハ、何等ノ理由ニ依ルノデアリマスカ、再ビ議長閣下ヨリ内閣ヘ通牒サレ

(三)

マシテ明確ナル答辯ヲ明日ヲ期シマシテ得シコトヲ請求致シマス、何卒十分ナルトコロノ御談判ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 承知シマシタ、御諮リヲ致シマス、織物消費稅取扱ニ關スル建議案ノ委員會ヲ本會ノ會議中ニ開キタイト云フ 委員長古賀庸庸君ヨリノ請求ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス

○金尾稜嚴君 二月十八日附以テ本員ヨリ質問書ヲ提出シテ置キマシタガ、今日ニ至ルマテ政府ヨリ答辯ガアリマセヌ、此事ニ付キマシテハ、縣地ニ於テ五千有餘石ノ農民ガ廣島縣ノ縣廳ニ押寄セテ情報ヲ得マシタ、實ニ之ハ縣治上容易ナラヌコトデアリマスカラ、政府ノ答辯如何ニ依テハ二度デモ四度デモ幾度デモ飽クマテモ事實ヲ明カニシタイト思ヒマスカラ、ドウカ議長カラ速ニ政府ニ答辯アルヤウニ御交渉ヲ願ヒマス

○阪本彌一郎君 本員ガ一昨日競馬法案ノトキニ於キマシテ、發言ヲ致シマシタ事柄ニ付キマシテ、イロ／＼問題ガゴザイマシテ、ソレニ付キマシテ發言ノ趣意ヲ其當時辯明シテ置キマシタガ、不幸ニシテ議場ノ騷擾ノタメニ十分其事ガ速記サレテ居リマセヌ、故ニ私ハ其當時私ノ申述ベマシタ言葉ヲ尙明白ニ辯明スルタメニ更ニ茲ニ一言ノ御許シヲ願ヒタイ

○議長(長谷場純孝君) 阪本彌一郎君

○阪本彌一郎君 本員ガ過日競馬法案ノトキニ於テ述ベマシタ中ニ、人ト馬トヲ區別スルタメニ記名投票ヲ以テ採決セラレンコトヲ望ミマスト申シマシタコトニ付キマシテ、或ハ此言葉ガ當院ヲ侮辱シタ言葉デアハナイカ、或ハ少ナクモ此同僚諸君ヲ侮辱シタ言葉デアハナイカト云フ 御答メガアツタヤウデアリマスケレドモ、本員ノ申シマシタ言葉ハ決シテサウ云フ意味ヲ以テ申述ベタノデアリマシテ、之ハ速記簿ヲ初メカラシマイマテ御讀ヲ戴キマシタレ、其意味ハ文章ノ解釋上ニ於キマシテモ、推理ノ解釋上ニ於キマシテモ、決シテ當院ノ體面ヲ瀆シ、同僚諸君ヲ侮辱シタ意味デアハナイコトガ明白デアリマス、本員ノ申述ベマシタ趣意ハ過日來此競馬問題ニ付キマシテハ、イロ／＼風紀上ニヤカマシイ議論ガアリマシテ、遂ニ其末或ハ人貴キカ馬貴キカ、若クハ人ヲ贊成スルモノデアアルカ、馬ヲ贊成スルモノデアアルカト云フ御議論ノ出マシタコトハ、諸君モ御承知ノ通りデアゴザイマシテ、之ハ當院ノ速記簿ニモ明カニ載シテ居ルノデアリマシタ、故ニ私共ガ當院ニ於テ過日申述ベマシタ事柄ハ、人ト馬トヲ區別スル、即チ當院ノ議員中ニ一部ノ人ガアリ、一部ノ馬ガアル、其馬ト人トヲ區別スルタメニ記名投票ヲ定ムルコトヲ云フコトヲ言フ意味デアナクシテ、馬ノ方ヲ贊成スルカ、人ノ方ヲ贊成スルカト云フコトヲ區別スルタメニ記名投票ヲ以テ決セラレタイト云フコトデアリマス、ソレデアリマスカラシテ決シテ當院ノ體面ヲ瀆シタモノデアナク、又同僚諸君ニ向テ私ガ侮辱ノ言ヲ發シタモノデアモナイト云フコトハ、幾重ニモ御承知ノ通り置キタイデアリマス、私ハ此議員ガ議場内ニ於テ發言ヲ致シマスルコトハ、恰モ昔時ノ士ガ戰場ニ於テ刀ヲ抜クト同一ノモノデアルト信ジテ居リマス、私ハ故ニ其心懸ヲ以テ士ガ鞘ヲ拂ツタト同ジ意味ヲ以テ當院ニ於テ發言ヲ致シマシタノデアリマスカラシテ、苟モ同僚諸君ノ名譽及當院ノ體面ヲ傷クルト云フヤウナ言ヲ申述ベルコトハナイ、又申述ベタト致シマスレバ、ソレガタメニ當院カラ如何ナル處分ヲ受ケマシテモ私ハ遺憾ハナイデアリマスガ、私ハ苟モ自分ガ失言ヲ致シマシテ而シテソレ後ニ取消サネバナラヌト云フ失態ハ決シテシナイ積リデアアル故、若シ私ノ言葉ガ足ラナカッタト致シマスレバ、私ハ飽クマテモ當院ノ體面ヲ尊重シ、同僚諸君ノ名譽ヲ尊重スル意味ニ

於テ申立テタト云フコトヲ御承知ヲ願フテ置キタイ、尙同時ニ一言申シテ置キタイノハ、其前ニ私ガヤハリ競馬法案ニ對シテ三條以下ノ削除説ヲ出シマシテ其辯明中ニ佛ノ頭ニ養ヲ塗ルト云フコトヲ申シタコトガアル、是ハ如何ニモ卑猥ノ言葉デアツテ、士君子ノ口ニスベキ事柄デアナイト云フ 御意見モアツタヤウデアリマスレドモ、之ハ初メテ申シマシタ言葉デアナイ、宋ノ王陽明ガ佛頭著糞ト云フコトヲ云フタコトガアル、此佛頭著糞ト云フ言葉ヲ平タク日本語云ハ、佛ノ頭ニ糞ヲ塗ルト云フコトデアツテ諸君ガ五代史ヲ繕キニナリマシタナラバ、ヤレント書イテアル言葉デアツテ、私ハ此言葉ニ於キマシテモ同僚ニ對シテ無禮ノ言葉ヲ放シタト云フコトハナイト云フコトヲ特ニ御承知ヲ願フテ置キマス、尙終リニ臨ミマシテ此事ニ付キマシテ過日議場ヲ騷ガシマシタリ、又議長ニイロ／＼御手數ヲ掛ケタト云フコトヲ深ク謝シテ置キマス

(取消サネイノカト呼フ者アリ)

○大岡育造君 唯今阪本彌一郎君ガ前ノ演説ノ意思ヲ明カニスルタメニ辯ゼラレタノヲ聞キマスルニ、最後ニ於テ陳謝ノ言葉ハアリマシタヤウデアリマスルガ、如何ニモ唯前論ヲ固執セラレルトニカメラレタヨウデアリマスルガ、少々モウ少シ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、成程王陽明ハ甚ダキタナイ言葉ヲ用井マシタカ知リマセヌガ、元來支那人ナルモノヲ昔ノ人ハ大層エライヤウニ思ウテ居ルガ、ウレハ甚ダドウモ實ハ平生清潔ヲ貴バナイ習慣ガアルノデアリマス、昔ノ漢學者ガ王陽明ナドヲ大層エライモノ、ヤウニ思ウタト云フデモ、我議院ニ向テ支那人ノ寢言ヲ云ウタノヲ引用シテ辯解セラレルト云フコトハ少ドウモ場所違ヒノ話デアツテ、漢學塾ニ往ッテ斯様ナコトヲ仰シヤレバ大層エライヤウデアアルカ知ラナイガ、此議場ハ通用致シマセヌ、ヤハリキタナイ言葉ヲ用井ヌト云フコトニ爲サレヌトイカヌ、王陽明ガ云ツタ、君方ハ本ヲ知ラナイカラダ、何々ノ本ヲ披イテ見口、斯ウ云フコトガアルト云ツテ突張ラレルト云フコトハ本院ノタメニ喜ブコトデアナイト思フ(ヒヤ／＼)成ルベク答メタクナイ意味ニ於テ熟考シタイデアルガ、是ダケ申シタラ御分リニナルダラウト思ヒマス、ドウモ穩デナイト思フノデアリマスガ、取消サル、カドウカモウ一遍之ヲ聞キタイト思ヒマス

○阪本彌一郎君 私ハ唯今大岡君ノ前段ニ述ベラレタ事柄ハ大岡君ト私ノ考トガ違フダケデアゴザイマス、又後段ノ穩デナイ、取消セト云フコトデアリマスガ、私ハ穩ナラヌト云フコトハナイト云フタノデ、穩ナラヌト云フコトハナイト云フコトハ唯今申シタ通り決シテ當院ノ體面ヲ瀆シタモノデアナイ、同僚諸君ヲ侮辱シタ意味デアナイト云フ意味ニ於テ云フタノデアリマス

○武藤金吉君 唯今阪本彌一郎君ノ辯明ヲ聞キマス、益々吾々ハ阪本彌一郎君ノ意ハ前言云フコトヲ確メルコトヲ聞クノミデアリマスカラ、此場合ニ於キマシテ阪本彌一郎君ヲ懲罰委員ニ附スル決議ヲ採テ戴キタイト思ヒマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○大岡育造君 此問題ハ決議ヲ延期スルコトヲ申出デ、諸君ノ御同意ヲ得テ居リマスガ、阪本彌一郎君ハ御再考ノ上ニ穩當ノ言葉ヲ取消スコトノ御明言ガ出來マセヌカ

○阪本彌一郎君 ドノ點ガ不穩當デスカ

○大岡育造君 ドノ點カト云フナラバ人ト馬トヲ區別スルガタメニ此投票ヲ云ケト云フコトデアリマシタ、明カニ人ト馬トヲ區別スルハ何事デアリマス、是ハ決シテ穩當ノコトデアリマセヌ、其意味ヲ附加ヘテ今日ハ辯論スルダケノコトデアアル、ソレデアイケナイ、斯様ナ穩當ナラヌ言葉ハ御取消ニナル方ガ宜イト私ハ思ヒマス

○阪本彌一郎君 サウスルト大岡君ノ唯今ノ御意見ハ人ト馬ト云フ文字ヲ取消スカ

ドウカト云フコトデスカ

○大岡育造君 八ト馬トヲ區別スルタメニ此投票ノスルト言ツタコトガ甚ダ穩當ナラヌノアル、是デモツテ分ラナケレバモウ仕方ガナイデス

○阪本彌一郎君 人贊成、馬贊成ト云フコトハ……
〔モウイカヌモウイカヌニ「斯ウ云フコトヲ許シテハイカヌニ「辯解ニモ何ニモナラヌ」ト呼フ者アリ〕

○武藤金吉君 採決ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 阪本君ニ御確メヲ致シマスガ、今大岡君カラ阪本君ノ言葉ノ中ニ八ト馬トヲ區別スルタメニ投票云々ト云フコトガ穩ナラヌ、ソレヲ御取消ニナル御再考ノ餘地ハナイカト云フ懇切ナル注意ガ再三アツタト議長ハ聽取リマスガ、是ニ對シテ明カニ御答辯ヲ願ヒタイ

○阪本彌一郎君 人贊成、馬贊成ト云フコトハ……

〔此時發言スル者多シ〕

○武藤金吉君 直チニ採決ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 採決ハ致シマスガ、是ハ重大ナル議員ノ進退ニ關スル問題デゴザイマスカラ、議長モ其答辯ヲ確メテ置イテ採決シヤウト思ヒマス、即チ阪本君ハ今議長ガ大岡君ノ言葉ヲ取次イテコトニ對シテ御取消ニナラヌト云フコトデスカ

○阪本彌一郎君 直チニ採決ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 分リマセヌカ

○阪本彌一郎君 モウ一度ドウカ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(長谷場純孝君) 靜ニ靜ニ——大岡君ハアナタガ先日御發言ニナッタ言葉ノ中ニ八ト馬トヲ區別センガタメニ投票云々ト云フ言葉ガアツタ、ソレガ穩ナラヌト聽クト斯ウ云フ、ソレデ其言葉ヲ御取消ニナルカナラヌカ、更ニ御再考ニナツテハドウカト云フコトヲ忠告サレタノデアルト議長ハ信ズル、阪本君ハ之ニ對シテ己ノ所信ヲ言明サルレバソレデ宜イト思フ

○阪本彌一郎君 八ト馬トヲ區別スルト云フ文字ダケヲ除キマス

〔除クトハドウ云フ意味カ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) サウスレバ今ノ御言葉ハ議長ハ斯ウ聽取リマシタ、即チ八ト馬トヲ區別スルタメニ投票云々ト云フ言葉ハ取消ス、斯ウ仰シヤッタヤウニ承知致シマシタガ、ソレデ間違アリマセヌカ

○阪本彌一郎君 アリマセヌ

〔拍手起ル〕

○武藤金吉君 唯今阪本君カラ八ト馬トヲ區別スルト云フ言葉ハ取消スト云フコトデアリマシテ、阪本君ハ此議院ノ發言ハ士ガ刀ヲ抜イタ如キモノデアルト云フ、ソレヲ取消スト云フコトニナツタノデアルカラ、此場合私ハ懲罰委員ニ附スルト云フ問題ヲ撤回致シマス

○議長(長谷場純孝君) 諸君ノ御聽ノ通り今武藤君カラ明カニ述べラレテ即チ取消サレマシタカラ、先日ノ延期ニナツタ問題ハ是デ解決ヲ致シマシタ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 米國桑港震災ニ付キ日本人罹災者救助ニ關スル件質問、立川雲平君

〔立川雲平君登壇〕

○立川雲平君 諸君、會期切迫ノ際頗ル貴重ナル時間ニ於キマシテ此質問ヲ致シマスルハ本員ノ衷心安ゼザルトコロデゴザイマス、併ナガラ此案件タルヤ又時間ノ貴重ナルヨリモ尙貴重ナルト信ジマスルガ故ニ、極メテ少時間ヲ費ステゴザイマセウガ質問ヲ致シタイト存ジマス、私ハ一昨年ノ一月デゴザイマシタカ、清國ノ上海ニ遊ヒマシタトキニ、彼地在留ノ帝國ノ同胞ガ組織シテ居リマスルトコロノ日本人俱樂部ニ招カレマシテ、其當時談話ガゴザイマスニ、帝國ノ同胞ハ帝國ノ本土ニ在ルトコロノ人ミガ海外ニ在ルトコロノ同胞ニ對スル同情ガ薄イ、此事ヲ非常ニ残念ガテ居リマシタ、其時ニ上海ニ於キマシテハ彼ノ獨逸人ガ獨逸人俱樂部ヲ立テ、獨逸人ノタメニ小學校ヲ建築スルト云フコトガアツタノデゴザイマス、所ガ獨逸人ノ俱樂部ヲ立テテハ直チニ本國ヨリ莫大ナル寄付金ヲ送ラレルシ、小學校ヲ建テルト言ヘバ、獨逸ノ政府ヨリ澤山ノ金ヲ送ラレタト云フヤウナコトガアツテ、我帝國ノ同胞ハ彼ノ地ニ於テ頗ル羨シク居リマシタ、サウシテ尙日本本國ニ在ルトコロノ富豪ガ獨逸ノ地ニ遊ヒマシテモ、彼ノ地ニハ未ダ小學校ガ無イノデアル、然ルニ其小學校ニ對シテ少シノ寄附ヲモ爲サズシテ、却テ在留同胞ノ厄介ニナル位デアツタト云フヤウナ話ヲ聽キマシタガ、此一席ノ談話ハ本員ヲシテ非常ニ感慨ヲ深カラシメタノデアル、本員ガ此感慨ヲ深カラシメラレタトコロノ結果ニ幸ニ我同胞ニシテ海外ニ在ルトコロノ人ニ向ッテハ或ルベク後援トナツテ、サウシテ其ハミノ事業ヲ盛ニシタイ、發展ヲナサシメタイト云フ考ヲ有ッテ居リマシタ、所ガ此度此案件タル即チ米國桑港ノ震災ニ於テ日本人救済ニ關スル甚ダ不始末ナル事柄ヲ承ツタノデアル、是ハ聞拾ナラヌコトデゴザイマスカラ政府ニ向ッテ質問ヲシテ、其事實ノ調査ヲ致シタイト云フ考デゴザイマス、我同胞ガ海外ニ在ルト本土ニ在ルトニ拘ハラズ、同胞相倚ルノ情ニ於テハ決シテ諸外國ニ讓リマセヌ、彼ノ海外ニ干戈ノ事アルニ當ッテハ萬歳ヲ以テ之ヲ送り、萬歳ヲ以テ之ヲ迎へ、遠征ノ人ニ向ッテハ種々ナル方法ヲ以テ慰問ヲ致シテ居ッタノデアル、併ナガラ一朝此干戈ノ事デ熄ミマシタル、海外ニ在ルトコロノ人ニ向ッテハ同情ガ直チニ薄ラグノデアル、干戈ノ事ハカリガ戰爭デナイ、或ル意味カラ申シマシタラバ平和ノトキニ於テ商業ノタメ修業ノタメ海外ニ在ルトコロノ同胞ガ此國ヲ離レテ爲ストコロノ事柄ハ固ヨリ一身上ノコトモゴザイマセウケレドモ、其一身上ノコトガ延イテ以テ國家ニ及ブコトガ多クアルノデアル、故ニ平和ノトキニ於テ海外ニ在ルト移民殖民出稼人等ノ人ニ向ッテ我同胞ハ常ニ十分ナル同情ヲ持ッテ居リタイト云フノガ本員ノ希望デアル、然ルニ明治二十九年四月十七日ノ朝、彼ノ米國桑港ニ激震ガゴザイマシタ、此地震ハ遂ニ延テ大火ヲ起シテ米國ノ桑港市街三分ノ一ヲ焦土ト致シタノデアル、サウシテ最モ繁榮ノ市ガ此火災ニ罹ッタノデゴザイマス、家ヲ失ウテ野宿スルモノニ二万ノ多キニ及ンダ、在留日本人ハ此禍ニ罹ル者ガ一万人以上モアツタノデアリマス、是ニ於テ我同胞ハ必ズ此罹災ノ人ニ向ッテ救済方方法ヲ講ゼベナラヌ、又講ゼベキハ當然デアル、我政府ハ直チニ金五萬圓ヲ以テシテ其在留日本人、在布哇救済會、米國以外在外日本人、日本本國人、日本赤十字社並ニ外國等ノ寄附金ガ集マラシメタルデアル、其寄附金ハ十萬二千圓程集マツテ居ル、此十萬二千圓程ノ救済金ハ如何ニ處分サレタカト云フコトヲ調査致シマスレバ甚ダ驚クベキ不始末ガアルノデゴザイマス、此救済會ハドノヤウナ具合ニ組織サレタカト云フト、領事上野季三郎氏が會長トナツテ、會計ノ主任ニハ大山卯次郎氏、幹事ニ河崎巳之太郎氏が當リ、醫師デアル黒澤格三郎氏ハ最モ深キ關係ヲ以テ幹旋シタノデアル、我同胞ノ桑港在留ノ人ミガ此災ニ罹リマシタトキニ免モ角モ十萬二千圓ノ金ガゴザイマスタメニ是ハ相當ノ救済ハ出來ベキ筈デアル、又必ズ出來タデアラウト思フノデアル、然ルニ此救

濟ノコトタルヤ同年ノ四月震災ノトキニ初マテ同年十二月三十一日ニ終ッテ居ル——
 結了シテ居ル、近頃米國ノ新聞等ヲ見マスルト米國桑港ナドニ於キマシテハ、來年四
 月マテ滿四箇年ノ間尙此救濟ヲ續ケテ居ルト云フコトデアル、然ルニ日本人ニ對シテハ
 此救濟ト云フモノハ僅ニ八箇月ヲ以テ此事業ヲ結了シタルデアル、サウシテ此十萬二千
 圓ノ金ヲ仕拂ヒ終ラレタルデアル、然ラバ是ニ向ッテ何人モ不平ハナイノデアラウカ、如何デ
 アラウト云フニ、現ニ我同胞ニシテ彼地在留ノ人二百名ト云フモノハ全ク一錢一品
 フモ惠與ラ受ケテ居ナイ者ガアル、災ニ罹ラテ、居ルニ家ナク、寢ルニ寢所ナク、遂ニ人ノ
 軒ノ下ヲ借リたり、或ハ石炭ヲ入レル所ノ納屋ヲ借リテ、サウシテ僅ニ雨露ヲ凌イデ居ル
 ノニ、二百人餘リト云フモノハ一錢一品ダモ惠與ラ受ケテ居ナイノデアル、是ハ何故ニ二
 百名餘ノ者ガ惠與ラ受ケテ居ナイノデアルコト云フニ此二百人餘リノ人ハ救濟會ハ恰モ
 日本ノ御役所風ノ七ムツカシイコトバカリ言フテ、調査ヲスルトカ、取調ヲスルトカ云フガタ
 メニ、此二百名ハ救濟會ニ往ッテ救濟ヲシテ貰フヨリ、ドウニカ斯ウニカ勞働ヲスルナラバ
 其日ノ麵麴ハ得ラレノデアル、ソレ故ニ其日ノ麵麴ヲ得ルタメニ自分自ラ稼イデ、傍ラ
 此救濟會ノ方ヘ請求ヲシテ居ルデアル、所ガ救濟會ハ十一月末日結了シテシマウタ、サ
 ウシテ遂ニ此二百名ト云フモノハ一錢一品ダモ惠與ラ受ケルコトが出来ナカッタノデアル、
 是ニ於テ十萬二千圓餘リ金ハ如何ニ仕拂ハレタカト云フコトニ付テ、頗ル不始末ナル
 風評ガ立ッタルデアル、其風評トハ何ンデアル、十萬圓以上ノ金ノ三分ノ一強若クハ十
 分ノ四ハ或ル一部ノ人ニ濫リニヤッタノデアルト云フ風評ガ立ッタル、或ハ救濟會ノ事務ヲ
 執ッテ居ル人ノ月給其他ノ手當トシテ此金ノ多クヲ自分自ラ取ッタルデアルト云フ評
 判ガ立ッタルデアル、是ハ容易ナラザル事柄ゴザイマスガタメニ在留日本人中ニ其非ヲ
 鳴ラシテ、救濟會ニ向ッテ掛合ラシタ、所ガ救濟會ハ明治四十年ノ三月ヲ以テ桑港罹
 災日本人救濟會ト題スル小冊子ヲ發行シタルデアル、即チ此小冊子デアアル、此小
 冊子ヲ發行セラレタニ付テ、是ニ依ッテ調査ヲシテ見ルト甚ダ不始末ガアル、其不始末
 ノ中ニ現ニ二百人ガ一品一錢ノ惠與モ受ケテ居ナイト云フ者ハ、此處ニ列記シテゴザ
 イマス百九十幾名ト云フモノデアアル、此人名ヲ一々此所テ讀ミマスレバ、餘程ノ時間ヲ費
 シマスカラ、是ハ速記ニ記録シテ貰フコトニシテ、此人名ヲ省キマス、此處ニ列記シテ見
 マスルト十萬二千圓ノ金ノ中テ救助費及給與費ト云フモノハ幾ラ使ッテ居ルカト云フヘ
 バ、九千十餘圓使ッテ居ル、諸君實ニ驚クデハゴザイマセヌカ十萬二千圓ノ金ガ集マッテ
 居ル、サウシテ在留日本人ヲ救助スルタメニ幾ラ使ッタカト云フヘバ、九千餘圓——九千
 十餘圓——十分ノ一ニモ足ラヌノデアアル、此目的ノ主眼タル救助費及給與費ニ一萬
 圓ニ足ラヌトコロノ金ヲ使ッテ居ル、是ハ甚ダ不都合デアルノミナラズ、此外ニ如何ナル點
 ニ金ヲ使ッテ居ルカト云フナラバ、其外ニハイロ／＼設備ト云フモノモアリマセウ、併ナガ
 ラ其設備ニ付テハ一々證據ヲ以テ私ハ反對ノ意見ヲ述ベテ見ヤウト思フノデアアル、收容
 所ノ費ト云フモノガアル、即チ一時家屋ヲ失ッタ者デアルカラ、其人ノマシ收容スルニ之ヲ
 收容スルニハ家ヲ持ッテ居ル人、或ハ花園ヲ持ッテ居ル人、或ハ大キナ庭園ヲ持ッテ居ル
 人、是等ノ人ニ向ッテ頼シテ收容シタルデアアル、其收容費ナルモノヲ幾ラ使ッタカト云フ
 ト、一萬六千餘圓使ッテ居ルガ、ソレヲ何處ニ使ッテ居ルカト云フト、一々證據物ガ此
 處ニアルノデアアル、其一二ヲ申シマスルト南方安之助同シク勝三郎ト云フ人ノ如キハ、
 百人カラノ人ヲ收容シテ置キナガラ救濟會カラハ一錢ダモ貰ハヌト云フコトヲ證明シテ
 居ル、藤岡美廣ト云フ人ハ數百人ノ人ヲ收容シタケレドモ、斯ウ云フ場合デアアルガタメ
 ニ決シテ私ハ多クノ金ヲ要セヌト云ウテ二十弗ヲ貰ッテ居ル、其他木原嘉一郎、荒
 井久万太、内海、萩原真、赤木信太郎、犬飼勘太郎、此等ノ人ハ皆家屋ヲ貸シテ

其所ニ收容シタルデアアル、家屋デハナイ「ゲーデン」ヲ貸シテ自分ノ花園ヲ貸シテ其所ニ收
 容シテ、米國ノ陸軍省及海軍省カラ借りタ「テント」ヲ張ッテ此所ニ收容シタルデアアル、是
 等ノ人ハ多クノ金ヲ費シタニモ拘ハラズ、罹災ノ場合デアリマスカラシテ甚ダ多ク取ッ
 人テツレダケシカ取ッテ居ラヌ其他ノ人ハ取ラヌ人ガアル、ソレテ總計幾ラカト云フト五
 百三十圓——二百六十幾弗デアスカラ、日本ノ金ニ直シテ五百三十圓シカ取ッテ居ラヌ
 ノデアアル、此人ノ證明ハ是ハ一々朝讀ハ致シマセヌ、是ハ速記録ニ掲ゲテ置キタイノデアアル、
 此通り多クノ人ノ證明ヲ以テ彼等ノ人ハ僅ニ五百圓バカリホカ取ッテ居ラヌノニ收容費
 トシテ一萬六千餘圓ト云フモノヲ引去ッテ居ル、又其外ニハ備人料トシテ二千六百
 餘圓ト云フモノヲ引イテ居ル、此時ノ備人ト云フモノハ何ヲ意味シテ居ルカト云フヘバ、即
 チ救濟ノ事務ニ當ッタスルノ人、給料手當デス、諸君、此救濟ノ局ニ當ラヌトコロノ
 人デサヘモ、自己ノ庭園其他ヲ以テ此收容所ニ充テル位ニ義侠心ヲ出シテ居ルノニ、此
 事業ヲ取扱ウタ即チ局ニ當ッタトコロノ人ガ、月給手當ヲ取ッテ二千六百餘圓ト云フ
 モノヲ之ニ費シテ居ルト居ラヌ又甚ダ不當デアリマセヌカ、ソレカラ、埋葬及治療費ト
 云フモノガアル、埋葬及治療費ト云フモノニ幾ラ使ッタカト云フト、一萬二千五百四十
 餘圓使ッテ居ル、埋葬人ノ亡クナッタノヲ葬ッタノデアアル、幾人亡クナッタカト云フト、
 報告書ニ依リテ僅ニ一人、僅ニ一人亡クナッタテ居ル埋葬費ガ八百九圓ニナッテ居ル、
 其他ハ治療費デアアル、其八百九圓ハドノヤウニシテ要ララウカ、彼ノ桑港アタリノ葬
 式屋ノ證明ヲ見マスルト下等デ三十五弗、中等デ五十弗、上等デ七十五弗デアスカリ
 葬式が出来ルノデアアル、埋葬費ハ——然ルニ一人ノ埋葬費ニ八百九圓ヲ使ッタルト云フ
 コトガ掲ゲテアル、是又不當デアゴザイマセヌカ、ソレカラ困難ヲシテ居ル者ヲ日本ノ本國
 へ還スト云フトコロノ費用ハ、一萬二千四百四十餘圓使ッテ居ル、幾人ヲ送還シタカト
 云フト百二十五名ト云フトデアアル、併ナガラ百二十五名ノ者ハ、此報告ニ中ニ其人
 名ハ一人モナイノデアアル、サウシテ僅ニ三十七人シカナイ、事實ハ三十七人デアルト云フ
 コトデアアル、三十七人ノ人デ一萬二千四百四十餘圓ヲ使ッタルト云フトハ、是又信ヲ措ク
 コトハ出来ナイノデアアル、此他一萬四千六百圓ト云フモノハ雜費等ニ仕拂ッテ居ルノデ
 アリマス、併ナガラ是等ハ假リニ仕拂ハ仕拂ラシタト致シテモ宜シウゴザイマスガ、此金ヲ
 スツカリ使ヒ拂ッタルトキニ三萬七千餘圓殘ッテ居ル、現ニ十萬二千圓ノ金カラ彼等ノ言
 フ通り不當ナガラニモセヨ、此事ニ付テ使ヒ拂ッタル金ヲ引去ルト、三萬七千四百八十
 餘圓アル、其三萬七千四百八十餘圓ハ如何ニシタカト云フト、此金ハ在加洲日本人
 慈善會ニ寄贈シタルデアアル、斯ウ云フコトガ之ニ明カニ書イテアル、在加洲日本人慈善
 會、確ニ此會ハアルニ相違ナイ、此會ハ誰ノ主管ノ下ニアルカト云フナラバ、ヤハリ此救
 濟會ノ主管ノ下ニアル、サウシテ此主管ノ人ノ細君ガ役員デアアル、細君ガ在加洲日
 本人慈善會ノ役員デアアル、御亭主ハ救濟會ノ役員デアアル、御亭主カラ即チ細君ニ向ッ
 テ此ノ三萬餘圓ノ金ヲ渡シタト云フトコトニナッテ居ル、此金ハ如何ニ拂ハレテ居ルデアラ
 ウカ、如何ニ成行イテ居ルデアラウカト云フトコトハ、今之ヲ想像スルコトが出来マセヌ、是
 ハ能ク取調ベネバナルマイト思フ、併ナガラ免ニモ角ニモ十萬二千圓ノ金ハ彼ノ震災火
 災ニ罹ラヌトコロノ我同胞ヲ救フ爲ニ費ッタル金デアアル、然ルニ此金ノ十分ニ此目的ニ使ハ
 ズシテ四萬圓近クノ金ト云フモノヲ殘シテ、在加洲日本人慈善會ニ與ヘタトハ何事
 デアルカ、是モ悉クノ人ノ救濟ガ行届イテ居ルノナラバ宜シウゴザイマスガ、現ニ二百人
 ト云フモノハ一錢一厘モ受ケナイ人ガアルデアリマセヌカ、然ルニ此災ニ罹ラヌトコロノ
 シテ居ル人ヲ悉ク救濟ヲセズシテ、二百人餘リモ救濟ヲ受ケナクシテ不平ヲ言フ人ガア
 ルニモ拘ラズ、其十分ノ四ト云フ金ヲ自分達ノ細君ガ役員トナッテ居ル在加洲日本

福岡縣 ラテンハウス
廣島縣 ステグイスオン四百五十七番

岐阜縣 ハウロンブレース街二十二番

山口縣 山口市
廣島縣 ムイスブレース

北海道函館 サクラメント街五二八番
東京市下谷區

テンボン街四五〇番
テンボン街四二〇番
テンボン街

長野縣 マイルスコート十番

静岡縣
神奈川縣

廣島縣

山口縣

同 サリナブレース第八番

廣島縣 ウエブスター八百三十番

岐阜市泉町 ウエブスター八百三十

大阪市

廣島市

香川縣 大川郡譽水村

鹿兒島 テンボン街四百十九番

陸奥 弘前市和徳町九十四番地

田村勝藏
岩村與吉
中本關太郎

長男 勝

岩田卯三郎

妻 子

櫻井眞市

上井島某

藤井由太郎

妻 子

岩岡元次郎

月岡右門左太郎

正木虎藏

妻 子

伴唯義

吉田喜治郎

湯川平八郎

村上芳義

妻 子

甲斐辰藏

井上新作

倉永新太郎

井上タマ

山口寛治郎

宮島靜雄

井出某

生沼龜太郎

高田橋某

武田大室

小林某

速水某

清水龜三郎

清水兵吉

政田賢太郎

藤井由太郎

長阪儀太郎

中島儀太郎

松永偵吉

中島吉次郎

高橋晃城

廣島縣御調郡市村市 ルーイスブレース二十六番

廣島縣佐伯郡廿日市町同

鳥取縣日野郡根雨村大字根雨宿六十一番地

パンビツク街一四三三

廣島縣佐伯郡五海市村 パンビツク街六五八

同縣同郡廿日市村 ルイスブレース

同 同

同 同

同 同

同 同

東京市京橋區 ハアール千五百二番

神戸市榮町六丁目二十二番地 バイン五一五

兵庫縣城崎郡瀬戸村ノ内港村 カリホルニヤ街四六二五

香川縣

香川縣大川郡赤場村三十番地

同縣同郡三ツ池村二十五番

同 同 十番

京都市五條通り空町上三番地

大阪府 オースチンアベンユー四一〇

靜岡縣 クランダアベニウー三百十八番

東京市本所區

福岡縣

長崎縣長崎市

妻 小八千代
長女 八千代
次女 喜美代

添田久太郎

生田秀助

大塚辰三

千代益次郎

水戸嘉一郎

生田亮一

生田實一

中川實二

橋詰關二

鳥羽喜三郎

吉田千代松

加藤與七

妻 子

母 千代

和泉繁藏

妻 子

弟 新藏

同 折藏

鈴木與平

植木伊助

島田市三郎

川端仁藏

妻 子

長女 菊江

次女 幸江

四女 幸江

二男 幸江

瀨川繁雄

信度川楠

吉田松二郎

大屋八藏

大浦三太郎

杉浦吉衛兵一

村松合市

崎田吉太郎

米岸大業

證書
一桑港ニ於テ震災ヲ蒙リシ際ニ當秋原公園ヲ以テ罹災者ノ收容所設立致候ニ付
其人數凡參千人收容致候入費金額多分ナレトモ唯小生ニ於テ救濟會ヨリ共費
用致シ吳受タル金額唯壹百弗之外更ニ無御座候也
他皆自金ナリ
外ニ養薪料トシテ壹百弗

代人
木村省太郎殿

受取證
一金五弗
右ノ金額正ニ受取申候
收容所ニ付

千九百零六年八月
フークランド市第九街五百六十七番地
中西ふじ子
協議會御中

證書
一先年四月中桑港ニ於テ震災時小生庭園ニ常設在ル小屋ヲ以テ收容所ト致シ更
ニ營繕モ不加其儘凡五十名程各自炊事致シ數月間小生方ニテ給食仕候也其
諸雜費致シ米金三十弗桑港救濟所ヨリ吳受候外ハ一錢一厘モ不受申候也
明治四十年四月十六日
總代人
赤木信太郎

木村省太郎殿

證書
昨年桑港震災ノ際罹災民收容所ヲ私宅ニ設ケ凡ソ二十人程來リ各自炊致シ候
得共金錢トテハ收容所ヨリ一厘モ不受取唯小生ノ自費ナリ
四月二十三日
犬飼勘太郎

代人
木村省太郎殿

議長(長谷場純孝君) 御諮リ致シマス、海外移殖民要務處理ニ關スル建議案ノ
委員會ヲ本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ委員長日向輝武君ノ請求ガアリマス、モウ
一ツハ請願委員會第六分科ノ特別委員會ヲ本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ特別
委員長内藤利八君ノ請求ガアリマス、許可ヲシテ御異議ハアリマセスカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

議長(長谷場純孝君) ソレテハ許可スルコトニ致シマス——塚田啓太郎君

(塚田啓太郎君登壇)

○塚田啓太郎君 諸君、本員ハ在本邦清韓留學生ノ待遇ニ關スル質問書ヲ提出シ
テ置キマシタガ、會期切迫ノ今日ニ於テ貴重ノ時間ヲ費シマスノハ恐縮ノ至リテゴザイマ
スカラ、極メテ短簡ニ質問ノ要點ヲ述ベル積リテゴザイマス、暫ク御靜聽ヲ願ヒマス、近
來清韓兩國ヨリ多數ノ學生ガ渡來シテ、我國ノ學術ヲ學ブヤウニナリマシタノハ、兩國
及我帝國ノ大ニ賀スベキコト、存シマス、此留學生諸君ハ今日ハ一少年ノ學生ニテ

官報號外 明治四十二年三月二十三日 衆議院議事速記録第二十四號

アリマスガ、將來ハ政治家トナリ、學者トナリ、軍人トナリ、商工トナシテ、兩國ノ文明ヲ
發展シ、國力ヲ増進スルトコロノ重任ヲ帶ビテ居ルトコロノ俊傑トゴザイマス、我帝國ハ
明治維新以來開國進取ノ國是ヲ定メマシテ先進國ノ學術技術ヲ輸入スルカタメニ
年々歐米諸國へ留學生ヲ派遣シマシテ、諸種ノ學術ヲ學バセマシテ、彼ノ長所ヲ取ッテ
諸般ノ改良ヲ致シマシタ、未ダ十分ニ居ルトハ申セマセヌガ政治モ法律モ具備シ、
軍備モ擴張シ、商工業モ發達シタメニ、強大ナル露國ト戰ツテモ戰勝國ノ光榮ヲ得テ
居リマス、世界ノ強國中ニ列スルニ至リマシタガ、是ハ當年ノ留學生タル先輩諸君ノ賜
デアルト信ジテ居リマス、清韓兩國ヨリ來ッテ我國へ在留シテ居リマス所ノ學生諸君ハ、
我國ノ先輩ガ歐米諸國へ留學シタノと同様ノ任務ヲ負ウテ居ルモノトゴザイマシテ、將
來我國民ガ東洋ノ平和ヲ保全スルニ付テ大切ナルトコロノ親友デアルト思ヒマス、自分ガ教
育ヲ受ケテ學校ノ教師ト同僚ノ學友間ニハ親族同様ノ親愛ノ關係ガ出來マス、學校
所在地ハ第二ノ故郷トモ云フベキモノナリ、其所在地ノ人ハ別段懐シイモノデ何事ニ
付ケテモ同情ヲ表スルモノデアリマス、東京テ學問ヲシタ者ハ東京ノ人ヲ愛シ、京都テ
學問ヲシタ者ハ京都ノ人ヲ愛シマス、獨逸へ留學シタ者ハ獨逸ノ人ヲ愛シ、米國へ留學シタ
者ハ米國ノ人ヲ愛スモノデアリマス、日本ニ留學シタ外國ノ學生ガ日本ノ人ヲ愛スヤウニナル
ノハ自然ノ人情デアリマス、我國民ハ宜シク此點ニ注意シテ留學生ノ待遇ヲ善クシタイ
ト思ヒマス、千有餘年以前ノ我國ハ諸君ノ御承知ノ通り、清韓兩國ノ學術技術ヲ學
ブ國利民福ヲ増進シタコトハ歴史ノ明證ノ事實デアリマシテ、我國民ノ志レテハナラヌ
恩義デアリマス、今日我國ノ文明ハ長足ノ進歩ヲシテ彼等ニ學術技術ヲ教授致シ
マスノハ一ハ舊恩ヲ報ズル義務ヲ盡スノデアリマシテ、一ハ先進國ノ天職ニ盡スノデアリマ
ス、官民一般誠意ヲ以テ彼等ヲ擁護シ待遇致シテハナラヌ、徳ニ報ルニ徳ヲ以テア
ルハ人情ノ常デアリマス、日本人ガ彼等ヲ敬愛スレバ彼等モ必ズ日本人ヲ敬愛致シマ
ス、怨ニ報ユルニ徳ヲ以テスルニ大人君子ノ爲ストコロテ、通常ノ人ハ怨ニ報ユルニ怨ヲ以
テスルノ弊ガアリマス、彼等多數ノ中ニハ卒業シテ本國ニ戻ル後ニ外國民ニ對シテ惡意
ヲ含シテ居ッテ、動モスレバ我國民ニ反抗セントスル者ガアルト云フコトヲ時々新聞紙上ニ
見ルコトガアリマス、彼國ノ漫遊シタ人ヨリ聞イタコトガアリマスガ、其原因ヲ聞ケバ留學
中日本人ニ輕蔑サレタカ、不親切ヲ取扱フ受ケタカ申スノデアリマス、若モ我官民中
ニ彼等ヲ輕蔑シタカ不親切ヲ取扱フ受ケタカ申ス者ガアリマス、將來ノ交際上貿易上ニ
重大ノ障礙トナル恐ガアリマス、良友トナルベキ者ガ却テ敵トナルヤウニナリマス、當局者
ハ其害ノ重大ナルヲ先ツテ善後ノ方法ヲ立ツルノハ勿論、詳細ニ事實ヲ調査シテ彼
等ヲ優待保護スベキ責任ガアルト信ジマス、此點ニ付テ當局者ハ如何ナル意見ヲ有シテ
居ルカ、如何ナル方針ヲ取ッテ居ルカ、是ハ質問ノ第一デアリマス、我日本人ハ西洋人ニ
對シテハ何レモ敬意ヲ表シ禮義ヲ厚クシテ送迎スル風習ガアリマスガ、文明國ノ人ニ對
スル美風トシテ稱スベキモノデアリマスガ、東洋諸國ノ人ニ對シテハ誤テ之ヲ輕ンズル者
ガ少シモナリト云フコトハ斷言ハ出來マセヌ、世界ノ大勢ハ常ニ變動スルモノデ、文明國
モ衰頹シテ弱國トナリ、野蠻國モ勉強スレバ強國トナリマス、如何ナル國民ト雖モ輕蔑ス
ルコトハ出來マセヌ(拍手起ル)我日本人ハ東洋人ニ對シテモ西洋人ニ對シテモ如何ク
尊敬スルヤウニ致シタイモノデアリマス、國民一般ヲシテ清韓ノ學生ヲ敬愛セシムルニハ第
一ニ當局者ガ彼等ヲ直接ノ關係ヲ有スル學校職員、及我國ノ學生ニ方針ヲ示シテ保
護待遇ヲ善クシ、國民一般ガ其美風ヲ習フヤウニスルノガ必要ト思ヒマス、學生ノ宿泊
校ノ職員、又ハ我國ノ學生ニ對シ如何ナル管理監督ヲ爲シテ居ルカ、寄宿舎、旅館等

立川雲平君ノ質問ニ關スル參考書 塚田啓太郎君ノ質問演說 五一九

ハ如何ナル取締ヲ爲シテ居ルカト云フノガ、是ガ質問ノ第二デアリマス、當局者ハ速ニ詳細ナル答辯ヲ與ヘラレシムコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 日程第一、第一號明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案貴族院回附ヲ議題ト致シマス

第一 (第一)明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(貴族院回附)
○大岡育造君 本案ニ付テハ延期ヲ請ウテ取調中デアリマスガ、尙御取調ガ濟ミマセヌカラ本日モ延期ヲスルト云フコトノ動議ヲ提出致シマス
○議長(長谷場純孝君) 大岡君ノ動議即チ本案ハマダ取調ガ結了セヌカラ延期スルト云フ動議、是ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、延期スルコトニ決シマス、日程第二、種痘法案、貴族院回附ヲ議題ト致シマス

第二 種痘法案(政府提出貴族院回附)

〔小字ハ貴族院ノ修正文
ハ同削除ノ符號〕

種痘法案

第四條 新ニ保護者ト爲リ又ハ新ニ前條ノ關係ヲ生シタルトキハ種痘ヲ受ケサルカ又ハ之ヲ受ケタル證據不明ナル未成年者ヲシテ一月以内ニ種痘ヲ受ケシメ又ハ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ
前項ノ期間内ニ其ノ手續ヲ爲シ難キ事由アルトキハ市町村長 區長ヲ以テツル市ニ於テハ區 二届出ツヘシ
長以下之ニ準ス

未成年者ヲ備使スル雇主ニ關シテハ其ノ之ヲ寄寓セシメサル場合ト雖前二項ノ規定ヲ適用ス

第十五條 地方長官ハ學校、育兒院、工場等ニシテ多數人ヲ集合セシメ又ハ之ヲ備使シ若ハ之ヲ寄寓セシムルモノヲ指定シ其ノ費用ヲ以テ種痘ヲ施行セシムルコトヲ得

第十六條 地方長官ハ痘瘡豫防上必要ト認ムルトキハ種痘ヲ受クヘキ者ノ範圍及期日ヲ指定シテ臨時種痘ヲ命スルコトヲ得
臨時種痘ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第十七條 醫師虛偽ノ種痘證ヲ交付シ又ハ檢診セスシテ種痘證ヲ交付シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 左ニ掲クル者ハ科料ニ處ス
一 第四條又ハ第十一條第一項ニ違反シタル者
二 保護者又ハ第三條ノ義務者ニシテ市町村長ノ指定シタル期日迄ニ種痘ヲ受ケシメサル者

第十九條 第十二條、第十三條又ハ第十四條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

第二十條 官廳公署及官立公立ノ學校等ニ於テハ第三條第一項及第四條第一項乃至第三項ノ規定ニ準シ其ノ措置ヲ爲スヘシ

第二十一條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ未成年者ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人、親權ヲ行フ者又ハ後見人ナキトキハ戶主、戶主未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ戶主ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ謂フ

本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

○大岡育造君 本員ハ貴族院ノ修正回附ニ同意ヲ表スルモノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ決シマス

○大岡育造君 此場合ニ日程ヲ變更シテ政府案ノ彼ノ耕地整理事業ニ對シテ必要ナル資金ヲ供給スルコト云フ日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ委員長ノ報告ヲ得直チニ議題ニ付セラレシコトヲ希望致シマス、ソレト同時ニ立本ニ關スル法律案モ此場合ニ於テ日程ヲ變更シ議題ニ付セラレタイト云フ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(長谷場純孝君) 日程變更ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、議事日程ハ變更致シマス、而シテ農工銀行法改正法律案、勸業銀行法改正法律案、拓殖銀行法改正法律案、委員長ノ報告ヲ致シマス——與繁二郎君

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔與繁二郎君登壇〕

○與繁二郎君 諸君、此日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、此三案ノ委員會ノ結果ヲ一括シテ報告致シマスガ、之ハ過日本院決議ニナリマシタ耕地整理法、產業組合法、此二法案ノ制定ニナリマシタル結果トシテ二銀行ノ規則ノ改正ガ當然生シタ譯テ、極メテ簡單デアリマス、即チ過日當院決議ニナリマシタコロノ耕地整理法ニ於テ組合ヲ設ケラレ、組合ヲ法人ト認メラレマシタ結果トシテ、此改正案ガ出タノデゴザリマシテ、理由ハソレニ止マルノデゴザリマス、サリナカラ委員會ニ於テハ速記者ガゴザリマセナカッタカラ、委員會ノ結果ヲ速記ニ依ッテ御報告スルコトガ出來マセナイ、故ニ少シク委員會ノ質問ノコトヲ必要ト

認メル點ヲ一ニ點此所ニ於テ言明致シテ置キマスルガ、農工銀行法中改正法律案ニハ耕地整理組合、共同施行者連帶ノトキニ金ヲ貸スト云フコトガアリマシテ、勸業銀行ニハ産業組合ノ分ガアリマセヌ、農工銀行ニハ産業組合ノ分ガアリマセヌ、之ハ從來ノ法律ニ於テ勸業銀行ハ農工銀行ノ如ク産業組合ニ金ヲ貸ストコトヲ許サナカッタノデアリマス、故ニ成ルベク銀行ノ安全ヲ圖ルタメニ區域ヲ擴ゲナイト云フ考カラ獨リ農工銀行ニアッテ勸業銀行ニハ此事ガナイト云フコトニ政府ハ立案ヲ致シタノデアリマシテ、又先般郵便貯金ヲ獎勵致シテ今後郵便貯金ノ金ヲ增加致シマスルコトヲ一ノ分ノ一以內ハ成ルベク府縣若クハ町村ノ公共團體ニ金ヲ貸ス方針ヲ政府ガ執ルト云フコトニナツテ居リマス、ソレニ對シテ政府ハ町村ニ直接其農工業ニ關係致サナイ部分ニ間接ニ關係致ス部分ニモ金ヲ貸スコトノ方針ヲ執ルト云フコトデアリマスガ、ソレニ對スル此農工銀行勸業銀行ノ改正案ヲ共ニ提出致サナイト云フ理由ハ、農工銀行、勸業銀行ナドガ所謂此規則ニ關係致シマスル營業ニ關スルコトヲ區域ヲ成ルベク廣義ニ取ルト云フコトデ、或ル場合ニ於テハ教育ニ關スル事務若クハ衛生ニ關スル事務マデモ廻リ廻ッテ結果ハ農工業ニ關係及ボスト云フ意味ヲ以テ、極メテ廣キ意味ニ解釋致シテ金ヲ貸サシメルトコロイノナルト云フマテ政府ハ進シテ答辯サレタノデアリマス、遺憾チカラ特別委員會ニ於テ速記ガゴザイマセヌ故ニ、其邊ノトコロ官報ニ於テ諸君ニ御知ラセスルコトガ出來マセヌカラ、政府ノ答辯アリマシタコトヲ唯今責任ヲ以テ其通リ本會ニ於テ私が責任ヲ以テ此事ヲ御披露ヲ申ス、次第ゴザイマス、是ニ於テ特別委員會ハ全會一致ヲ以テ總テ二案共贊成スルコトニ決シマシタカラ、此段報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 今委員長ノ報告ニナリマシタ三案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

○鳩山和夫君 一括シテ議題ニ供セラレタ譯テスカ

○議長(長谷場純孝君) 先ヅ一括シテ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトヲ議題ニ致シテ、而シテ御諮リヲ致シテ採決ハ別々ニシテモ宜シト思ヒマス

〔一括テ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 一括テモ宜シ

○鳩山和夫君 二案共ニ直チニ二讀會ヲ開クコトノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 二案共直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ニ於テ諸君ニ御諮リヲ致シマス、即チ耕地整理法ノ結果カラ此二三案ハ出タモノデ、今委員長ノ述べラレタ通りデアリマスガ、此二三案ハ一括シテ採決シテ宜カラウト議長ハ思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、一括シテ二案共ニ全部ヲ議題ト致シマス

二供シマス

○恆松隆慶君 讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 確定議

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 確定議

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 確定議

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ二案共ニ委員長報告通り確定シマシタ

次ニ今日程ヲ變更ラサレタ立木ニ關スル法律案、政府提出、貴族院送付ヲ議題ト致シマス、委員長報告——鵜澤總明君

立木ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會(續) (委員長報告)

〔鵜澤總明君登壇〕

○鵜澤總明君 立木ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過ヲ報告シマス、此法律ハ貴族院カラ回送ニナリマシテ時間ガ甚ク少ナイモノデアリマスカラ、實ハ此委員會ニ於キマシテハ尙詳シク研究シタカッタノデアリマスルケレドモ、此案ガ一度二十二讀會ニ現ハレマシテ其時ニ兩院ノ通過ガ出來ナカッタノデアリマス、ソレカラ其後政府ハ非常ニ研究ヲ重ネマシテ更ニ今期ノ讀會ニ提出ヲ致シタト云フヤウナ譯アルサウデアリマシテ、大體ノ案ト致シマシテハ先ツ其ク出來テ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、第一條ニ對シマスル此貴族院ノ修正ガ大變ニ範圍ヲ狹ク致シマシテ、實ハ委員會ニ於キマシテハヤハリ政府原案通り或ハ政府ノ原案ヨリモモウ一層廣イト云フコトヲ希望致シタノデアリマスルケレドモ、何分時間ガナカッタモノデアリマスルカラシテ、貴族院ノ回付通りニシテ、取締ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレデ先ツ此案ノ大體ヲ申上ゲマスルト、本案ノ提出理由ニ於キマシテモ、明瞭デアリマスル通り立木ヲ一箇ノ不動產ト致シマシテ土地ト分離シテ讓渡又ハ抵當ニスル方法ヲ開イタ方ガ宜シ、斯ウ云フ案デアリマスカラシテ、先ツ其第一條ニ於キマシテハ立木ノ定義ノ範圍ヲ揭ゲアルノデアリマス、唯今マデノ考ニ於キマシテハ立木ヲ以テタツタ一本立ツテ居ル木デアルト考ヘテ居リマシタトコロガ、本案ニ付キマシテ立木ト申シマスルノハ、植栽ニ依リ生立ツテ居ル樹木ノ集團ニナツテ居リマス木ガ五十本ナリ三十本ナリ或ハ數百本數千本寄ツテ居ルトコロノ寄リ集ツタ木ノ集團ヲ指シテ立木ト云フヤウニ其定義ガナツテ居リマス、ソレカラ第二條ニ立木ノ性質ガ書イデアリマシテ之ヲ不動產ト看做スト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第三條以下第九條マデニ於キマシテ立木ノ抵當權ニ關スル規定ガ揭ゲアルノデアリマス、ソレカラ第十條ニ於キマシテハ立木ハヤハリ先取特權ノ規定ヲ準用スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第十一條ガ質權ノアル場合ニ於キマシテハ立木ノ所有權保存ノ登記ガ出來ナイト云フ規定ニナツテ居リマス、ソレカラ第十二條以下二十一條マデニ於キマシテハ立木ノ登記手續ヲ規定シタノデアリマスガ、是等ハ大體ニ於キマシテハ不動產登記法ノ規定ヲ準用スルトコトデアリマスカラシテ、登記ハ差支ナク出來ルト云フ場合ニナツテ居リマス、ソレカラ貴族院ノ修正ト申シマスルノモ第一條ニ於キマシテ政府ノ原案ハ造林ノ目的ヲ以テアリマシタノヲ、貴族院ハ造林ノ目的ト云フコトニナルト天然林ニ加工シタ場合ニ果シテ天然林デアアルカ、或ハ造林デアアルカト云フ趣旨ガ明白ニナラナクナリマスカラシテ、先ツ人間ガ植

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ニ於テ諸君ニ御諮リヲ致シマス、即チ耕地整理法ノ結果カラ此二三案ハ出タモノデ、今委員長ノ述べラレタ通りデアリマスガ、此二三案ハ一括シテ採決シテ宜カラウト議長ハ思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、一括シテ二案共ニ全部ヲ議題ト致シマス

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ニ於テ諸君ニ御諮リヲ致シマス、即チ耕地整理法ノ結果カラ此二三案ハ出タモノデ、今委員長ノ述べラレタ通りデアリマスガ、此二三案ハ一括シテ採決シテ宜カラウト議長ハ思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、一括シテ二案共ニ全部ヲ議題ト致シマス

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ニ於テ諸君ニ御諮リヲ致シマス、即チ耕地整理法ノ結果カラ此二三案ハ出タモノデ、今委員長ノ述べラレタ通りデアリマスガ、此二三案ハ一括シテ採決シテ宜カラウト議長ハ思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト下ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、一括シテ二案共ニ全部ヲ議題ト致シマス

テ育ツタ所謂植栽ト云フコトニシテ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ趣旨ニ修正ニナッテ居ルノデア
リマス、ソレカラ第四條ノ四項目ニ於キマシテ、貴族院ガ一箇ノ修正規定ヲ致シテ居ル
ノデアリマスガ、先ヅ今度ハ全體貴族院ノ修正通リニ致シマシテ委員會ハ可決シタト
云フコトニナッテ居リマスルカラシテ、本院ニ於キマシテ速ニ御可決アラント希望致シマ
ス

○ 恆松隆慶君 貴族院ノ修正ニ遺憾ナカラ同意ガ

○ 議長(長谷川純孝君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

○ 恆松隆慶君 ドウカ是ハ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望
ミマス、委員長報告通リ

○ 議長(長谷川純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○ 議長(長谷川純孝君) 直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

立木ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第二讀會、確定議

○ 議長(長谷川純孝君) 恆松君ノ動議ノ如ク讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ御
異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○ 議長(長谷川純孝君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス、本案ハ是ニテ確
定致シマス——御諮リヲ致シマス、日程ノ第二、東京都制案、日程第五、千代田縣設
置ニ關スル法律案、日程第七、東京都千代田縣組合法案、此二三案ハ一括シテ議題ト
シタ方ガ便利デアラウト思ヒマスガ如何デス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○ 議長(長谷川純孝君) ソレハ日程第三、第五、第七ヲ一括シテ議題ト致シマス

- 第三 東京都制案(貴族院提出) 第一讀會
- 第五 千代田縣設置ニ關スル法律案(貴族院提出) 第一讀會
- 第七 東京都千代田縣組合法案(貴族院提出) 第一讀會

東京都制案

第一章 總則

第一款 都及其ノ區域

第二款 都住民及其ノ權利義務

第三款 都條例及都規則

第二章 都會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三款 組織及選舉

第四款 職務權限及處務規程

第三章 都行政

第一款 都吏員ノ組織及任免

第二款 都官吏都吏員ノ職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第四款 都ノ財務

第五款 財產及收入

第六款 歲入出豫算及決算

第六章 都内一部ノ行政

第七章 都行政ノ監督

第八章 附則

東京都制

第一章 總則

第一款 都及其ノ區域

第一條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二條 都ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並從
來法令又ハ慣例ニ依リ府又ハ市ニ屬スル事務及將來法律勅令ニ依リ都ニ屬
スル事務ヲ處理ス

第三條 都ノ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 都ノ境界ニ關スル爭論ハ内務大臣之ヲ裁決ス其ノ裁決ニ不服アル者
ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 都ノ境界ニ關スル行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第七條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第八條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第九條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十一條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十二條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十三條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十四條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十五條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十六條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十七條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十八條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第十九條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十一條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十二條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十三條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十四條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十五條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十六條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十七條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十八條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第二十九條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

第三十條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣郡市町村ノ區域外トシテ之ヲ都ノ區域ト爲
ス

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ退職シ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ都會ノ議決ヲ經テ一箇年以上四箇年以下ノ公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止年期以内其ノ者ノ負擔スヘキ都稅ノ十分一以上四分ノ一以下ヲ増課スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二 業務ノ爲常ニ都内ニ居ルコトヲ得サル者
三 滿六十年以上ノ者
四 官職ノ爲都ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五 四箇年以上都ノ名譽職ニ任シ爾後四箇年ヲ經過セサル者
六 其ノ他都會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス
本條ノ事件ニ付テハ都長官亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第九條 都公民ニシテ第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其ノ公民權ヲ失フ

都公民タル者租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スル迄又禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ都ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第十條 都ハ都住民ノ權利義務又ハ都ノ事務ニ關シ都條例ヲ設クルコトヲ得
都條例及都規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ
第二章 都會
第一款 組織及選舉

第十一條 都會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人ノ之ヲ選舉ス
都會議員ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ六十八ヲ超ユルコトヲ得ス
都會議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス

第十二條 都公民ハ總選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス
帝國臣民ニシテ直接都稅ヲ納ムル者其ノ額都公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラズト雖選舉權ヲ有ス但シ六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國ノ法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ
本條ノ直接都稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ
第十三條 都ノ區ヲ以テ都會議員ノ選舉區トス各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ都内ノ下住所ナキ者ハ直接都稅ノ賦課ノ受ケタル物件又ハ營業所ノ所在ニ依リ若物件又ハ營業所ニシテ數選舉區ニ在ル場合ニハ之ニ對スル課稅ノ最多キ所ニ依リ其ノ之ニ依リ難キ場合ニハ本人ノ申出ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第十四條 選舉人ハ各選舉區ニ於テ之ヲ三級ニ分ツヘシ
選舉人中直接都稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス但シ一級選舉人ノ數五名ニ滿タサルトキハ納額最多キ者五名ヲ以テ一級トス
一級選舉人ノ外直接都稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル直接都稅ノ總額中一級選舉人ノ納ムル額ヲ除キ其ノ殘額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス但シ前項但書ノ規定ハ二級選舉人ノ場合ニ之ヲ準用ス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其ノ都内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テ之ヲ年齡同シキトキハ區長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ハ選舉人每級各別ニ其ノ三分一ヲ選舉ス若等分シ難キトキハ端數二名ノ場合ハ之ヲ一級及三級ニ配當シ一名ノ場合ハ之ヲ二級ヨリ選出スヘキ數ニ加フヘシ

被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス又其ノ選舉区内ノ者ニ限ラサルモノトス
本條ノ直接都稅ノ納額ニ關シテハ第十二條第四項ノ規定ヲ準用ス
第十五條 選舉權ヲ有スル都公民ニシテ直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ
一 都ノ官吏及有給吏員
二 檢察官及收稅官吏
三 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
四 小學校教員

前項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シ之ニ應セムトスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ケヘシ
都ニ對シ工事ノ請負物件勞力其ノ他ノ供給契約ヲ爲シ若ハ都ノ爲金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス
第十六條 都會議員ハ四箇年トス
都會議員ノ任期ハ四箇年トス
都會議員ノ配當ヲ變更シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第十七條 都會議員中議員アルトキ又ハ議員ノ配當ヲ變更シタル爲選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フヘシ
前項ニ依リ同時ニ二名以上ノ議員ヲ選舉スヘキトキハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ
補選議員ハ前任者ノ殘任期間在任ス
補選議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ總選舉迄在任ス
補選議員ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉區及選舉等級ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第十八條 區長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日迄ニ其ノ区内ノ選舉人ノ資格ヲ記載シタル選舉人名簿ヲ調製スヘシ
選舉人名簿ハ十月二十日ヨリ十五日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄區役所

又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長官ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ決定ニ依リ名簿ヲ修正スルコトキハ區長直ニ之ヲ修正スヘシ

前項都長官ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十日迄之ヲ據置クヘシ
訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ區長ハ確定期限ノ前後ニ拘ラス直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ區長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示スヘシ
確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレハキ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セザルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス
異議ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日迄ニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

天災事變等ニ依リ名簿ノ喪失シタルトキ亦前項ニ同シ
前二項ニ依リ名簿ノ調製修正及確定ニ關スル期日及期限等ハ都長官ノ定ムル所ニ依ル
第十九條 選舉ハ都長官ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區及等級選舉會場投票ノ日時並選舉區及等級毎ニ選舉スヘキ議員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クとも二十日前ニ之ヲ發スヘシ

各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ開始スヘシ
選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ
第二十條 區長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス
區長ハ臨時ニ其ノ選舉區内ニ於ケル選舉人中ヨリ二名乃至六名ノ立會人ヲ選任スヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス
第二十一條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ
前項ニ依リ選舉會場外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉會場閉鎖後ハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル
選舉人ハ一人一票ニ限ル
選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登錄セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス
自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
投票用紙ハ都長官ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ
選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬選舉區ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

第二十三條 第十二條第二項及第三項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ滿二十五年以上ノ男子ニ非サル者禁治產者及準禁治產者ハ必ズ代人ヲ以テスヘシ
代人ハ帝國臣民ニシテ滿二十五年以上ノ男子ニ限ル

第七條第一項但書ニ當ル者第八條ニ依ル公民權停止中ノ者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス
又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス
前項ノ代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長ニ示スヘシ

第二十四條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス但シ連名投票ノ法ヲ用井タル場合ニ於テハ第一號及第六號ニ該當スルモノ及其ノ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス
一 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ
二 現ニ都會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
三 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
四 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人ノ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長ノ之ヲ決スヘシ
第二十六條 都會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス
二回選舉ニ於テ仍當選者選舉スヘキ議員數ニ達セザルトキハ前項但書ヲ適用セス

前二項ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム
第二十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スヘシ
選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ但シ選舉及當選ノ效力ニシテ選舉人名簿確定ノ日ヨリ一年以内ニ確定シタル場合ニ於テハ選舉人名簿ハ仍名簿確定ノ日ヨリ一年間之ヲ保存スヘシ

第二十八條 當選者ヲ定マリタルトキハ區長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ且同時ニ選舉錄ヲ寫シテ當選者ノ住所氏名ヲ都長官ニ報告スヘシ
當選者ニシテ當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ都長官ニ申立ツヘシ但シ第十五條第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ハ二十日以内ニ其ノ當選ニ應スルヤ否ヲ都長官ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス
一人ニシテ數級又ハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ

告知ス

受タル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ都長官ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス但シ第十五條第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本項ニ定ムル期間ヲ二十日トス

第二十九條 都會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セザリシ者ヲ以テ當選者トス但シ年少ニ由テ當選セザリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り年同シキトキハ選舉長抽籤シテ當選者ヲ定ム

第二十八條 都會議員ノ當選ヲ辭シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セザリシ者ヲ以テ當選者トス但シ抽籤ノ爲當選セザリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十一條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長官ハ七日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スヘシ都參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

都長官ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第二十八條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得本條都參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十三條 選舉又ハ當選ニシテ無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲又ハ被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第二十六條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ム

第三十四條 都會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ都會之ヲ決定ス

都長官ニ於テ都會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ都會ノ決定ニ付スヘシ

本條都會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ都長官亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

五 基本財産及積立金等ノ設置及處分ニ關スル事

六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

七 財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

八 其ノ他法令ニ依リ都會ノ權限ニ屬スル事項

第三十八條 都會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ都參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十九條 都會ハ法律勅令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第四十條 都會ハ都ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ都長官又ハ内務大臣ニ呈出スルコトヲ得

第四十一條 都會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

都會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ都會召集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セザルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスレテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 都會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ總選舉毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十三條 議長副議長ノ選舉ヲ終ル迄ハ都長官又ハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フヘシ

第四十四條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

第四十五條 都長官及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十六條 都會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ都長官ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第四十七條 都會ハ都長官之ヲ召集ス

召集ハ開會ノ日ヨリ少クモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

都會ハ都長官之ヲ開閉ス

第四十八條 都會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四十九條 都會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得

トキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ノ規定ニ依リ都會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ナル者ヲ以テ當選者トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り以テ當選者トス其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ

於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第二十二條及第二十四條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アリトキハ都會之ヲ議決ス

前項ノ選舉ニ付テハ都會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第五十二條 都會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 都長官ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十三條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議長ノ秩序ヲ保持ス

第五十四條 都會議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受ケヘカラス

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ジルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員又ハ第四十五條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十八條 都會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十九條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ都會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第六十條 都會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ内務大臣ノ許可ヲ受ケ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ都會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設ケルコトヲ得

第三章 都參事會

第一款 組織及選舉

第六十一條 都參事會ヲ置キ都長官都高等官三名及名譽職參事會員八名ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十二條 名譽職參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

都會ハ八名名譽職參事會員同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

前二項ノ選舉ニ關シテハ第二十二條第二十四條第二十六條及第二十九條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アリトキハ都會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中關員アルトキハ都長官ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其

ノ順序ハ得票ノ數ニ依リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依リ仍關員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補充員ハ前任者ノ殘任期間在職スル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ都會議員ノ總選舉毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ

第六十三條 都參事會ハ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス

參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十四條 都參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル

二 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長官ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキ都會ニ代テ議決スル事

三 都長官ヨリ都會ニ提出スル議案ニ付都長官ニ對シ意見ヲ述フル事

四 都會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財產及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 都會費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 都會ニ係ル訴訟願訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十五條 都參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ都ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ都長官又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第六十六條 第四十條第四十一條第四十五條第四十七條第三項第四十九條第五十一條第五十三條乃至第五十五條第五十八條及第五十九條第一項ノ規定ニハ都參事會ニ之ヲ準用ス

第六十七條 都參事會ハ都長官之ヲ招集ス名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ都長官ハ都參事會ヲ招集スヘシ

都參事會ノ會期ハ都長官之ヲ定ム

第六十八條 都參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十九條 都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十四條第二號ノ議決ヲ爲ストキハ都長官及高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第七十條 第五十條ノ規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ參事會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ都長官ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十二條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ都會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ關員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除斥セラレタルトキハ年長者ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第四章 都行政

第一款 都吏員ノ組織及任免

第七十一條 都ハ有給ノ都吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム前項ノ都吏員ハ都長官之ヲ任免ス

都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル

都會費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

都會ニ係ル訴訟願訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

其ノ他法令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項

都參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ都ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ都長官又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

都參事會ハ都長官之ヲ招集ス名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ都長官ハ都參事會ヲ招集スヘシ

都參事會ノ會期ハ都長官之ヲ定ム

都參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

都長官及高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ

參事會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ都長官ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十二條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ都會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ關員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除斥セラレタルトキハ年長者ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル

都會費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

都會ニ係ル訴訟願訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

其ノ他法令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項

都參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ都ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ都長官又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

都參事會ハ都長官之ヲ招集ス名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ都長官ハ都參事會ヲ招集スヘシ

都參事會ノ會期ハ都長官之ヲ定ム

都參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

都長官及高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ

參事會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ都長官ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十二條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ都會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ關員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除斥セラレタルトキハ年長者ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第七十二條 都ニ都收入役區ニ區收入役ヲ置キ官吏員ノ中ニ就キ都長官之ヲ命ス

第七十三條 都ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス
第二款 都官吏都吏員ノ職務權限及處務規程

第七十四條 都長官ハ都ヲ統轄シ都ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

都長官ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ
一 都費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
二 都會及都參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
三 財產及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
五 證書及公文書類ヲ保管スル事
六 法令又ハ都會若ハ都參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料加入金都稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
七 其他法令ニ依リ都長官ノ職權ニ屬スル事項

第七十五條 都長官ハ議案ヲ都會ニ提出スル前之ヲ都參事會ノ審查ニ付シ若都參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ都參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ都會ニ提出スヘシ

第七十六條 都長官ハ都ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ都吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第七十七條 都長官ハ都吏員ヲ指揮監督シ其ノ任免ニ係ル都吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

都長官ハ都吏員ノ懲戒ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ且場合ニ依リ給料ヲ支給セサルコトヲ得
懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二箇年間都ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セラルルコトヲ得

第七十八條 都會又ハ都參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ都長官ハ其ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルコトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル都會又ハ都參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

都會又ハ都參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ其ノ議決都ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ都長官ハ其ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルコトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第七十九條 都長官ハ期日ヲ定メ都會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十條 都會又ハ都參事會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ都長官ハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

第五十條 都會又ハ都參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ都會ニ於テ其

招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依

都參事會ノ決定スヘキ事項ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル都長官ノ決定ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ都會又ハ都參事會ニ報告スヘシ
第八十一條 都參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長官ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長官ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ都參事會ニ報告スヘシ
第八十二條 都會參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ都長官ニ於テ專決處分スルコトヲ得
第八十三條 官吏ノ都行政ニ關スル職務關係ハ本法中規定アルモノヲ除クノ外其ノ國ノ行政ニ關スル職務關係ノ例ニ依ル
第八十四條 都收入役ハ都ノ出納其ノ他會計事務及法令ノ定ムル所ニ依リ國都收入役故障アルトキハ都長官ノ命ヲ受ケタル官吏又ハ吏員其ノ職務ヲ代理ス

第八十五條 區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ承ケ區ノ事務ヲ管掌シ區ヲ代表ス

第七十四條 第二項第二號乃至第七號ノ規定ハ區ノ事務ニ關シテハ之ヲ區長ニ準用ス

區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ承ケ都長官ノ委任ニ依リ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル都ノ行政事務ヲ管掌シ又ハ都長官ノ命ヲ承ケ區内ニ關スル都ノ行政事務ヲ補助執行ス

本條ニ掲載スル事務及區長ノ管掌スル國ノ行政事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス

第八十六條 區收入役ハ區ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

區收入役ハ都收入役ノ指揮監督ヲ承ケ都收入役ノ委任ニ依リ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル國及都ノ出納及會計事務ヲ掌リ又ハ都收入役ノ命ヲ承ケ區内ニ關スル都收入役ノ事務ヲ補助執行ス

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス

第八十七條 都ノ有給吏員ハ都長官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八十八條 委員ハ都長官ノ指揮監督ヲ承ケ都有財產又ハ都ノ營造物ヲ管理シ其ノ他都行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第八十九條 都ノ事務ニ關スル處務規程ハ都長官ノ之ヲ定ム

第九十條 第三款 給料及給與

第九十一條 有給都吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ都長官ノ之ヲ定ム

第九十二條 都會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ都會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ都長官ノ之ヲ定ム若シ之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣ノ之ヲ定ム

第九十三條 有給都吏員ノ退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ定ム

第九十四條 給料旅費費用辨償退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ都長官ニ申立ルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ都長官亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十四條 給料旅費費用辨償退還料退職給與金死亡給與金遺族扶助料其ノ他諸給與ハ都ノ負擔トス但シ區會議員ノ費用辨償ハ區ノ負擔トス

第九十五條 第一款 財產及收入 都ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

臨時ニ取得シタル財産ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附ニ係ル物件ニシテ寄附者其ノ使用ノ目的ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條 舊來ノ慣行ニ依リ數個人又ハ都内ノ一部ニ於テ特ニ營造物又ハ財產又ハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得

第九十七條 都ハ前條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用料ノ營造物又ハ財產ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ都會ノ議決ヲ經ルニ非

第九十八條 都ハ營造物又ハ公共ノ使用ニ供スル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十九條 都ハ其ノ必要ナル費用及從來法令若ハ慣例ニ依リ府若ハ市ノ負擔ニ屬シ又ハ將來法律勅令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第一百條 都ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百一條 都ハ其ノ必要ナル費用及從來法令若ハ慣例ニ依リ府若ハ市ノ負擔ニ屬シ又ハ將來法律勅令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第一百二條 都ハ其ノ必要ナル費用及從來法令若ハ慣例ニ依リ府若ハ市ノ負擔ニ屬シ又ハ將來法律勅令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第一百三條 都稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

一 國稅ノ附加稅

二 特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ都ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第一百四條 三箇月以上都内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ都内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業者ハ其ノ收入ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦同シ但シ國ノ事業又ハ行爲ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第一百六條 納稅者ノ都外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業者ハ其ノ收入ニ對シ又ハ都外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業者ハ其ノ收入ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在都及府縣ニ涉ル者ノ收入ニ對シ關係都府縣市町村ニ於テ課稅スルハ命令ノ定ムル所ニ依リ都及府縣ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ營業又ハ其ノ收入ニ對シテ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係都府縣市町村ニ於テ附加稅ヲ賦課スルコト亦同シ

第十七條 所得稅法第五條ニ據クル所得ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得

神社遙拜所寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物ニシテ其ノ境内地ニ存在スルモノ及其ノ境内地教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ賃貸者ニ賦課スル場合及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツルモノハ此ノ限ニ在ラス

國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ賃貸者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前各項ノ外都稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依リ

皇族ニ係ル都稅ノ賦課ハ從來ノ例ニ依リ

第一百八條 數個人ノ利益ヲ營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

區ノ利益ヲ營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ都會ノ議決ヲ經其ノ區ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

數個人又ハ區ヲ利益スル財產ニ付テモ亦本條ノ例ニ依リ

第一百九條 數個人又ハ都内ノ一部ニ對シテ特ニ利益アル事件ニ關シテハ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第一百十條 都稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ法律中規定アルモノノ外勅令ノ定ムル所ニ依リ

第一百十一條 都ハ急迫ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ納稅義務者ノ全部又ハ一部ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

第一百二條 都稅ノ賦課ニ關シ必要ナル場合ニ於テハ當該官吏吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間間家宅營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第一百三條 都長官ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ都參事會ノ議決ヲ經ヘシ

都長官ハ特別ノ事情アル者ニ限り都參事會ノ議決ヲ經テ都稅ヲ減免スルコトヲ得

第十四條 使用料手數料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財產ノ使用方法ニ關スル都規則ニ付亦同シ

第十五條 使用料手數料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財產ノ使用方法ニ關スル都規則ニ付亦同シ

第十六條 使用料手數料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財產ノ使用方法ニ關スル都規則ニ付亦同シ

第十七條 使用料手數料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財產ノ使用方法ニ關スル都規則ニ付亦同シ

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ都長官之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百十五條 都稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ都長官ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

使用料手數料加入金ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シテモ亦前數項ノ例ニ依

本條ノ事件ニ付テハ都長官亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十六條 都稅使用料手數料加入金過料過意金其ノ他都ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ都長官ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲ササルトキハ都長官ハ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ都條例ノ規定ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期間内ニ仍之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條都長官ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第百十七條 都ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ都ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲メ得サル場合ニ限り都會ノ議決ヲ經テ都債ヲ起スニ付都會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

都ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス都參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第百十八條 歲入出豫算及決算
箇月前ニ都會ノ議決ヲ經ヘシ

豫算ヲ都會ニ提出スルトキハ都長官ハ併セテ財產表ヲ提出スヘシ

第百十九條 都長官ハ都會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百二十條 都費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ都會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十一條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ都會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十三條 都ハ都會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百二十四條 都ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第百二十五條 都ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ且都會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ都長官又ハ其ノ命ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職參事會員ニ於テ互選シタル參事會員二名以上ノ立會ヲ要ス

第百二十六條 都ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ限トス

決算ハ出納閉鎖後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ都長官ニ提出スヘシ

決算ハ次ノ通常會ニ於テ之ヲ都會ニ報告スヘシ

都長官ハ決算ヲ都會ニ報告スル前都參事會ノ審查ニ付スヘシ若都長官ト都參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ都長官ハ都參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ都會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ內務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十七條 豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規程ハ內務大臣之ヲ定ム

第六章 都内一部ノ行政

第百二十八條 區ニ區會ヲ置ク

區會議員ハ都ノ名譽職トス

區會議員ノ定員任期及選舉ニ付テハ都會議員ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十九條 區會ハ區有財產其ノ他區ノ事務ニ關シテ第三十七條第一號乃至第七號ニ記載スル事項及區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項其ノ他法令ニ依リ區會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

前項ノ外區會ニ關シテハ都會ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十條 區會ニ關スル費用及區有財產其ノ他區ノ事務ニ關シ必要ナル費用ハ區ノ負擔トス

前項ノ外區ハ法律勅令ニ依リ區ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第百三十一條 本法ニ規定スルモノノ外區ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 都行政ノ監督

第百三十二條 都ノ行政ハ內務大臣之ヲ監督ス

第百三十三條 本法ニ規定スル異議ハ處分ヲ爲シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ申立ヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

本法ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

本法ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

本法ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第百三十四條 內務大臣ハ都行政ノ法令ニ背戾セサル又ハ公益ヲ害セサルヤ又ハ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ內務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徵シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

內務大臣ハ都行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條 內務大臣ハ都ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第三百二十六條 內務大臣ハ勅裁ヲ經テ都會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

都會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
解散後始テ都會ヲ招集スルトキハ都長官ハ第四十六條第二項ノ規定ニ拘ラズ
內務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第三百二十七條 都吏員ノ服務規律ハ內務大臣之ヲ定ム

第三百二十八條 左ニ掲グル事件ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 都條例及都規則ヲ設ケ及改廢スル事

二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料手数料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

四 基本財産ノ處分ニ關スル事

五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

六 第九十六條ノ處分ヲ爲ス事

七 寄附又ハ補助ヲ爲ス事

八 不動産ノ處分ニ關スル事

九 均一ノ稅率ニ據ラシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十 均一ノ稅率ニ據ラシテ區ニ費用ヲ負擔セシムル事

十一 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

十二 特別會計ヲ設ケル事

要ス
第三百二十九條 左ニ掲グル事件ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 都債ヲ起シ或起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ變更スル事但シ第七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 直接稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事但シ法律勅令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

四 間接稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

五 法律勅令ノ規定ニ依リ國ヨリ交付スル歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第三百四十條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事件ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第三百四十一條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事件中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經シテ處分スルコトヲ得

第三百四十二條 內務大臣ハ委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責ニ至ル以下ノ過怠金及解職トス

第三百四十三條 第七十七條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ之ヲ適用ス

第八十條 附則
第三百四十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百四十五條 本法施行ノ際都會都參事會及區會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急務ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都長官之ヲ行フ

第三百四十六條 本法施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條ノ期日及期限等ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

第四百四十六條 本法施行ノ日迄引續キ東京府ニ於テ住所ヲ有シ其ノ負擔ヲ分任シ直接國稅ヲ納メタル年限ハ之ヲ第七條第一項ノ年限ニ通算ス

第四百四十七條 本法ニ定ムル直接稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第四百四十八條 從來ノ東京府ノ營造物及財產ハ本法施行ノ日ヨリ都會ニ屬ス

本法施行ノ際從來ノ東京府ノ營造物及財產ハ處分ハ內務大臣之ヲ定ム

第四百四十九條 府縣稅ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケル迄都稅ニ關シ仍其ノ效力ヲ有ス

第五百十條 東京市區改正ニ關スル法令ハ本法施行ノ爲其ノ效力ヲ失フコトナシ

第五百十一條 東京都ニ於テハ現行ノ法令中府又ハ市トアルハ都ニ府知事又ハ市長トアルハ都長官ニ該當シ其ノ他總テ此ノ例ニ依ル但シ此ノ例ニ依リ難キモノハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第五百十二條 本章ニ規定スルモノノ外本法施行ノ爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

千代田縣設置ニ關スル法律案

第一條 東京府ヲ廢シ千代田縣ヲ置ク

從來ノ東京府ノ區域中東京都ノ區域ト爲スヘキモノヲ除キ其ノ他ヲ以テ千代田縣ノ區域ト爲ス

第二條 本法施行ノ際縣會及縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急務ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間縣知事之ヲ行フ

第三條 本法施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ府縣制第九條乃至第十二條ノ期日及期限等ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

第四條 現行ノ法令中東京府郡部トアルハ千代田縣ニ該當ス

第五條 本法ハ東京都制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 本法ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

東京府千代田縣組合法

第一條 東京都及千代田縣ノ共同事務ヲ處理スル爲東京都千代田縣組合法ヲ置ク

組合ニ於テ處理スヘキ共同事務ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 東京都千代田縣組合ニ組合會ヲ置ク

組合會議員ハ名譽職トス

組合會議員ノ定數ハ東京都會及千代田縣會ノ議員定數ヲ合シタル數ノ三分一トス但シ端數ハ之ヲ除算ス

第三條 組合會議員ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ議員中ヨリ選舉ス

各會ニ於テ選舉スヘキ組合會議員ノ數ハ內務大臣之ヲ定ム

第四條 組合會議員ノ定數及其ノ配當ハ第五條第一項ニ依リ選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ變更セズ

第五條 組合會議員ノ選舉ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ各其ノ總選舉每ニ之ヲ行フ

組合會議員ノ定數又ハ配當ヲ變更シタル爲解任又ハ選舉ヲ要スル場合及補闕選舉ニ關シテハ府縣制第七條第三項及第八條ノ規定ヲ準用ス

第六條 組合會ノ議長及副議長ハ前條第一項ニ依リ選舉ヲ行フ毎ニ之ヲ改選スヘシ

第九 新聞紙法案(村松恆一郎君外一名提出) 第二讀會ノ續

○石橋爲之助君 議長

○石橋爲之助君 何アスカ

○議長(長谷場純孝君) 石橋爲之助君

○石橋爲之助君 本案第十九條ニ其檢査ノ差止メタル捜査ト云フ文字ガアリマシテ、此文字ノ適用ニ付テ委員會ニ於テハ、政府ハ成ルベク重大ナル事件ニアラザル限ハ濫用ヲシナイト云フコトヲ言明セラレ、且其趣意ヲ各地方裁判所ノ檢査正ニ内訓スルト云フコトヲ言明セラレ、又第四十一條ノ軍事、若クハ外交ノ障礙ヲ及ボスノ事項トアル文字ニ付テモ、政府ハ之ヲ濫リニ適用セズシテ、戰時ヲ除ク場合ハ餘リ嚴格ニ適用セズト云フ趣意ヲ言明セラレ、又第四十一條ノ軍事、併ナガラソレハ、委員會ニ於テ言明セラレ、今日此席ニ於テ政府ハ前ノ言明ニ又故ニソレヲ直接ニ開クコトヲ得マセンナラバ、私ハ委員會デアリマセ相違ナイヤ、百ヤ一應御答アラントヲ希望致シマス

○政府委員(豊島直通君) 唯今ノ御答ニ御答致シマス、政府ノ此法案ガ成立シマシタル以後ニ執リマスル方針ハ、委員會ニ於テ詳細ニ述ベマシタリテゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ長島君カラ修正説ガ出テ居リ、將ニ採決ニ掛ラントスルトキ延期ニナツタノデゴザイマス

○鳩山和夫君 此問題ハ日程ヲ變更シテ第十二ノ次マテ延期シタイト云フ動議ヲ出シマス

○議長(長谷場純孝君) 鳩山君ノ動議、本案ハ日程ヲ變更シテ日程第十三ノ次ヘ延バシタイト云フコトアリマスガ、御異議ハアリマセカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマス、又其通り日程第十三ノ次ヘ延バスコトニ致シマス、日程第十三、醫師法中改正法律案、本院提出貴族院回付、日程第十一、齒科醫師法中改正法律案、本院提出貴族院回付、此二案ハ關聯セル議案ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス

第十 醫師法中改正法律案(本院提出貴族院回付)

第十一 齒科醫師法中改正法律案(本院提出貴族院回付)

〔小字ハ貴族院ノ修正
ハ同削除ノ符號〕

醫師法中改正法律案

第五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ○死亡當時迄引續キ治療セル者ニ死亡診斷書ヲ交付スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 醫師ハ診療簿ヲ備ヘ十箇年間之ヲ保存スヘシ

第七條 醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス左ノ事項ノ外之ヲ廣告スルコトヲ得ス

業務上學位稱號及專門科名ヲ除クノ外其ノ技能療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス

勳位、學位、稱號、前職、事故(病氣又ハ旅行等)、專門科、診察時間、病院又ハ醫院名、置員又ハ藥劑師名、住所、姓名

第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ提起ス

第七條 組合會ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ選舉スヘキ組合會議員定數各半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第八條 組合會ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本法中別ニ規定スルモノヲ除ク、東京都千代田縣組合ニ組合參事會ヲ置キ都長官高等官三名及名譽職參事會員八名ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條 名譽職參事會員ノ選舉ニ關シテハ第三條第四條及第五條第一項ノ規定ヲ準用ス

東京都會及千代田縣會ハ各其ノ選舉スヘキ名譽職參事會員ノ關員ヲ補充スル爲之ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

第四條及第五條第一項ノ規定ハ名譽職參事會員ノ補充員ノ選舉ニモ之ヲ準用ス

名譽職參事會員ノ配當ヲ變更シタル爲名譽職參事會員及其ノ補充員ノ解任又ハ選舉ヲ要スル場合ニ關シテハ府縣制第七條第三項及第八條第一項第三項ノ規定ヲ準用ス

第十一條 組合參事會ノ組織及選舉並職務權限及處務規程ニ關シテハ本法中別ニ規定スルモノヲ除ク、外都制第三章ノ規定ヲ準用ス

第十二條 組合會議員及名譽職參事會員ノ費用辨償ニ關シテハ都制第四章第三項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 東京都長官ハ東京都千代田縣組合ヲ統轄シ之ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

都長官其ノ他官吏ノ組合行政ニ關スル職務關係及處務規程ニ付テハ府縣制第四章第二項ノ規定ヲ準用ス

第十四條 組合ノ費用ハ財産ヨリ生スル收入其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノノ外之ヲ東京都及千代田縣ニ分賦スヘシ

組合費用分賦ノ割合ハ組合會議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十五條 府縣稅ニ關スル事項ヲ除ク外府縣制第五章ノ規定ハ之ヲ組合ノ財務ニ準用ス

第十六條 組合ノ監督ニ關シテハ府縣制第六章ノ規定ヲ準用ス

第十七條 本法ニ規定スルモノノ外東京都千代田縣組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 本法ハ東京都制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本法施行ノ際組合及組合參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間東京都長官之ヲ行フ

第二十條 本法施行ノ爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ曩キニ市制案ト云フモノガ委員ニ付託シテゴザイマス、其委員ニ付託セラレコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 一括シテ委員ニ付スルノデスカ

○恆松隆慶君 サウデス

○議長(長谷場純孝君) 今ノ恆松君ノ動議日程第三第五第七ハ曩ニ市制案ガ特別委員ニ付託シテアルツレト同一委員ニ一括シテ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト呼ブ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、其通り決シマス、日程ノ第九新聞紙法案第二讀會ノ續

ルコトヲ得若違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

第六條 醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

第七條 齒科醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス左ノ事項ノ外之ヲ廣告スルコトヲ得ス

師ニ對シテハ却テサウ云フコトヲ居ラヌトコロノ事實ガアル、醫師ハ甚ダ迷惑ヲスルノデアリマス、過日質問ヲ致シマシタトコロ、此沖繩ノ中學校ノ校長及教頭ガ種痘ヲシタニ對シマシテモ、醫師ニ於テ不服ガアテ此事ヲ申出タトコロガ、醫師ニ對シテハ醫師會ノ役員ヲ免ズルト云フコトニナッタガ、非醫師ガ種痘ヲシタニ拘ラズ、刑法ノ二百六十五條ニ私ニ醫師ヲスル者ニ對シテハ、即チ官許ヲ得ズシテ醫業ヲ爲ス者ニ對シテハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル、ト云フコトニナツテ居リマスガ、警察官ハ之ヲ告發ヲ致シテ居リマス、斯ノ如キ不公平ヲヤツテ居ル、醫師ニ向テハドシクヤツテ居ルニモ拘ラズ、非醫師ガ醫師ヲ爲シテスラ政府ガ取締ヲ致シテ居ナイ、醫師ハナカノ免狀ヲ受ケ得、上ニ於テハ苦痛ガアルノ望アリマス、之ハ權利ノ伸暢上、願クハ滿場諸君ノ御贊成ヲ得テ、此條項ダケハ復活ノ望アリマス

〇恆松隆慶君 此案ニ付テ専門家ノ山根君ハ修正説ヲ出サレマシタガ、併シ此場合ハ修正説ト云フコトニナル、其結果兩院ノ協議會ニナル、洵ニ期日切迫ノ今日デアリマスカラ、之ハ遺憾ナガラ貴族院ニ同意スルト云フコトヲ鳩山君ノ發議デアリマス、之ニ同意致シタト思ヒマス、ドウカ山根君モソレニ同意セラレンコトヲ望ミマス

〇議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス、山根君ノ説ニハ定規ノ贊成ガナイヤウニ見受ケマス、先貴族院ノ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〇議長(長谷場純孝君) 多數、即チ第十、第十一、兩案共ニ貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ決定致シマス、日程第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案根本正君外二名提出第一讀會ノ續キヲ開キマス、特別委員長鳩山和夫君

第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案根本 第一讀會ノ續

鳩山和夫君 諸君、會期ノ切迫シタル今日、此大問題ヲ茲ニ提ゲテ參リマシテモ或ハ兩院通過スルトキガナイカトモ考ヘマスガ、併ナガラ茲ニ院議ヲ定メテ置クト云フコトニナリマスレバ、一ノ進歩デアリマスカラ、姑ク御清聴ヲ煩ハシテ御贊成ヲ得タト思フノデアル、併シ此委員會ハ二十七名カラ成立シテ居リマシテ、委員會ハ數回開會セラレマシタ、其中ニ五名ノ特別委員ヲ選定シテ、此特別委員ニ更ニ精密ナル調査ヲ求メ、特別委員ノ報告ヲ委員會ノ本會ニ報告シテ、ソレガ可決スルトコロトナツデアリマス、大別シテ報告ヲ致シマスト第二十八條ノ一、二、三ト云フノハ詰リ候補者制度ニ關スル改正デアリマシテ、從來ノ選舉法ニ依リマス、候補者ト云フモノハ、法律ノ認メテナイノデアル、此度ハ候補者ナルモノヲ法律ノ中ニ之ヲ認メタ譯ニナルノデアリマス、即チ衆議院議員ノ候補者ハ選舉人五十名以上ニ於テ之ヲ推薦シテ而シテ其選舉長ニ選舉ノ期日ヨリ十四日前ニ提出シムルコトニナルノデアリマス、而シテ選舉人ガ推薦シタル候補者以外ノ人ニ投票スルノ權利ハナイコトニナルノデアリマス、尙其候補者ノ數ヲ選出議員ノ數ト同一ナルトキニハ選舉行ハズシテ候補者ヲ直チニ議員ト宣告スルコトニナルノデアル、即チ是ハ永ク英國ニ行ハレテ居ル例ノ無競選舉ト云フコトニナルノデアリマス、一選舉區一名選出スル場合ニハ候補者ガ一人デアル場合ニハ選舉、手續ヲ省略シテ、其候補者ガ直チニ選舉セラレタルモノト認メルト云フコトニナリマス、同ジク一選舉區ヨリ二名選出スルニ選舉長ニ若クハ二名選出スル場合ニ候補者ガ三名デアレバ、是又選舉ノ手續ヲ省略シテ候補者ガ直チニ代議士ニナルト云フ方法ニナルノデアリマス、ソレカラ今一ツハ一選舉區ヨリ十名以上モ選舉スル場合ニ於キマシテ、選舉人ガ自ら被選舉人ノ名前ヲ記入スルコトニ云フコトハ隨分難シト云フコトヲ慮リマシテ、届出ラセタルトコロノ候補者ハ黨派ニ籍アル者ハ黨派別ノ據リ、黨派ニ籍ノナイ者ハ或ハ無所属トシテ之ヲ投票用紙ヲ捺シ印刷シテ、ソレカラ選舉人ハ印刷シタル投票用紙ニ依リテ選舉行フト云フコトニナル、又印刷サレタ候補者ニ不滿アツテ自ら記入シタイ考ノアル選舉人ニハ其自由ヲ與ヘ

〇鳩山和夫君 諸君、發言ノ通告ガアリマスガ……

〇議長(長谷場純孝君) 一括シテ議題トナツテ居リマス

〇議長(長谷場純孝君) 一括シテアリマス

〇鳩山和夫君 一案共ニ貴族院ニ同意スベシトノ動議ヲ提出シマス

〇贊成(下呼フ者アリ)

〇山根正次君 私立貴族院ノ修正ノ前ノ方ハ贊成デアリマスレドモ「第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フ下ニ「本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得若シ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得」ト云フコトガ削除ニナツテ居リマス、之ニ對シテハ全然衆議院通りニ行ハレンコトヲ希望スルノデアリマス、何故カナラバ醫師ナル者ハ醫師トナルニ對シテハ甚ダ學問ニ對シテ困難スルノミナラズ實地ニ於テ非常ナリ修養ヲ要シ、加アリニ得タルトコロノ免狀ヲ一朝ニシテ失フ場合ガアルコトガアルノデアリマス、醫師ニナツタ以上ハ或ハ傳染病ノ豫防法ニ、或ハ瀕死預防法ニ、或ハ種痘法ニ、其他醫師法刑法法等ニ於テ、醫師ノ束縛セラレ、トコロノ規定ガ澤山アルノデアリマス、若モ一朝誤ラ際ニ於テハ、警察官ガ之ガ過チヲ告發サレタ際ニ於テハ、或ハ裁判所ニ訴ヘラレ、或ハ行政處分ヲセラレ、トコトガアリマス、此行政處分ハ無論中央衛生會ニ於テ審議ノ未ヤラレノデアリマスカラ、公平ヲ缺クヤウナコトハアルマイトハ存ジマスケレドモ、多クハ内務大臣ノ取調ベラレタコトハ皆警察官ノ調ニ據ルノデアリマス、醫師ガ之ニ對シテ處分ヲ受ケタ際ニ於テハ、或ハ訴訟願ヲスルコトガ出來ルトカ、或ハ行政處分ニ對シテ不服ヲ行行政裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルト云フコトハ、醫師社會ニ於ケル權利ヲ伸暢スル上ニ非常ナル必要ナル條件デアリマス、殊ニ政府ニ於カレマシテハ醫師ニ對シテハナカノ嚴重ニ取締ニナツテ、非醫

〇鳩山和夫君 諸君、會期ノ切迫シタル今日、此大問題ヲ茲ニ提ゲテ參リマシテモ或ハ兩院通過スルトキガナイカトモ考ヘマスガ、併ナガラ茲ニ院議ヲ定メテ置クト云フコトニナリマスレバ、一ノ進歩デアリマスカラ、姑ク御清聴ヲ煩ハシテ御贊成ヲ得タト思フノデアル、併シ此委員會ハ二十七名カラ成立シテ居リマシテ、委員會ハ數回開會セラレマシタ、其中ニ五名ノ特別委員ヲ選定シテ、此特別委員ニ更ニ精密ナル調査ヲ求メ、特別委員ノ報告ヲ委員會ノ本會ニ報告シテ、ソレガ可決スルトコロトナツデアリマス、大別シテ報告ヲ致シマスト第二十八條ノ一、二、三ト云フノハ詰リ候補者制度ニ關スル改正デアリマシテ、從來ノ選舉法ニ依リマス、候補者ト云フモノハ、法律ノ認メテナイノデアル、此度ハ候補者ナルモノヲ法律ノ中ニ之ヲ認メタ譯ニナルノデアリマス、即チ衆議院議員ノ候補者ハ選舉人五十名以上ニ於テ之ヲ推薦シテ而シテ其選舉長ニ選舉ノ期日ヨリ十四日前ニ提出シムルコトニナルノデアリマス、而シテ選舉人ガ推薦シタル候補者以外ノ人ニ投票スルノ權利ハナイコトニナルノデアリマス、尙其候補者ノ數ヲ選出議員ノ數ト同一ナルトキニハ選舉行ハズシテ候補者ヲ直チニ議員ト宣告スルコトニナルノデアル、即チ是ハ永ク英國ニ行ハレテ居ル例ノ無競選舉ト云フコトニナルノデアリマス、一選舉區一名選出スル場合ニハ候補者ガ一人デアル場合ニハ選舉、手續ヲ省略シテ、其候補者ガ直チニ選舉セラレタルモノト認メルト云フコトニナリマス、同ジク一選舉區ヨリ二名選出スルニ選舉長ニ若クハ二名選出スル場合ニ候補者ガ三名デアレバ、是又選舉ノ手續ヲ省略シテ候補者ガ直チニ代議士ニナルト云フ方法ニナルノデアリマス、ソレカラ今一ツハ一選舉區ヨリ十名以上モ選舉スル場合ニ於キマシテ、選舉人ガ自ら被選舉人ノ名前ヲ記入スルコトニ云フコトハ隨分難シト云フコトヲ慮リマシテ、届出ラセタルトコロノ候補者ハ黨派ニ籍アル者ハ黨派別ノ據リ、黨派ニ籍ノナイ者ハ或ハ無所属トシテ之ヲ投票用紙ヲ捺シ印刷シテ、ソレカラ選舉人ハ印刷シタル投票用紙ニ依リテ選舉行フト云フコトニナル、又印刷サレタ候補者ニ不滿アツテ自ら記入シタイ考ノアル選舉人ニハ其自由ヲ與ヘ

〇鳩山和夫君 諸君、發言ノ通告ガアリマスガ……

〇議長(長谷場純孝君) 一括シテ議題トナツテ居リマス

〇議長(長谷場純孝君) 一括シテアリマス

〇鳩山和夫君 一案共ニ貴族院ニ同意スベシトノ動議ヲ提出シマス

〇贊成(下呼フ者アリ)

〇山根正次君 私立貴族院ノ修正ノ前ノ方ハ贊成デアリマスレドモ「第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フ下ニ「本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得若シ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得」ト云フコトガ削除ニナツテ居リマス、之ニ對シテハ全然衆議院通りニ行ハレンコトヲ希望スルノデアリマス、何故カナラバ醫師ナル者ハ醫師トナルニ對シテハ甚ダ學問ニ對シテ困難スルノミナラズ實地ニ於テ非常ナリ修養ヲ要シ、加アリニ得タルトコロノ免狀ヲ一朝ニシテ失フ場合ガアルコトガアルノデアリマス、醫師ニナツタ以上ハ或ハ傳染病ノ豫防法ニ、或ハ瀕死預防法ニ、或ハ種痘法ニ、其他醫師法刑法法等ニ於テ、醫師ノ束縛セラレ、トコロノ規定ガ澤山アルノデアリマス、若モ一朝誤ラ際ニ於テハ、警察官ガ之ガ過チヲ告發サレタ際ニ於テハ、或ハ裁判所ニ訴ヘラレ、或ハ行政處分ヲセラレ、トコトガアリマス、此行政處分ハ無論中央衛生會ニ於テ審議ノ未ヤラレノデアリマスカラ、公平ヲ缺クヤウナコトハアルマイトハ存ジマスケレドモ、多クハ内務大臣ノ取調ベラレタコトハ皆警察官ノ調ニ據ルノデアリマス、醫師ガ之ニ對シテ處分ヲ受ケタ際ニ於テハ、或ハ訴訟願ヲスルコトガ出來ルトカ、或ハ行政處分ニ對シテ不服ヲ行行政裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルト云フコトハ、醫師社會ニ於ケル權利ヲ伸暢スル上ニ非常ナル必要ナル條件デアリマス、殊ニ政府ニ於カレマシテハ醫師ニ對シテハナカノ嚴重ニ取締ニナツテ、非醫

〇鳩山和夫君 諸君、發言ノ通告ガアリマスガ……

〇議長(長谷場純孝君) 一括シテ議題トナツテ居リマス

ルコトニナテ居ル、是ガ候補者ニ關スル先ツ大體ノ説明デアリマス、其次デ第三十六條並ニ第六十四條ニ於テ改正ヲ加フルコトニナテ居リマスカラ、一括シテ説明致シマスル

ト、例ノ比較選舉若クハ公平選舉ト名付ケルコトノ前年英國ニ於テヘアー氏ガ先ツ首唱シマシタトコロノ案デアッテ、ソレニ此ヘアーノ考出シタトコロノ案ニ更ニ諸國ノ選舉法

ニ趣味ヲ持ツテ居ル人ガ改良ヲ加ヘ、最新ノ即チ白耳義ニ行ハレテ居ルモノノ據リマシテ、之ヲ取捨シテ此修正案ガ成立チマシタ、委員會ニ現ハレマシタ比較選舉ノ總テノ

方法ノ中ニ第一ガヘアーノモノ、ソレカラ第二ニハ假リニ林田案ト名ヅケマス、林田書記官長ガ歐米漫遊中ニ取調ベラレ、見テ來タ結果ヲ參考ニ同サレタ林田案ト、ソレカラ第三ニハ白耳義ニ行ハレテ居ル一種ノ法案、此三ツノモノガ委員會ニ於テ研究ノ材

料トナリマシテ、而シテ其結果採用セラレタルモノノ最モ能ク白耳義國ニ行ハレテ居ルモノニ類似シテ居リマス、之ヲ簡單ニ説明致シマスルト、先ツ一選舉區カラ行テ自由黨、ソ

レカラ社會黨或ハカトリックト云フヤウナ黨ガ三ツノ黨派ガアルトスレバ、自由黨ニ屬スル投票ハ一括シテ一方ニ集メ、社會黨ニ屬スル投票用紙ハ之ヲ一括トナシ、又自由黨社

會黨カトリック黨ニ屬スルモノハ一括トナシテ積上デマシテ、此積上タタコトコロノ三黨アレバ三ツニ併セマシテ、其内ニ有效投票ヲ選出スベキ代議士ノ數ニ依ッテ一是ハ

違ヒマシタ、其數ヲ一二若クハ三ト云フヤウナ數ニ依ッテ割リマシテ、其割リタタコトノ商

場合ニハ政友會ノ次點者カラ之ヲ補充スルト云フコトニ極メテ諍デアリマス、此處デ、斯

様ナコトヲ申スノハ委員長報告トシテ餘計ナコトデアルカ知りマセガ、此委員中ニ於テ

田川大吉郎君ガ大ニ各國ノ典例ナドヲ御調ベニナツタ材料ヲ供給セラレタコトデアリマス、

委員會トシテ同君ノ勞ヲ謝シテ宜カラウト考ヘマスカラ、併セテ此事ヲ報告ノ序ニ申上

ゲテ置キマス(拍手起ル)

○根本正君 議長……

○根本正君 反對ガナケレバ贊成演說ハ宜カラウト云フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 通告ハ贊成ノ通告ガ根本正君一人ノミ、反對ノ通告更ニ

○採決々々ト呼フ者アリ

○小河源一君 私ハ簡單ニ此處ニ於テ本案ニ反對ノ意ヲ言明シタイ、此自黨ニ互讓スルト云フヤウナ事柄ハ此席ニ著イテ居ラレド、此議員諸君ノ如キハ、之ヲ計算スル上ニ於テ結果ガ如何ニナルト云フトコロモ推察シ得ルコトデゴザイマセウ、併ナガラ唯今我國ノ國民ノ程度ヨリ考ヘマスレバ、自黨ニ讓ルガタメニ其結果ガ如何ナルコトガ生ズルカト云フガ如キコトハ甚ダ知リ難イコトデゴザイマス、是ガタメ選舉ノ結果ハ選舉人意思ノ外ノ結果ヲ生ズルコトガ往々ニシテアルノデアリ、故ニ斯様ナ改正ノ方法ハ未ダ我國民ノ程度ニ當ラナイモノト考ヘマス、即チ此改正案ノ如ク選舉會ニ於テ明カニ政黨別ヲ爲シ、或ハ豫メ候補者ヲ居出ル、若クハ全ク是マデ我國ノ習慣ノナイコトノ互讓別ヲ爲定メマス等ノ事柄ハ頗ル考慮ヲ要スル問題デアリ、斯ル問題ハ趣意ニ於テ反對ナルミナラズ、此會期切迫ノ日ニ於テ直チニ可決スベキ問題デナイト考ヘマス、故ニ本案ニ反對ナルコトヲ明言シテ置キマス

○採決々々ト呼フ者アリ

○田川大吉郎君 議長

○議長(長谷場純孝君) 田川君ハ何カ御意見デスカ、今採決ヲシヤウト思ヒマスガ

○田川大吉郎君 賛成説ヲ述ベテ委員長ノ報告ニ少シ説明ヲ加ヘテ置キタイ

○無用々々 謹聽々々ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 田川大吉郎君

○田川大吉郎君登壇

○簡單ニ願ヒマスト呼フ者アリ

○田川大吉郎君 委員長ノ報告ニ全部賛成ノ意ヲ懷イテ居ルモノデアリマスカラ、其理由ニ付テ彼是述ベル必要ハ少シモ私ニ取テハナイノデアリ、唯計算ノ仕方ガ動キモスレバ、混雜ニシテ明白ヲ缺クトノ嫌ガアリ、竝ニ唯今ノ反對論ノ御説モアリマシタカラ、先キノ委員長ノ説明ヲ補ヒマス積リテ、此處ニ數字ヲ掲ゲテ説明ヲ加ヘ、之ヲ速記録ニ殘シテ尙ノ諸君ノ御記憶ニ便利ナラシメタイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、委員長ノ報告ハ自由黨、社會黨、及「カソリック」黨此ニ區別ヲシテ御説明ニナリマシタ、其二黨ノ區別ヲ委員會ニ於テ「カソリック」黨此ニ區別ヲシテ御説明ニナリマシタ、其二黨ノ表ガ御分リニナリマスカドウカ分リマセウガ、(見エマセウ)ト呼フ者アリ(見エマセウカ(見エル、眼ノ惡ルイ人デナケレバ見エル)ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) ドウカ静ニ

○田川大吉郎君 私ガ此數字ヲ讀上ゲマス、此場合ニ於キマシテ第一ノ八千四百四十五票、之ヲ自由派ノ有效投票ノ總數ト見ル、此ハ選舉ノ結果デアリマス、第二ノ五千六百八十票ヲ社會黨ノ總數ト見マス、第三ノ二千七百二十五票ヲ「カソリック」黨ノ總數ト見マス、此場合ニ有效投票ノ總數ハ一万七千五百五十票デアリマス、此選舉區ニ於キマシテ假リニ七八ノ代議士ヲ選出スルコト致シマスレバ、此一万七千五百五十票ヲ七八ノ定數テ割リマシテ、其商ハ二千五百七票、此二千五百七票ヲ以テ一代議士ノ當選點數ヲ標準ト致シマス、ソレデ一万七千五百五十票ノ中カラ此標準數ニ應ジタル七名ノ代議士ヲ出スコトハ最モ公平ナル道理デアリマス、所ガ此方法ニ依テ歐洲ノ或ル一國テ選舉ヲ實行シテ見マシタトコロ、八千四百四十五票ノ總數ヲ得タル一ノ黨派カラハ三人ノ代議士ヲ出シテ六百二十四票ノ總數ヲ殘シ、五千六百八十票ノ黨派カラハ二人ノ代議士ヲ出シテ六百六十六票ヲ殘シ、二千七百二十五票ヲ得タル其小黨派カラハ一人ノ代議士ヲ出シテ二千二百二十八票ノ總數ヲ出シマシタ、此殘數ヲ割付ルコトニ付キ其國デハ研究ノ結果一番餘計ノ殘數ヲ生ジタル、小黨派ニ更ニ一人ノ代議士ヲ出スコトヲ許シマシタ、ソレデ其結果トシテ八千四百四十五票ノ黨派カラハ二人ノ代議士ヲ出シ、五千六百八十票ノ黨派カラハ二人ノ代議士ヲ出シ、二千七百二十

五票ノ黨派カラハ二人ノ代議士ヲ出シマシタガタメニ、或ル黨派ハ二千八百四十票ヲ以テ一代議士ヲ出シナガラ、極ク少數黨ハ千八百六十二票ト云フ僅カナ數ヲ以テ一代議士ヲ出スコトノ出來ル割合ニナリマシタ、ソコデ公平ヲ目的トシテ案出サレマシタトコロノ此選舉法ノ適用ノ結果ハ、ソレ程公平デナイト云フ結果ヲ生ジタルデアリマス、此不公平ナル今申上ゲマシタル標準ニ付テ不公平ナル結果ヲ改ムベク、更ニ一箇ノ方法ヲ考ヘタ者ガアル、ソレハ先程委員長カラ御説明ニナリマシタル此八千四百四十五票、及五千六百八十票、及二千七百二十五票此三黨ノ總數ヲ一、二、三、四、五トテ假定シ、數ヲ以テ割リテ見マシテ一番多イ數カラ順々ニ點ヲ取ツテ往キマスレバ、八千四百四十五票ガ一番デアッテ五千六百八十票ガ二番デ、四千七百二十五票ガ三番デ、二千七百二十五票ガ四番デ、二千八百四十票ガ五番デ、二千七百二十五票ガ六番デ、二千三百六十六票ガ七番ニナル、即チ此選舉ニ於テハ代議士ノ定數ガ七人デアリマス、故ニ斯ク割出シテ最高點カラ配列シテ七番ニ當ル代議士ノ數ト、割出サレタル數ノ同ク順番ニ當ル二千三百六十六票ヲ以テ代議士ノ分配標準ト見ルノデアリマス、サウ致シマスレバ先程申上ゲマシタ通りノ結果トハ違テ、八千四百四十五ノ黨派カラハ四人ノ代議士ヲ出シ、五千六百八十ノ黨派ニ於テハ二人ノ代議士ヲ出シ、二千七百二十五ノ黨派ニ於テハ一人ノ代議士ヲ出ス、詰リ二千三百六十六ノ分配標準數ト致シテ此標準數ガ各派ノ得タル投票總數ノ中ニ幾ツ含ムカ、幾ツノ代議士ノ數ヲ含ムカト云フコトヲ見ルノデアリマス、即チ以上ノ分配標準數ヲ以テ各派ノ得タル投票ノ總數ヲ割リマシテ、出マシタルトコロノ商ガ各派ヨリ選出スベキ代議士ノ數トナルノデアリマス、斯ノ如ク考ヘマスコトガ今日マデノ間ニ考ヘラレタル比例分配投票法ノ中ノ最モ進歩シタル、又最モ公平ナル方法ト考ヘラレテ居リマス(拍手起ル)私ノ説明ハ是テ終リマシタ、ドウツ満場ノ御贊成ヲ願ヒマス

(參照)

第一例 (瑞西ニテ實行サレタル比例分配投票法)

8145	8145	(1)
5680	5680	(2)
3725	3725	(3)
1750	1750	(4)
8145	8145	(5)
5680	5680	(6)
3725	3725	(7)
1750	1750	(8)
8145	8145	(9)
5680	5680	(10)
3725	3725	(11)
1750	1750	(12)
8145	8145	(13)
5680	5680	(14)
3725	3725	(15)
1750	1750	(16)
8145	8145	(17)
5680	5680	(18)
3725	3725	(19)
1750	1750	(20)

瑞西法ノ不公平トトセラレタル實例

第二例 (分配總額) 〇リテ提出シタル(第三)ノヤ

8145+2036=4
5680+2036=2
3725+2036=1

〇鈴木總兵衛君 政府委員ハ此案ニ對シテドウ云フ御意見デアリマスカ、チヨット伺ヒマス
〔贊成〕下呼フ者アリ

〔政府委員安廣伴一郎君登壇〕

〇政府委員(安廣伴一郎君) 是ハ隨分選舉法ノ改正ニ取ッテハ大問題ト考ヘマスノデゴザイマスカ、政府ニ於テハ直チニ是ニ向ッテ贊成ヲスルト云フコトハ申兼ネルノデゴザイマスカ、免ニ角之ヲ宿題トシテ研究シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス
〔採決々々〕下呼フ者アリ

〔贊成〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、即チ本案、二讀會ヲ開クヤ否ヤ

〇恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〇議長(長谷場純孝君) 先ズ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テハ小河君ノ反對説ガアリマスカラ、ドウシテモ採決セザルヲ得ヌ、二讀會ヲ開クコトニ云フ方ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〇議長(長谷場純孝君) 多數ト認メマス

〇恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〇恆松隆慶君 委員長報告通り 是ハ反對ガアッテモ極ク少數デアラウト思ヒマスカラ、序ニ讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決アランコトヲ望ミマス
〔贊成々々〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 第三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ委員長報告通りト云フ說ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス

〔拍手起ル〕

〇議長(長谷場純孝君) 日程第十三、所得稅法中改正法律案、花井卓藏君外一名提出、第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者花井卓藏君

〔拍手起ル〕

第十三 所得稅法中改正法律案(花井卓藏君外一名) 第一讀會

提出

所得稅法中改正法律案

第十八條第二項但書及第三項ヲ削ル

〇花井卓藏君 私ハ病氣デゴザイマスカラ、鵜澤君ガ說明致シマス

〇鵜澤總明君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ申上ゲマス、本案ハ此所得稅法中ニ於キマシテ調査委員ヲ選ブ、其準備ノ委員ノ選舉ニ當ッテ郵便ニ依ッテ投票ノ送附ヲ許スコトニナッテ居リマス、所ガ郵便ニ依リマシテ投票ヲ送ルト云フコトハ、イロ／＼ノ弊害ガアルノミナラズ、選舉ノ原則ニモ反シテ居リマスルシ、又十八條ニ舉ゲテアルトコロノ原則ヲ悉ク破壊スルト云フヤウナ弊害ノ規定デゴザイマスカラ、之ヲ改正致シタイト云フ趣意デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス
〔贊成々々〕下呼フ者アリ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員議長指名ナランコトヲ望ミマス

〇議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名ノ委員九名ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、是ニ於テ先刻日程ヲ變更シテ決定セラレマシタル新聞紙法案ヲ議題ニ致シマス 新聞紙法案第二讀會ノ續

新聞紙法案(村松恆一郎君外一名提出) 第二讀會ノ續

〇立川雲平君 議長

〇立川雲平君 此新聞紙法案ハ長島君ノ發議ニナリマシタ修正ヲ悉ク贊成致シマス、更ニ本員ハ此第二十三條ノ中ニ斯ウ云フ修正ヲ致シタイ、二十二條ノ中ニアル「安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害シ」此害ト云フ文字カラ以下十六文字ヲ削ッテ「スル」ト云フ二字ヲ加ヘルノデアリマス、サウスルト「軍事若クハ外交ニ障礙ヲ及ボス」ト云フ文字ヲ取除ケル、之ヲ取除ケマスルト云フ第二、此事柄ニ付テハ發賣頒布ヲ禁ズルコトガ出來ナイカト云フ虞モゴザイマスカ、ソレハ第二十七條ニ依ッテ其様ナル不都合コトガゴザイマスルナラバ、當局者ハ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトガ出來ルコト、ナッテ居リマスカラ、第二十二條ニ於テ右申シタル十六文字ヲ削ッテ二字ヲ加ヘルコトニ致シタイ考デアリマス、更ニ修正說ヲ提起致シマス

〇議長(長谷場純孝君) 御諮リ致シマス、長島君ノ修正ハ各條ニ付テ修正ガ出テ居リマス、又唯今立川君カラモ修正說ガ出シタカラシテ、議事ノ便利ヲ計ルタメニ、此修正ノ出テ所ニ付テ逐條ニ採決シタイト思ヒマス、其方ガ議事ガ早ク運ハウト思ヒマス

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 其通り致シマス、是カラ逐條議ニ掛リマス、即チ長島君ノ修正說ハ第一條ヨリ第四條ノ第六マデハ修正ガナイノデアリマス、即チ第七「持主ノ氏名若シ法人ナルトキハ其名稱及代表者ノ氏名」斯ウ云フコトヲ入レテ即チ第八項ガ加ハルノト、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス 〇ソレカラ「前項ノ届出アル持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル」ト云フ字ガ加ハル、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス 〇尚今ノ宣告致シマシタケレドモ、外ニ修正ガナイヤウデアリマスカラ、便宜ノ爲メニ二十二條ヲ除イテ他ハ皆長島君ノ修正ニ付テ採決シタイト思ヒマス、ソレテ御差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

〇議長(長谷場純孝君) ソレテハヤハリ前ニ宣告致シタ通り、第五條ノ中第六號ノ

衆議院議員選舉法中改正法律案 第二讀會(確定議)

所得稅法中改正法律案 第一讀會 新聞紙法中改正法律案 第一讀會

新開紙法案(村松恆一郎君外一名提出) 第二讀會ノ續

立川雲平君 議長

立川雲平君 此新聞紙法案ハ長島君ノ發議ニナリマシタ修正ヲ悉ク贊成致シマス、更ニ本員ハ此第二十三條ノ中ニ斯ウ云フ修正ヲ致シタイ、二十二條ノ中ニアル「安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害シ」此害ト云フ文字カラ以下十六文字ヲ削ッテ「スル」ト云フ二字ヲ加ヘルノデアリマス、サウスルト「軍事若クハ外交ニ障礙ヲ及ボス」ト云フ文字ヲ取除ケル、之ヲ取除ケマスルト云フ第二、此事柄ニ付テハ發賣頒布ヲ禁ズルコトガ出來ナイカト云フ虞モゴザイマスカ、ソレハ第二十七條ニ依ッテ其様ナル不都合コトガゴザイマスルナラバ、當局者ハ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトガ出來ルコト、ナッテ居リマスカラ、第二十二條ニ於テ右申シタル十六文字ヲ削ッテ二字ヲ加ヘルコトニ致シタイ考デアリマス、更ニ修正說ヲ提起致シマス

議長(長谷場純孝君) 御諮リ致シマス、長島君ノ修正ハ各條ニ付テ修正ガ出テ居リマス、又唯今立川君カラモ修正說ガ出シタカラシテ、議事ノ便利ヲ計ルタメニ、此修正ノ出テ所ニ付テ逐條ニ採決シタイト思ヒマス、其方ガ議事ガ早ク運ハウト思ヒマス

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

議長(長谷場純孝君) 其通り致シマス、是カラ逐條議ニ掛リマス、即チ長島君ノ修正說ハ第一條ヨリ第四條ノ第六マデハ修正ガナイノデアリマス、即チ第七「持主ノ氏名若シ法人ナルトキハ其名稱及代表者ノ氏名」斯ウ云フコトヲ入レテ即チ第八項ガ加ハルノト、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス 〇ソレカラ「前項ノ届出アル持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル」ト云フ字ガ加ハル、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス 〇尚今ノ宣告致シマシタケレドモ、外ニ修正ガナイヤウデアリマスカラ、便宜ノ爲メニ二十二條ヲ除イテ他ハ皆長島君ノ修正ニ付テ採決シタイト思ヒマス、ソレテ御差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

議長(長谷場純孝君) ソレテハヤハリ前ニ宣告致シタ通り、第五條ノ中第六號ノ

「事項又ハ」ト云フ「又ハ」ト下ニ「特主」ト云フ字ヲ加ヘ、而シテ「特主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊特主又ハ其ノ法定代理八ノ連署ヲ要ス」ト云フ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——ソレカラ第六條ヨリ第十一條マデハ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、委員長報告通り決シマス——ソレカラ第十二條ニ「入口七万以上ノ市」ト云フ字ヲ挿入スル、即チ「市又ハ區」斯ウ云フ修正ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第十二條ハ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第十四條ニ保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其還附ヲ請求シ又ハ其債權ヲ讓渡スコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス」斯ウ云フ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一條マデハ御異議ハアリマセヌカ——二十二條マデ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 第二十二條マデハ委員長報告通り決シマス、第二十三條○立川雲平君 本員ガ修正説ヲ提出致シマシタ二十三條ノ採決ノ際ゴザイマスガ、此修正説ノ結果トシテ四十一條ニモヤリ文字ヲ削除スベキ點ガゴザイマス、是ハ二十三條ノ修正説ト同一デゴザイマスカラ、此修正ニ依ッテ、ヤハリ四十一條ニモ修正ヲ致サヌケレバナラヌデアリマス、此事ヲ提議致シテ置キマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 立川君ニ御確メ致シマスガ、斯ウナルノデスカ「内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ若クハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣」ト下クナルデアリマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 即チ「害シ」ト云フ字カラ「及ホス」ト云フマデヲ削ルト云フ、而シテ長島君ノ修正ガハッテ居リマスガ、之ニハ御同意デアルト云フノデスカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 即チ第二十三條ノ今ノ立川君ノ修正ニ賛成ガアリマスカ

〔賛成々々〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ賛成ガアリマスト思ヒマスカラシテ、之ヲ一應朗讀シマス「内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ若クハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得」斯ウ云フコトニ長島君、立川君ノ修正ヲ合セルトナルデアリマス、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——ソレカラ第二十四條「發賣及」ト云フ字ヲ「頒布」ト云フ字ノ上ニ加ヘルト云フ修正ニナッテ居リマス、此長島君ノ修正ニ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第十五條是モ發賣又ハ「ト云フ字ヲ頒布」ト云フ字ノ下ニ加ヘル、而シテ其下ニ「新聞紙ハ内務大臣」トアツク「管轄地方官廳」ト云フコトニ直シテアル、此修正ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第二十條「差押ヲ解除セラレタルトキハ内務大臣」トアルノヲ「差押ヲ執行シタル行政官廳」ニ於テ「ト下ク修正スルト云フコトニ長島君ノ修正ガハッテ居ル、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——第二十七、第二十八、二十九條マデハ委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——第三十條ノ「第四條第一項第一號」ト云フ所ニ「第四號」ト云フ文字ヲ加ヘル、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——ソレカラ茲ニ第二十一條ヲ加ヘテ「第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ」届出ノ事項ニ違反シタル行為ヲナシタルトキハ「發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」斯ウ云フ修正ニナッテ居リマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス、而シテ第三十一條ガ第三十二條ニナリ、第三十二條ガ第三十三條ニナリ、ソレデ第三十三條ハ削除ニナル、是ニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、第三十四條第三十五條六條七條マデハ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス、二十八條ニ「新聞紙ヲ頒布」ト云フ「頒布」ト上ニ「發賣又ハ」ト云フ文字ヲ加ヘル修正ニナッテ居リマスガ、是ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ其通り決シマス、第三十九條四十條ハ委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ其通り決シマス、今立川雲平君ノ修正ハ第四十一條ニ「安寧秩序ヲ紊シ若クハ風俗ヲ害シ」トアル「以下」ニ又ハ「軍事若クハ外交ニ障碍ヲ及ス」ト云フコトヲ削ッテサウシテ「若クハ風俗ヲ害スル事項」新聞紙ニ掲載シタルトキハ「ト下ク修正スルト云フコトガアリマスガ御異議アリマセヌカ、

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス、第四十二條四十三條四十四條四十五條及附則全部委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス、是ニテ二讀會

ハ終ヘマシタ

○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

新聞紙法案

確定論

○元田肇君 本員ハ此際チヨット確メテ置キタイト思ヒマス、實ハ第十九條ノ場合ニ確メテ置キアリマシタガ、取込ニテ後レマシタカラ二讀會ニ於テ伺フテ置キマス、此改正案ノ十九條ヲ見マスルト豫審ノ内容ニ關スル記事云々ト書イテアリマス、所ガ此豫審ノ内容ニ關スルト云フコトヲ廣義ニ解釋シマスレバ、一度豫審ニ附セラレタ人ノコトハ總テ書ケヌト云フコトニナツテ、新聞社ハ全ク筆ヲ執ルコトハ出來ヌト云フコトニナリマス、併シ法律ハ斯ノ如ク極端ニ走ルモノデハナイト信ジマスカラ、亂暴ノ解釋ハ執ラヌト考ヘマスガ、念ノタメニ尋ネテ置キマス、現ニ豫審ニナツテ居ル豫審廷テ取調中ノ内容ニ關スルト云フ意味ニ於テ、政府モヤハリ原案ヲ贊成サレテ居ルノデアリマスカラ、其點ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員 法學博士平沼騏一郎君登壇〕
○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) 唯今元田君サンカラノ御質問ハ結局唯今御述ベニナツタ通りノ意味ニ解セラル、コト、考ヘマス、即チ豫審ノ取調ノ内容ト云フコトニ相成ラウト思ヒマス

○元田肇君 唯今二讀會ヲ修正セラレタ通りニ確定セラレシコトヲ望ミマス、尙附加ヘテ申シテ置キマスガ、先刻立川君ヨリ提出サレテ修正ニナツタ中デ文字ヲ削リマシタメニ上ダケテ殘シテ其儘デハ文章ガオカシクナリマスカラ、又ハ「ト」云フ字ヲ加ヘル必要ガアラウト思フ、是ハ僅ニ二文字ヲ修正デアリマスカラ議長ニ御委セシテ法文ノ體裁ヲ明カニシタイト思ヒマス、其意味ニ於テ御贊成ヲ願ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○立川雲平君 唯今二讀會於テ二讀會ノ修正ノ趣意ニ依ッテ全文ヲ通覽シマスニ、尙第二十四條ニ軍事若クハ外交ニ障礙ヲ及ビ云々ト云フ文字ガアリマスカラ、第二二讀會ニ於テ修正シテ趣意ニ依ッテ是モ削除スルコトニナリマス、此際之ヲ提議致シマスカラ御贊成アラント望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 唯今立川君ノ發議ハ既ニ第二十二條及四十一條ニ於テ、斯ノ如ク議場ガ決定サレタ以上ハ其結果トシテ修正セザラ得ヌノデアリマス、其通りテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 其他意味ニ於テ異ナルトコナケレバ「又ハ」トカ「若ハ」トカ字句ノ修正ハ元田君御發議ノ通り、議長ニ御委セシテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ二讀會ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○荒川五郎君 本員ハ議長ニ御注意ヲ願ヒマス、先キ提出致シマシタ税法整理ニ關スル建議案ガ委員會ニ付託サレテ居リマスガ、ソレト同一ナル委員ニ付託セラレタル非常特別法改正案ニ付テ委員會ヲ開カレタノミテ其儘ニナツテ居ルノデアリマス、一體税法整理ノコトハ大切ノ問題デ政友會ニ於テモ之ヲ認メテ税法ヲ整理スルニハ第一ニ

官報號外 明治四十二年三月二十三日 衆議院議事速記録第二十四號

云々ト云ツテ建議モ出テ居ルノデアリマス、國家ノ財政ヲ整理スルニハ最モ大切ナル事柄デアリマス、然ルニ爾來其委員會ヲ開カズ其儘ニナツテ居リマス、或ハ明日アタリ開カルト云フ噂モ聞キマシタガ、ソレハ果シテドウデアリマスカ、委員會ガ遲滞シテハイケナイト云フコトハ衆議院規則ニモアリ、先例モアルノデアリマス、又此委員會ニハ長君ノ提案並ニ本員ヨリ提出シタル地租輕減ニ關スル建議案モアリマス、デ委員會ニハ長君ノ提案並ニ委員會ヲ開カレテ建議ニ報告アルヤウニ議長カラ御注意ヲ希望致シマス

○元田肇君 本員ハ委員會長トシテ一應御答ヲ致シマス、唯今荒川君ヨリ御請求ニナツタトコロノ議案ハ稅制ヲ整理シテ地租等モ速ニ輕減ニナルヤウニト云フ案デゴザイマスガ、此建議案ニ付キマシテハ豫算以來屢、政府ノ方ニ向ヒマシテモ質問等モ致シマシタルニ、政府ハ十分ニ整理ヲ進行シ、アルト云フ御答ヲ得テ居ルノデアリマシテ、大同派ノ諸君ニ於キマシテハ政府ノ此言明アルニ於キマシテハ唯建議案ヲ玆ニ提出スルト云フ必要ハナカラウト云フ考ヲ以テ我々交涉致シテ居ルコトデゴザイマス、然ルニ是非共之ヲ結了致シタイト云フ御意見デアリマスカラ、先刻淺羽君ニ向ッテ本員ハ明日ノ午後二開クト云フコトヲ御答ヲ致シテアルノデアリマス、同君ガ御承知ニナツテ居ル次第デアリマス、委員課ニ向ッテハ明日ノ午後二時ニ開會スルト云フコトヲ通知シテ置キマシタ、右様ノ次第デアリマスカラ最早荒川君ハ疾ニ此事ヲ御承知ニナツテ居ルコト本員ハ信ジテ居ルノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 議長カラ注意ヲシテ貴ヒタイト云フ荒川君ノ御請求デアリマシタガ、唯今委員會長カラ事明瞭ニ述ベラレマシタカラ、ソレニテ御承知ヲ請ヒマス、日程第十四、外交文書公表ニ關スル建議案前會ノ續

第十四

外交文書公表ニ關スル建議案(小川平吉君外 前會ノ續 一名提出)

○濱名信平君 關稅定率法輸入稅表中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キタイノデアリマスガ……

○議長(長谷場純孝君) 關稅定率法輸入稅表中改正法律案外一件ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フ委員會長濱名信平君ヨリ請求ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス、—— 本案ニ對シテハ別ニ御議論ガナイヤウデアリマスカラ、此建議案ヲ採用スルヤ否ヲ……

○鳩山和夫君 チヨット待シテ下サイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 唯今議題トナリマシタル建議案ニ付キマシテ、簡單ニ政府ノ所見ヲ述ベマス、外交ニ關スル國家ノ秘密ノ發表出來ナイコトハ勿論デゴザイマスガ、從來トテモ重要ナル國際交渉事件ノ顛末ハ其都度或ハ議會ニ報告シ、或ハ官報ニ掲載シ(大聲ニ望ム)ト呼フ者アリ、或ハ新聞紙上ヲ以テ公表致シ來ッテ居リマス、此後ハ尙一層注意ヲ用非マシテ、差支ナイ限り成ルベク國際交渉事件ノ顛末ヲ公表スル考デゴザイマスカラ、此事ヲ一言申上ゲテ置キマス

〔拍手スル者アリ〕

○鳩山和夫君 唯今小村外務大臣ハ從來ニ於テモ差支ナイ限りハ外交文書ヲ公表シタ、將來ニ於テハ尙注意シテ公表スル考デアルト云フコトデ、勿論外交ノ事ハ事ニ依ッテハ如何ニ我々ガ望ムデモ公ニスベカラザル種類ノモノモアルノデアリ、公ニスベキモノハ注意シテ之ヲ公ニスルコト云フ言明ノアル以上ハ、斯様ニ建議ヲ爲ス必要ガ無イト認メマスカラ本案ニ反對致シマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

〔加藤恆忠君登壇〕

新聞紙法案確定論 外交文書公表ニ關スル建議案 五四七

○加藤恆忠君 唯一言ヲゴザイマスカラ自席ヲ述ベタイノデゴザイマスガ、咽喉ヲ痛メテ居リマシテ聲ガ諸君ノ御耳ニ入ルマイト思ヒマスカラ、是カラ一二分述ベルベカリテ長クハヤリメセヌカラ御安心ヲ 前回ニ此建議案ニ關スル特別委員會ヲ代表シマシテ、委員會ニ於テ可決ノ經過ヲ報告致シマシタガ、今日ハ之ニ修正案ヲ提出致シマシテ、私一人ノ説トシテ修正案ヲ提出シテ、諸君ノ御贊成ヲ願ヒタイと思ヒマス、其前ニ一言申述ベタウゴザイマスノ、唯今鳩山君ヨリシテ本件ハ外務大臣ガ差支ナイ限り今後モ外交ノ顛末ヲ知ラステ云フ御宣言ノアツタ以上ハ、此建議案ハ無用ナルカラ反對スル、之ヲ否決スルト云フ御動議デゴザイマシタガ、私ハ、此事ニ付テ甚ダ疑惑ヲ生スルノデゴザイマス、私ハ議會ノ典例ハ存シメセヌガ、常議ヲ以テ考ヘマシタ所デハ、事柄ニハ依リマスガ、斯ノ如キ建議即チ之ヲ法律案トシテ政府ヲ拘束スルコトノ出来ナイ種類ノモノハ、政府ノ同意ガアレバ尙更此議會ノ意思ヲ表明シテ置クノ必要ガアルラウと思ヒマス、若モ政府ガ反對ニ外交文書ヲ公表スルコトガ出来ナイ、諸君ガ此建議案ヲ可決サレタ所デ、之ニ應ズルコトガ出来ナイト云フハ、或ハ折角ノ建議モ無用ニ屬スルカラ之ヲ否決シヤト云フ動議ノ必要ガ尤モモテ、然ルニ政府ノ同意ナルカレハ、以上ハ、尙更之ヲ可決シテ置ク必要ガ私ハアルト思フ、現任外務大臣タル小村伯爵ニ對シテ信頼スルノ程度ニ於テハ、私ハ鳩山君以上ナル信ズル、サリナガラ其小村伯爵ノ言明ニ對シテ之ヲ建議スルノハ敬意ヲ失スルコト云フ意味ハ、ドウ考ヘテ見テモ私ニハ分ラナイ、信賴ハ致シマスガ諸君内閣ハ永久ノモノデハナイ、外務大臣ハ終身官デハナイノデアアル、若モ明日ニモ明後日ニモ内閣ガ迭ルトシタナラバ、此文書ヲ極メテ秘密ニシ、外交ノ内容ヲ國民ニ知ラサナイト云フ外務大臣ガ出タトキニ、此建議案ガ既ニ否決サル、ニ當テ外務大臣ガ同意ナルカラ否決シタト云フコトヲ御言明ニハナッテ居ルガ此鳩山君ト共ニ立タレタトコロノ人ノ意思ハ或ハ示シテ貰ハナクテモ宜イ、外交ノコトナドハ面倒莫イカラ聽キタクナイト云フ方ガアルト看做サレモ仕方ガナイ、ケレドモ事實ハ決シテサウデハナイ、諸君皆知リタイニ相違ナイ、相違ナイ以上ハ此院議ヲ表明シテ置ク必要ハ私ハアルト信ズルノデゴザイマス、ソレカラ修正案ヲ提出シテ、原案ニ對シテ外交ニ關スル文書ヲ公表シテ、其相相ヲ國民ニ明示セシムルコトヲ望ム、斯ウ云フ案デゴザイマス、之ヲ修正致シマシテ、外交ニ關スル文書若クハ「此處ガ私ノ加ヘントスル所デアリマスガ」「外交ニ關スル事件ノ顛末ヲ議會ニ公表シテ、外交ノ真相ヲ國民ニ」ト云フ「國民ニ」ト云フ字ヲ除キマシテ「外交ノ真相ヲ明示セシムルコトヲ望ム」斯ウ云フ修正案デゴザイマス、是ハ「若ハ外交ニ關スル事件ノ顛末ヲ知ラステ、斯ウ云フ御言明デアアル、外交ニ關スル文書ニ關シテ見セテ貰ヒタイガ、文書バカリデハ、缺點ル所ガアル、或ハ外國ニ對スル關係上公モシ難イ文書ガアルデアラウ、事柄ハ知ラシテ宜クテモ、文書ハ秘密ニシテ置カナクテハナラヌモノデアアル、現在歐米諸國ノ政府ガ發表シテ居マス所ノ文書中ニモ、肝腎ノモノガ顛末ヲ中ニ脱ケテ居ルモノモアル、又其一ノ文書ノ中ニ或ル一欄或ル幾行カラ削リテボクノノ打ッテアルノモゴザイマス、其外ニ若クハ斯ノ如キ外交ノ問題ガ何年何月カラ斯ノ如キ經過ヲ以テ起シテ、斯ウ云フ交涉ヲ經テ、斯ウ云フ顛末ニナッテ云フ事實ヲ書イタモノヲ知ラセテ貰ヒタイト云フコトヲ加ヘテ置キタイノデゴザイマス、ソレカラ此原案ニハ「國民ニ明示セシムルコトヲ望ム」トアルノヲ議會ニ公表シテ變ヘテ其文書並ニ顛末ヲ議員ニ配付シテ貰ヒタイト云フ意味ナラデス、其公表ノ仕方ハ、今外務大臣ノ御演説中ニモ、或ハ新聞紙ヲ以テセラル、コトモアリ、或ハ官報ニ掲載セラル、コトモアリ、是ハチヨトハノ目ニ留リ難イ、デハ議會ノ公表シテ各議員ニ其顛末ヲ配付致シマスレバ、諸君ノ耳ニ耳デ、諸君ノ目ニ國民ノ各議員ニ、諸君ノ目ニ觸レタモノハ自然ト國民ニ知レルノデゴザイマスカラ、其方ガ便利デアラウカト云フ考デゴザイマス、ドウカ私ハ提出者ニ向テ此修正案ニ御同意ヲ求メ、且ツ此案ヲ何卒通過セラレンコト

ヲ希望致シマス(拍手起ル)
○小川平吉君 修正案ニ同意ヲ致シマス
〔採決々々ト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 今加藤恆忠君ノ修正説ニ定規ノ賛成ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ賛成ガアルト認メマスカラ採決致シマス、即チ加藤恆忠君ノ修正ノ全文ヲ茲ニ一應朗讀致シマス、「外交ニ關スル文書若ハ外交ニ關スル事件ノ顛末ヲ議會ニ公表シテ、外交ノ真相ヲ國民ニ明示セシムルコトヲ望ム」斯ウ云フ……
○加藤恆忠君 「國民ニ」ト云フ字ヲ除キマス
○議長(長谷場純孝君) ソレデハ「公表シテ外交ノ真相ヲ明示セシムルコトヲ望ム」此修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 修正案ハ成立致シマス、少數デアリマス、今度ハ即チ本案ニ付テノ所謂採決ヲ採リマス、先ツ本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、本案ハ否決致シマシタ、此際御諮リヲ致シマス、新聞紙及定時刊行物ノ郵稅輕減ニ關スル建議案ノ委員會ヲ、本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ委員長ヨリノ請求ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス、日程第十五、韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長日向輝武君

第十五 韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル建議案(金尾 委員長報告)
日向輝武君登壇

○日向輝武君 諸君、私ハ韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル委員會ノ成績ヲ御報告致シマス、此建議案ニ付マシテハ特別委員會ヲ開クコト一回、多少ノ討論ヲ開カセマシテ滿場一致、本案ヲ可決致シマシタ、可決致シマシタトコロノ理由ハ、此韓國ノ西海岸ト東海岸ヲ接續スルニハ、京城平壤等ヨリ元山ニ通スル橫貫ノ鐵道ニ依ルヨリ外ニ無イノデアリマス、而シテ此橫貫鐵道ハ韓國ノ拓殖上、韓國ノ商業上、並ニ軍事上ニ於テハ必要ニシテ、此橫貫鐵道ハ約千九百萬圓デアリマス、其哩數ハ元山ヨリ平壤ニ到ル百五十五哩デアリマス、敷設ニ要スル費用ハ約千九百萬圓デアリマス、若シ此鐵道ガ一度開設シタリマスル、日本ノ山陰道ト韓國ノ東海岸トハ直チニ聯絡スルノデアリマシテ、元山ヨリ直チニ平壤ニ通シ、平壤ヨリ義州ニ通シマシテ、遂ニ滿洲ノ方ニ達スル線路ニナルノデアリマス、又韓國ノ東海岸ハ西海岸ニ比シテ文化ノ程度ガ遙ニ劣テ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク、暴徒出沒致シマシテ、生命財產ノ安固ハ東海岸ニ於テハ保タレナイノデアリマス、故ニ此橫貫鐵道ヲ建設シマシテ、韓國ノ東西兩岸ヲ聯絡スルト云フ必要ヲ切ニ認ムル理由ヲ以テ此建議案ヲ可決シタデアリマス、之ニ對スル政府ノ意見ハ政府ニ於テモ疾ニ其必要ヲ認ムル風ニ向テテ計畫ヲ盡シタノデアアルガ、中央財政ノ都合上ニ依テ未ダ之ニ着手スルノ機ニ至ラナイノデアアル、併ナガラ決シテ之ヲ放任シテ置ク譯デアナイ、又此建議案ニ付テハ全然同意デアルト滿腔ノ同情ヲ表シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○福井三郎君 本案ニ付テハ本員ハ登壇シテ賛成ノ意ヲ表シタイノデアリマスガ、日向君ノ説明ヲ以テ略シテ居リマスカラ會期切迫ノ場合ニ於テ登壇ハ致シマス、開クガ如クンバ或ル黨派中ニハ自由決議ニナッテ居ルト云フコトヲ仄カニ承ハリマスガ、左様ナ次給デアリマスナラバ、ソレヲ幸ニ是非ニ御贊成下サルコトヲ特ニ本員ヨリ希望致シマス、若シ御贊成下サラヌトナラバ、唯今ヨリ演壇ニ立ッテ十分意見ヲ陳述シタイと思ヒ

○福井三郎君 本案ニ付テハ本員ハ登壇シテ賛成ノ意ヲ表シタイノデアリマスガ、日向君ノ説明ヲ以テ略シテ居リマスカラ會期切迫ノ場合ニ於テ登壇ハ致シマス、開クガ如クンバ或ル黨派中ニハ自由決議ニナッテ居ルト云フコトヲ仄カニ承ハリマスガ、左様ナ次給デアリマスナラバ、ソレヲ幸ニ是非ニ御贊成下サルコトヲ特ニ本員ヨリ希望致シマス、若シ御贊成下サラヌトナラバ、唯今ヨリ演壇ニ立ッテ十分意見ヲ陳述シタイと思ヒ

マス、是非御賛成ヲ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

○吉植庄一郎君 私ハ本案ニ反對致シマス、今福井君カラ威嚇サレマシタニ付テハ

言此處ニ言ハレバナリマセヌ、唯反對ガト云フダケ置カウと思ヒマシタガ、福井

君ガ吾々ヲ赫シタモノナリカバ、言ハレ得ズ一言致シマス、此ウハ趣意ニ於テ吾々モ絶對ニ

反對ト云フ意デアリマセヌガ、是ハ必要ハナイ、ト云フモノハ韓國ニ於ケル鐵道ハ此鐵貫

鐵道以外ニ本員等ノ見ル所ニ於テハ尙大ナル必要ヲ感シテ居ル線路ガアルト考ヘテ居

リマス、ソレハ元山ノ方面ヨリ間島ヲ通シテ長春ノ方面ニ出ルコトノ線路ノ如キハ、是ハ

韓國開發ノ上ニ於テ又國防ノ關係カラ云ヒマシテモ、大ニ此事ヲ研究フ要スル問題

デアルト思フデアリマス、今輕卒ニ多大ナル經費ヲ投ジテ鐵貫鐵道ヲ敷設スルニ付

如キコトハ先以テ間島問題ノ解決ヲ致シテ、此間島方面ニ於ケル鐵道ノ計畫ガ如何ニ

ナルカト云フコトガ極シタ後ニ於テ決シテ遅カラヌ問題ト思フデアリマス、此意味ニ於キ

マシテ必キ問題デアリナイ、間島問題ノ極シタ後ニ於テ之ヲ決シテ遅カラヌト云フ趣意ヲ以

テ反對致シマス

○宮古政三郎君 私ハ此案ノ通過サレルコトヲ望ミマス、ソレハ本院ニ於テ既ニ請願

ガ出テ居リマスノヲ採決スルコトニ決シテ居リマス、是ハ諸君モ御承知デゴザイマセウ、

ハリ韓國縱貫鐵道敷設ニ關スル請願ト云フモノガ出テ、請願委員會ニ於テ是ハ滿場一

致テ可決シテサウシテ院議ニ附シテ院議デアラソレヲ採擇スルコト、決シテ居ルデアリ

マス、其趣旨ニ於テ本案ハ何等異ナル所ナクシテ、而シテ韓國ノ縱貫鐵道ト云フモノハ

最モ必要ナルモノト吾々ハ考ヘマスカラ、之ヲ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、即チ是ハ所謂否決ノ説ガ出テ居リマスカラ

可否ニ付テ採決ヲ致シマス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數 本案ハ否決ニナリマシタ、日程第十六、奥羽

南部橫斷鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長丸山孝一郎君

第十七、渡良瀨川改修工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、委員長武藤金

吉君

第十七 渡良瀨川改修工事速成ニ關スル建議案 (委員長報告)

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、サウシテ末尾ノ所ヲ文字

ヲ次期ノ議會ニ於テ提出アラントラ望ムトスウナッテ居リマスカラ、諸君モ滿場一致ヲ

以テ御賛成ヲ願ヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、採決致シマス、委員長報告

通りニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、委員長報告通り決シマス、日

程第十八、鐵道改策ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長水品平右衛門君

程第十八 鐵道改策ニ關スル建議案(水品平右衛門君提出)

○水品平右衛門君 簡單デゴザイマスカラ、本席カラ報告ヲ致シマス、委員會ハ政府

當局者ノ出席ヲ求メマシテ種々ノ點ニ付テ十分ノ質問ヲ致シテ審査研究ノ結果、全會

一致ヲ以テ本建議案ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、本建議案ハ可決シマス、日程

第十九、滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員

長村松愛造君

第十九 滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案(委員長報告)

○原田十衛君 委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ、私カラ代ッテ此席カラ御報告致シマス、此委

員會ハ去ル十五日ニ開キマシテ、政府委員ニモ質問致シマシタガ、要スルニ政府ニ於キ

マシテモ滿洲ニ金融機關ヲ置クコト云フコトノ必要ヲ認メマシテ、且下專ラ調査中デアルト

云フコトデゴザイマス、ソレヲ置クニ此建議案ニ對シテハ滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、

唯此建議案ノ終リニ本期議會ニ提案ヲ望ムト云フコトガ書イデアリマス、本期議

會ニ付テ云フコトヲ削ッテ、速ニ提出アラントラ望ムト云フコトニ修正致シマシテ、滿場一

致可決ニナッタノデゴザイマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り可決シマス、日程第二十、水會長長

兩川分水堤開門設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長福井三郎君

第二十 水會長長兩川分水堤開門設置ニ關スル建議案(委員長報告)

○福井三郎君 餘リ簡單デモアリマセヌカ、是ヨリ報告致シマス、本案ハ水會長長

兩川ノ分水堤工事ノ出來ザル前ノ桑名郡役所ノ調査スルコトニ依リマス、此間ヲ海

岸ヲ經テ桑名ト熱田トノ間ヲ往復致シマス船ガ約六萬艘バカリアッタノデアリマス、然

ル二十一年ニ其兩水ノ分水堤ノ鯉江ト云フ所ヲ締切リマシタ以來ハ約一萬艘餘リニ

其處ヲ通過スル船ガ約二十町ホド離レテ居ル、ソレモ其鯉江ト云フ處ノ締切リマシタ時分

カ東ノ突堤ノ外ノ間ガ約二十町ホド離レテ居ル、故ニ西ノ突堤ノ方ダケヲ締切リマシ

テ、其切堤ノ外ノ船ヲ持ッテ來テ置イテ、サウシテコチカラ又船ガ迎ニ往ク荷物ハ人ノ

肩ニ依ッテ通スト云フ便利ガアッタカラシテ僅カ一万艘デモ通ッタノデアリ、ケレドモ其後ニ

至ッテ東ノ端ノ方モ水ノ運ビラ止メテマシタ以來ハ、全ク二十町程ノ間ト云フモノハ八

肩馬背ニ依ラナケレバ持運プロトガ出來ナイコトニナッタノデアリカラ船ハ皆無ニナツタ、故

ニ分水堤ノ完成セザル前ハ六萬艘カラノ船ガ桑名ト熱田トノ間ノ七里ノ渡シナルモノヲ

極ク安全ニ輕ク往來ガ出來テ、交通ノ便ヲ圖ツタノガ、此分水堤ノ出來テカラハ全ク

キ出シタガ爲ニ、鵜飼船或ハ四ツ乗船ハ到底危險ヲ通行スルコトガ出來ナクナッテシマッ
タ故ニ甚ダ不便利ナルカラシテ鰻江ト稱スル處ニ一ツノ開門ヲ設ケテ貫ヒタイ、若シ鰻
江ニ設ケルヲ不便利トスルナラバ、其下ノ青鷺ト云フ處ニ開門ヲ設置シテ貫ヒタ
イ、斯ウ云フコトガ建議案ノ趣意アリマス、之ヲ委員會ニ於テ調査ヲ致シマシテ政府
委員ノ説明ヲ聞キマシタコトコト、政府委員ハ分水工事ノ素志ニ反スト云フヤウナ
辯解ガアッタノデゴザイマス、素志ニ反スト云フハドウ云フ意味カト云フナラバ、詰リ
不得要領ニ終ッテアリマス、申換ヘマスト非常ニ入費ガ要ル云フコトニ歸テスルヲ
アル、勿論一ツノ開門ヲ造ルニ只テ出來ナイト云フコトハ言フマデモナイ譯デアリマ
ス、而シテ其入費ハ幾ラ要ルベト云フコトハ言フマデモナイ譯デアリマス、鰻江ト云フ處ニ開門ヲ開クニ付
テハ西ト東ト一ツニ開カケレバナラナイコト、二十方圓要ルデアラウト云フコトデア
ソレカラ青鷺ト云フ處ヘハ一箇所ニスルカラシテ、二十方圓カソコラハ要ルト云フコト
アル(簡單々々下呼フ者アリ)頼マレテ居ルカラ少シ御聞キナサイ、サウ云フコトデ一十
方圓バカリデアラウト云フコトデア、ソコデ一方ハ二十方圓一方ハ二十方圓バカリト云フ
經費デア、ソレダケ經費ヲ入レルト桑名、熱田ノ繁昌ト云フコト、損得如何ト云フコ
トノ問題ヲ攻究スレハ宜イノデア、故ニ其問題ヲ比較シテ損得ヲ攻究致シマス、
政府委員モ強テ固執シテソレダケノ金ヲ入レル價ガナイトハ言ハレナイヤウナ有様
アリマス、故ニ委員會ニ於テハ一人モ缺席ナク、總員出席ヲ審査ノ結果、滿場一致
以テ此建議ヲ相當ト認メマシテ可決ヲ致シマス、尙足ラザルトコロガアレバ
御質問ニ應ジテ御答致シマスガ、大要是ダケヲ報告致シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 本建議案ハ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ本建議案ハ可決致シマス、日程
第二十一、農科大學増設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長岩本晴之君

第二十一 農科大學増設ニ關スル建議案(木村良 委員長報告)
君外一名提出

(岩本晴之君登壇)

○岩本晴之君 農科大學増設ニ關スル建議案ノ決議ノ有様ヲ報告致シマス、抑、本
案ハ至ッテ單純ナ案デ、御承知ノ通り農科大學ハ、東北ト東京ト一箇所外ナイ、ソコ
中國、九州、四國ト云フヤウナモノハ遠方デ此恩澤ヲ蒙ルニ甚ダ乏シイノデア、故ニ今
一箇所京都ニ置イテ貫ヒタイト云フ趣旨デアリマス、ソレデ十一月八日ニ委員會ヲ開キマ
シタコトコト、滿場一致決議ヲ致シマシタ、又政府委員ニ於キマシテモ此趣旨ニ於キマ
シテハ大ニ贊成ヲスル、併シ之ヲ何時ヤルカト云フ一段ニナリマス、トウツ諸君モ宜シク御考
案ノ上即決アラシト希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、本建議案ハ可決シマス、日程第
二十二、憲政創設功勞者行賞ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長横井時
雄君

第二十二 憲政創設功勞者行賞ニ關スル建議案 (委員長報告)
横井時雄君登壇

(横井時雄君登壇) 御報告致シマス、此案ハ前日内藤魯一君ヨリ提出ニナリマシタル案

デゴザイマシテ、内藤君ノ御演説ハ頗ル長イモノデ、且ツ多岐ニ亙リマシタケレドモ、案
レ自身ハ頗ル簡單ナモノデアリマス、ソレ故ニ此案ヲチヨット讀ミマシテ委員會ガ如何ニ此案
ヲ處理シタカト云フコトヲ説明致シマス、一案ニ立憲政體創設ノ業ハ王政維新ノ業ニ
待テ我が國政體上ノ首尾ヲ成シ其ノ修始ヲ完フシタル所コトニシテ新ニ欽定セラレタル千
歲不磨ノ國是ナリ是レ帝國萬世不易ノ綱紀ヲ確定シタルモノナレバ政府ハ宜ク其ノ功勞
者ヲ取調ヘ以テ上聞ニ達スルノ道ヲ講スヘキナリ、斯ウナッテ居リマス、所ガ委員會ニ於
キマシテハ「上聞ニ達ス」ト云フ文字ヲ削リマシテ「政府ハ宜ク其ノ功勞者ヲ取調ヘ以テ
之ヲ表彰スルノ道ヲ講スヘキナリ」ト云フコトニ修正致シタイノデアリマス、ソコデ委員會
ノ意嚮ハ斯ノ如ク修正ヲ致シマシテ、委員會ガ此案ヲ贊成致シタル趣意ヲ委員長ヨリ
一應御報告致シマシタコトコト、モノヲ諸君ノ前ニ御報告致シマス、抑、我國ノ立憲
ニ委員會ノ意嚮ト推測スルコトコト、モノヲ諸君ノ前ニ御報告致シマス、抑、我國ノ立憲
政體ノ創立ト云フモノハ上御一人ハ大御心ニ基キテ發シ來ッテモデアリマス、
新ニ申上ケル必要モナイコトデアリマス、併ナカラ共創設ニナリマス、其性質、
其結果等ニ於キマシテハ在朝輔弼ノ臣、在野有志ノ士ガ各其立場ヨリ各、其所見ニ
從ッテ心血ヲ注ギアラン限リノ力ヲ竭シテ盡力シタル結果デア、申サネバナリマセヌカ
表面ニ見ヨリ之ヲ觀察致シマス、明治八年ニ於キマシテ元老院ノ創設、大審院ノ創設、地方
官會議ノ召集、際ニ於キマシテ又詔勅ガ出テ居リマス、十四年ニ於テ明治二十三年
ヲ期シテ議會ヲ建設スルコト云フ所ノ詔勅ガ出テ居リマス、而シテ明治二十二年ニ憲法
ガ發布セラレタノデアリマス、是等ノ詔勅及憲法發布ト云フコトハ皆明治政府ノ事業
アリマス、之ニ加フルニ立憲政體ヲ運用シテ行ク其準備トシテ最モ缺クベカラザルモノハ
司法制度ノ確定デアリマス、行政制度ノ整理デアリマス、地方自治ノ設置デアリマス、而
シテ憲法ト云フモノガ出來ナケレバナラ、是等ノ司法制度ノ改良、行政制度ノ改良、地
方自治ノ基礎ヲ堅クスルコト又憲法ノ制定ト云フモノハ皆是、在朝輔弼ノ臣ガ勅令
奉ジテ行クタス所ノ大事業アル、是等ノ大事業ガナカッタラバ、唯憲法ヲ發布シタト申シ
シテモ千八百七十八年ニ於テ土耳其古憲法ヲ發布シタト同ジヤウナ結果ニ了ラザ
ルヲ得ナイノデアリマス、吾々ガ今日憲政創設ノ功勞者ヲ紀念スルニ當リマシテ、先ッ第
一ニ表面ニ現ハレタル所ノ功勞者ガアルト云フコトヲ公ニ認識スルコトハ最モ公平ナル態
度デア、アルト云フコトヲ信ズルノデアリマス(拍手起ル)然レニ是ハ表面ニ現ハレタル、最モ
著名ナル千載ノ後マデモ我國ノ歴史ニ貽ルベキ所ノ赫々タル大鴻業デアリマス、偕ア其
裏面ニ立入ッテ之ヲ觀察致シマス、ソレ程赫々タル光ヲ發セザルケレドモ亦之ニ讓
ラザル所ノ大事業ガ行ハレテ居ルデアリマス、此建議案ノ趣意ハ寧ろ裏面ニ隱レテ居
ルコトコト、功勞者ニ向ッテ同情ヲ表シ、其功勞者ノ功勞ヲ表彰スル途ヲ講セラレタイ
ト云フコトニナリ、其裏面ニ立入ッテ之ヲ見マシテ之ヲ見マシテ之ヲ見マシテ之ヲ見
以テ明治七年ノ一月ニ於ケルコトコト、民選議院ノ建白ト云フモノガアル、ソレカラシテ西
南ノ役ニ際シテ非常ニ人心ガ鬱勃トシテ各地ニ騷ギマシタ結果、其西南ノ役後ニ於ケル
トコロ、國會請願ノ大運動ガ始マッタノデアリマス、其當時ノ人心ノ勢ヒト申スモノハ實
ニ凄シイモノデアリマシテ、北海道ヨリ九州ノ端ニ至ルマデ津々浦々ニ至ルマデ國會請
願ト云フ聲ガ聞エタノデア、時ノ弊ヲ救ヒ、國家ヲ治平ノ本ニ置クニハ第一ニ國會
ヲ開クニナリ、國會ヲ開キサヘスレバ總テ病ハ直ニ癒ヘテシマフヤウナ、一種ノ理
想的觀念ヲ以テ元老院ニ詰メカケ、太政官ニ詰メカケルト云フヤウナ有様デアリマシタ、
而シテ其結果當時在廷ノ有司ヲシテ殆ド膽ヲ寒カシムルヤウナ凄シイ勢ヲ表シタノ
ヤウナモノヲ發布ハ朝野ノ大衝突トナリ、行動ヲ取締ルコト云フコトニナッテ、此條件ニ今席
有シテ居ル所ノ或レ人ノ如キハ即チ保安條例ノタメニ退去ヲ命ゼラレタト云フ人モ今
日アルノデアリマス、甚シキニ至ッテハ尙進ンテ其運動ニ熱シタル餘リ、當路ノ有司ト衝突
シタ結果トシテ軌道ヲ逸シテ身刑時ニ觸レタ人モアリマス、國事犯トシテ獄ニ繋ガレ刑ヲ

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、本建議案ハ可決致シマス、日程
第二十二、憲政創設功勞者行賞ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長横井時
雄君

第二十二 憲政創設功勞者行賞ニ關スル建議案 (委員長報告)
横井時雄君登壇

(横井時雄君登壇) 御報告致シマス、此案ハ前日内藤魯一君ヨリ提出ニナリマシタル案

○岩本晴之君 農科大學増設ニ關スル建議案ノ決議ノ有様ヲ報告致シマス、抑、本
案ハ至ッテ單純ナ案デ、御承知ノ通り農科大學ハ、東北ト東京ト一箇所外ナイ、ソコ
中國、九州、四國ト云フヤウナモノハ遠方デ此恩澤ヲ蒙ルニ甚ダ乏シイノデア、故ニ今
一箇所京都ニ置イテ貫ヒタイト云フ趣旨デアリマス、ソレデ十一月八日ニ委員會ヲ開キマ
シタコトコト、滿場一致決議ヲ致シマシタ、又政府委員ニ於キマシテモ此趣旨ニ於キマ
シテハ大ニ贊成ヲスル、併シ之ヲ何時ヤルカト云フ一段ニナリマス、トウツ諸君モ宜シク御考
案ノ上即決アラシト希望致シマス

受ケタ人モアリマス、此運動が我國ノ憲政創立ニ對シテ如何ナル功ヲ奏シタカト申シマスルナラバ、私ハ先ツ第一ニ憲法發布ノ時期ト云フモノニ對シテ其時期ヲ明治二十一年國會開議ヲ明治二十二年ト定メテラレタコトニ於テハ、此運動如何ノ激烈ナル運動が大ニ與テ力アルコトヲ明言シテ權ヲ自由ノコトニシテ、其次ニ此運動有知ノ激烈ナルニ與テ力ガアルコトヲ申スルナラバ、民權ヲ自由ノコトヲ明言シテ、而シテ政黨ノ必要ナルコトヲ唱ヘ、此代議政體ヲ行フコトハ、即チ國民ノ特權ニシテ義務ニシテ之ヲ行フニハ國民ガ政治思想ヲ涵養シテ、犧牲のニ働カシメバナラズト云フコトヲ教ヘテアリマス、其タメニ生命ヲ捨テ、其タメニ財產ヲ蕩盡シ、祖先傳來ノ素封ヲ失フシマフト云フコトモ國家ノタメニ意トスルニ足ラナイト云フ所ノ熱心ヲ國民ノ心ニ注入シタモノハ此政治運動アリマス、若モ此政治運動ガナクナラバ、議會ヲ開設シテモ如何ナル人ガ候補者ニナラズテ出テ來ルモ、候補ニ出テ後如何ニ民間ノ輿論ヲ纏メテ行カト云フヤウナコトニ付テ、殆ド吾ハ見ルベキ形迹ヲ認ムルコトガ出來ナクテアラウト云フコトヲ思フデアリマス、サレバ表面上ノ理由ト云フモノ、裏面上ノ理由ト云フモノガ一時ハ非常ニ其間ニ在朝ノ有司ト在野ノ有志ト衝突ガアリシタケレドモ、其結果ニ付テ今日ヨリ之ヲ回顧シテ見マシタラバ、朝野期セズシテ協心努力シテ各々其立場ヨリ上ノ聖明ノ旨ヲ奉行セリト申スコトガ、最モ至當デアラウト考ヘマス、憲法政治ノ創立ハ骨デアル、政黨ノ發達、政治思想ノ普及ト云フモノハ血デアル、肉デアル、此骨ガアツテ、サウシテ之ニ肉ヲ付ケ、血ヲ流シシタガタメニツレガタメニ今日我國ニ於ケル免モ角モ憲法政治ガ、斯ノ如ク運用サレルコトニナラザラバ、此建議案ノ趣旨ハ民間ニ於テ政治思想ノ普及、政黨ノ發達、民權自由ノ鼓吹等ニ付キマシテ、大ニ盡方シタコトノ功勞者ヲ取調ベ、其功勞ヲ表彰スルノ途ヲ政府ガ宜シク講ズベキデアラウト云フコトデアリマス、功勞者トシテ吾ハ先ツ第一ニ指テ屈スル者ハ誰デアラカト云フト、彼ノ板垣伯デアリマス、今や頗ル老境ニ近キツ、病體デアツテ、政治界ヲ退隱シテ居ラレマスゲレドモ、彼ノ民選議院ノ建白以來、終始一貫シテ、此主義ヲタメニ力ヲ盡サレドモ、功勞ト云フモノハ動モズレバ世間ノ人ガ種々ノ行掛リ上カシラシマスゲレドモ、永久志レベカラザルモノガアルト云フコトハ、私ハ諸君モ必ズ御認ムルコトニシマスゲレドモ、（拍手起ル）而シテ同ジク功勞者トシテ指テ屈スベキハ彼ノ大隈伯デアリマス、大隈伯ニ於キマシタモノ昨今ハ政治界ヲ稍退カレタヤウナ風ノ模様ニ見エマシケレドモ、明治十四年ニ在朝ノ同僚トシテ直チニ政黨ヲ組織シ、教育ノ事業ヲ興シテ自由民權政黨ノ發達等ノタメニ今日ニ至ルマデ數十年ノ間力ヲ致サレタル其偉大ナル功績ト云フモノハ、決シテ忘ルベカラザルモノデアリマス（拍手起ル）而シテ此兩伯ト直接若クハ間接ノ關係ヨリ其風ヲ開イテ、而シテ起ツタルコトノ幾多ノ後、幾多ノ豪傑ト云フモノガアル、又直接間接ノ關係ナクとも自ラ學ンダコトノ學問ノ結果トシテ獨立ノ見地ヨリ自由改進ノ說ヲ唱導シタルコトノ者ガアリマス、故ヒニナツタモアレバ、今日マダ生キテ居ルレドモ人モアル、ソレ等ノ人ガ其言論其行爲ニ已ニ信ズル所ヲ發表シテ專制政治ノ惡毒苦惱シタ（ヒヤノ）其迹ニ付テハ今日ヨリ私共ソレヲ回顧スルニ或ハ其人々ノ中ニ軌道ヲ逸シテ其身刑時ニ觸レタヤウナコトモアリ、賊名ヲ負ウタヤウナコトモアリマスガ、吾等ハ寧ロ其軌道ヲ逸スル者ヲ悲シミ、其心専ラ憫レミ、而シテ其氣風ト其膽力ニ向テ大ニ之ヲ壯ンナリトモザルヲ得ナイデアリマス（拍手起ル）斯ノ如キ勇氣ガアツテ而シテ始メテ我國民ニ此立憲政治ニ對スルコトノ準備ガ出來マシタ、其準備ガ出來テ居ルコトコトニ此憲法ガ發布セラレタガタメニ、此憲政ノ運用ト云フモノガ、先キニ申ス如ク免モ角モ今日ノ如ク行ハル、コトガ出來タノデアラ、サレバ此建議案ノ趣旨ハ國家ガ此憲法政治ノ成立ニ對シテ功勞者ヲ見ル上ニ於キマス、表面ニ顯ハレタニシテ、其功勞者ニ偏シズ、又他ノ一方ノ裏面ニ隱レタニシテ功勞者ニモ眼ヲ注イテ、能ク調査シテ而シテ其功ノ録ニキキモノノ録シ、又之ヲ表彰スベキ途ガアルナラバ、ノイテ表彰シテ此兩者ノ間ニ最モ公平ナル國家ガ之ニ對シテ報ムルコトヲ途ヲ講ズルヤウニト云フ希冀デアリ

マカス、吾々委員會ニ於キマシテハ斯ノ如キ趣意ヲ以テ此建議案ヲ贊成致シタ次第デアリマス、之ヲ御報告致シマス

○議長（長谷場純孝君） 本建議案ハ委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナナイト認めマスカラ本建議案ハ可決シマス

第二十三 汽船トローレ 漁業取締ニ關スル建議（委員長報告）
 ○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナナイト認めマスカラ本建議案ハ可決シマス

第二十四 天鹽北見鐵道速成ニ關スル建議案（東委員長報告）
 ○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナナイト認めマスカラ本建議案ハ可決シマス

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナナイト認めマスカラ本建議案ハ可決シマス

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナナイト認めマスカラ本建議案ハ可決シマス

第二十五

治水事業費繰延復活ニ關スル建議案

建議案

(委員長報告)

○植場平君

治水ニ關スル建議案ハ毎年出マサル建議案デゴザイマシテ、最早研究ノ餘地ハアリマセズ、政府ノ爲メニ問答スル必要モナイト云フ問題デアリマス、故ニ委員會ハ此場合ニ於テハ此建議ノ實行ヲ阻ムコト云フコトガ最モ必要デアルト云フコトニ意見ガ一致致シマシテ、直チニ六名ノ政府ニ對シテ交渉委員ヲ舉ゲマシテ、ソレニ委員長ガ參加ヲ致シテ、七名ヲ以テ政府ニ折衝ヲ重ネタリデアリマス、其交渉會ノ内容ハ御迷惑ナガラ暫ク御聽ヲ願ヒタイ、簡單デアリマスガ明瞭ニ申シテ置カスト、之ハ全國ニ關係フ有スル問題デゴザイマスカラ、恆松君モ御迷惑ナガラ暫ク御聽ヲ願ヒマス(恆松隆慶君「簡單ナラ御聽ダラ下呼フ」委員會諸君ノ熱心ニ此復活ヲ望ムマツ、復活ヲ望ムト同時ニ四十二年度ノ追加豫算ヲ請求スルヲ希シト云フ希望モアツタノデゴザイマス、政府ニ於テハ治水事業ノ必要ハ委員諸君ヨリ熱心ノ度ハヨリ希望モアツタノデゴザイマス、政府戰後ノ財政上ノ都合アルタメニ諸君ノ御希望ヲ今尙充タスコトガ出來ヌト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、故ニ眞意ヲ諒セラシテ御希望ヲ願フコト云フヤウナ意味ノ答辯ニ接シタノデゴザイマス、委員ハ決シテソレニ満足ヲシナイテ尙種々ノ問答或ハ答ヲ得タノデゴザイマスガ、然ラバ四十二年度ニ於テハ必ズ豫算ニ計上シテ請求スル、或ハ復活ヲ計ルト云フコトノ言明ヲ聽キタイト云フ請求デアツテ、是ニ對シマシテハ前ニ述ベル如キ次第デアルカラ此場合ニ言明ヲスルト云フコトハ甚ダ困ル、併ナガラ財政ノ許ス限リ都合ヲ付ケテ成ルベク諸君ノ御希望ヲ充タスヤウナコトニ計ヒタイト、斯ウ云フコトガ意味強ク答ヘラレタノデゴザイマス、故ニ委員諸君ニ於テカレマシテハ言明ヲ聽イタリ、ヨリ以上ノ力アルモノト信用シテ、其交渉ハ茲ニ止メタノデゴザイマス、之ヲ治水ニ關スル建議案ノ委員會ニ報告シ、委員會ニ於テカレマシテモ政府ノ意思ノアルトコロヲ諒トセラレ出席員ハ全部デアリマシタガ、全部出席者一人ノ異議者ナク滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ次第デアリマス、宜シク諸君ハ此趣旨ヲ諒セラレ、滿場一致ヲ以テ御贊同アラント希望デゴザイマス、(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君)

本建議案ハ委員長報告通り御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君)

御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君)

御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り本建議案ハ可決シマス(日程第二十六「羅馬」字普及ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス)石橋爲之助君

第二十六

「羅馬」字普及ニ關スル建議案(根本正)

建議案

(委員長報告)

○石橋爲之助君

簡單デアリマスカラ此席カラ報告致シマス、本案ハ滿場一致ヲ以テ委員會ハ可決ヲ致シマシタ、是ト同一ノ案ハ一昨年ノ議會ヲ通過シタデアリマスケレドモ、文部省ニ於テキマシテハ爾來高閣ニ束ネテ何等ノ處置ヲ執ラナカッタデアリマス、併シ今度此案ガ通過シマシタナラバ、誠實ニ考慮スル、即チ研究ヲスルト云フコトノ政府委員ノ言明デアリマシタ、ソレダケガ報告デアリマス、併シ一言諸君ノ誤解ヲ防グタメニ付加ヘテ置キマス、ソレハ過日日本案ノ第一讀會、際ニ提出者ノ一人タル根本君ノ說明ノ中ニ熱心ノ餘リ、聊カ極端ニ馳セタヤウナ言ガアリマシタメニ諸君ノ或ハ誤解セラレテ居ラ、方デアアルヤウニ思ヒマスカラ、其點ヲ委員會ニ於テモ明カニ致シマシタデアリマスカラ、申述ベテ置キマス、即チ「羅馬」字普及及スト云フコトハ決シテ外國語ヲ日本ハノ全體ニ學バセテ置キマス、即チ「羅馬」字普及及スト云フコトハ決シテ外國語ヲ日本ハノ假名若クハ漢字ヲ全廢スルト云フヤウナ意味デアリマセヌ、サウ云フヤウナコトハ人方ヲ以テ如何トモスルコトノ出來ナイ問題デアリマス、故ニ單ニ今日ノ必要ナルハ一般國民ガ羅馬字ヲ使用スルト云フコトハ非常ナ便利デアリマスカラ、ソレ等便宜ノタメニ今日ノ

必要ト云フ點カラ普及ヲ建議スルト云フ趣旨デアリマス、其趣旨ニ依テ可決致シマシタ

○議長(長谷場純孝君)

佐々木安五郎君「私ハ極ク簡單ニ反對ノ理由ヲ述ベヤウト思フノデアリマス、暫ク御清聽ヲ煩ハシマス(ソレダ宜イ下呼フ者アリ)「羅馬」字ノ普及、是ダケノコトナラバ敢テ私ハ「羅馬」字ノ普及及直チニ反對スルモノデアリマセヌ、併ナガラ「羅馬」字普及及ノ名ヲ以テ之ヲ、小學校ニ強ユルコトニ至リマシテハ、反對セザラ得ヌ譯デアリマス、(拍手スル者アリ)何トナラバ先ヅ「羅馬」字普及及論者ハ小學校令ヲ讀マレタカドウカト云フコトヲ私ハ疑フテ居ル、小學校令ニハドウ書イデアル「第一條、小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並ニ其生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス」之ガ小學校ノ本旨デアリマセウ、然ルニ此「羅馬」字ナルトコロノモハ道德教育ト云フモノニ如何ナル關係ガアルカ、國民教育ト云フモノニ如何ナル關係ガアルカ、又生活ノ必須ナル普通知識ト云フコトガ出來ルカドウカ、總テニ於テ此「羅馬」字ナルモノハ小學校令ノ第一條ト云フモノニ背反ヲシテ居ル譯デアリマス(ノウク)之ヲ出サレラナラバ、出サレラ前ニ小學校令、一ツ改正カラヤツテ掛ラナケレバナラヌ、然後ニ出サレララガ順序デアラウト私ハ思フノデアル、ソコデ「兒童身體ノ發達ニ留意シテ」一番先キニアリマスガ唯今ノ兒童ハサナキダニ科目ガ多過ぎテ青年ガ試験病ニ罹リタリナラヌルタメニ、厭世觀ヲ起シテ華嚴龍へ往クヤウモアレバ、或ハ凌雲閣へ往ク云フヤウナ騒ガ近頃ハ起テ居リマス、是ハ何ノタメデアアルカト云フト、限リテ「羅馬」字普及及論者ハ持テ來テ無茶苦茶ニイロノナモノヲ請込マウツルカラ、斯様ナ病氣ガ起ツテ來ルデアル、即チ兒童ノ身體ト云フモノニ留意シタナラバ、今少シ弛メル位ガ宜イ時代デアルノニ、サナキダニ重荷ヲ負ウテ居ル上へ、更ニ斯様ナモノヲ請込マウツルコトハ、決シテ兒童ノ身體ニ留意シテ考ヘタコトデハナイト私ハ信ズルデアル、ソレデトウシテモ之ガ小學校令ノ根本カラ論ジテ、此問題ヲ文部省ガ今マテ高閣ニ束ネテ置イタト石橋君ノ御不足デアリマスガ、文部省ノスルトコロハ、或ハ小學校令ヲ改正シテ掛ラネバナラヌカラ、躊躇シテ居ララウト私ハ推測スル譯デアリマス、然ルニ之ヲ第一ニ論ジテ往キマスルト云フト、如何ニモ「羅馬」字ト云フモノヲ以テ根本君ハ國運ノ發展ニ頗ル必要ナルガ如ク云ウテ居ラレラガ、「羅馬」字ト云フモノノガ埃及カラ起ツタヤウナ講釋ガアリマシタケレドモ、私ノ研究シタコロニ據リマスルト、埃及ヨリモウ一ツ前ガアル、前ハ何處デアアル「アマタリヤ」ノ水源地カラ起ツテ「アマタリヤ」ニ入り、「アマタリヤ」カラ「アラ」海ニ入り、「アラ」海カラ裏海ニ入り、裏海カラ多島海ニ入り、多島海カラ埃及ニ入りタモノデアリマス、一番初メハ二十八文字アツタモノガ「アマタリヤ」ハ入ツテ二十六文字ニナツテ、「ハイロチック」下名ヲ付ケテ「二十」文字トナツタ、之ガ「フ」ヲ「シ」ニ「ア」ニテ兩方ハ流レテ「何處テ聽イテ來タ」ト呼フ者アリ)亞細亞洲へ來タノガ蒙古ノ文字トモナツテ居ル「フ」非「ガ」文字ニモナツテ居レバ、日本ノ「イロハ」モソレニ關係ガアル、向フノ方へ往ツタノハ母音ト子音ト結合セネバナラヌ文字ニナツタガ、日本ノ方へ來タノハ母音ト子音トハ合シテ一字一音ヲ現ハストコロトナツタ、日本ノ此「イロハ」ノ方ガ進歩シテ居ルノデアル、一ツ合セネバナラヌト云フコトヨリモ、一ツテ濟ム方ガ進歩シテ居ルノデアル、若シ進歩シタル文字ガサウ云フ子音ト母音トヲ合セネバ、文字トナラヌ、ソレガ立派デ一番進歩シテ居ルモノデアルカラ、ソレヲ用非ル國ガ文明國デアラナラバ朝鮮ハドウデアアルヤハリアルハ「ベ」トヲ用非テ居ル、蒙古ハドウデアアル、蒙古モ文字ガ子音ト母音ト「アルハベ」ト「ガ」ル、西藏ハドウデアアルヤハリ「アルハベ」ト「アル」縮旬ハドウデアアル、朝鮮、蒙古、西藏、緬甸、印度ノ文字ハ「アルハベ」トヲ用テ居リマスガ、ソレドウシテ強國デアリマスカ、文明國デアリマスカ、之ハ八人在ツテ文字ニアルトコロノモノデナイ、斯ウ云フコトガ證據立テ

(CH11)

ラレト思ヒマス、ソレ漢字トノ比較ヲ根本君ガ「イロ／＼面白ク比較論ガアリマシテ、中ニハ帝國萬歳ト云フ文字ヲ以テ帝國萬歳ト云フモノガ漢字デ書クト云フト四十六畫ニナルガ「アルハベト」羅馬字デ書クト、僅ニ二十六字デ済ムト云フ、漢字ノ時分ニハ畫デ數ヘテ、帝ノ字ヲ一ツ一ツ畫デ數ヘル、羅馬字デ書クトキニハ畫デ數ヘテナイ、若シ畫デ書ケバ四十五畫ト云フモノ、ニナリマスガ、此四十五畫ト云フヤウナ「アルハベト」ヲ用井シテモ漢字ヲ見易ク書ク外ナキガ、日本ノ假名デ書ケバ帝國萬歳ハ八字デ書ケル、斯ウ云フ風ニ漢字ノ方ヲ數ヘルトキニハ一字一畫デ取テ、サウシテ「ローマ」字ヲ取ルトキニハ一字一ツ一畫ヘテシマフ、斯ウ云フヤウナ算盤ガ出テ居リマスガ、此算盤ノ妙ナコトハ更ニ進シテ斯ウ云フコトガアル、「ローマ」字ヲ用井ルト六年ノ教育年限ガ四年ニスルコトガ出來ル、六年ノ中後トノ二年ダケ減ルカラ七億何万圓カ儲カルト云フ説デアルガ、此「ローマ」字一十六字入レテモ、決シテ四年ニスルコトハ出來マセヌ、更ニ「ローマ」字ヲ書クタメニハ或ハ本ガ要ル、紙ガ要ル、イロ／＼「インキ」ガ要ルトカ云フヤウナコトデ、ドウシテ月一圓増ストスト二年ノ年數ニ掛ケルト一億二千万圓増サナケレバナラヌ、七億万圓減セザルノミナラズ更ニ一億二千万圓増サナケレバナラヌ、之ハドウデアアル、ソレノミナラズ此五百萬人ノ生徒ガアルトシテ五百萬人ノ中テ外國語ヲ學バウト云フモノハ百万シカナイ、五百萬人ノ中テ四百萬人ノ者ニハ不便ニシテ甚ダ難澁ナル學問ヲ強ヒ附ケテ置イテ、百万人ノタメニ四百萬人ヲ犠牲ニ供シテモ宜イト云フコトハ何處カラ出ル、ソレデモ外國語ノ便利ニナルト云フナラバ、我慢モ出來マスガ、小學校教員ガ完全ナル發音ガ出來ルモノデハナイ、自身デ二十六文字ヲ教ヘルコトハ決シテ完全ナル發音ヲ教ヘルモノデハナイ、一番初メニ誤ラテ音負込ム、私ノ友人ニハ東北ニ友人ガ一人ゴザイマスガ、小サイトキニ學校デ習ッタノガ、今ニ其癖ガ取レナイデ困ル「エー、ビー、シー」ヲ「イー、ペー、シェー」ト云フデ困ル、今ニナツテ直ラヌデ、困リテ居ルト云フコトヲ云フテ居ル、之ハ日本全國ニ完全ナル發音ヲスル者ヲ備フテモ、備フコトハ出來ナイ、根本君ハ南米ニ行カレタト云フカラ御分リデアリマセウガ、コナラ習ハズニアチラニ行テカラ洋語ヲ使フヤウニナツタ者ガ宜イ方デ、コナラ習ハズ者ハドウシテモ此訛リヲ取ルニ一骨折レルト云フコトデ、サウスルト根本君ノ進シテ外國語ヲ習フトコロノ便利ニナルト云フ論據モ之デ崩レタ、ソレカラ小學校令ニモ背反シテ居ル、ソレカラ金ニモ増シハスルモ、減ッテ居ルヲ宜イ、是ハ到底採用スベカラサルモノ、私ハ贊成ノ出來ヌモノト思ヒマスカラ、滿場一致ヲ以テ否決セラレンコトヲ希望致シマス

○横井時雄君 一言ヲ御許シテ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 横井時雄君

○横井時雄君 此問題ハ一億万圓ノ費用ヲ減額スル譯ニナルトカ何トカ云フコトハ、ソレ私モ能ク理解致シマセヌガ、又「アルハベト」ヲ起リトカ何トカ云フコトモ更ニ存ジマセヌガ、免角モ「アー、ビー、シー」ト云フモノハ總テ諸國ニ一般ニ行ハレテ居ルコトデアリマシテ、而シテ我國ノ言葉ヲ或ル場合ニハ「ローマ」字ヲ綴ラレテ西洋人ニ讀マセルト云フコトモ出來ルノデ、既ニ其コトハ實際行ウテ居ルモノト云フ論據モ之デ崩レタ、ソレカラメニ便利ヲ得テ居ル、且ツ又外國カラ日本ニ入ッテ來ル物品ニ於キマシテモ「ローマ」字デイロ／＼ノ種類ガ付テ居リマス、其「ローマ」字ダケデモ高等小學校ハ今ナクナツタガ、高等小學校卒業ノ程度ノ者ガ讀得ルト便利ニナル、サウシテ之ヲ教ヘルト云フコトハ決シテ六年ノ小學ノ義務年限ヲ悉ク毎週一時間トシテ教ヘルノデアリマセヌ、今日マデ高等小學ニ於キマシテ近頃廢シマシタケレドモ、英語ガ選擇科トシテ入レテアツタ、サウシテ二年間ニ或ル地方デ其英語ヲ學ビタイト云フモノニハ教ヘルト云フコトニシテアツタ、「ローマ」字ヲ普及スルニシテモ選擇科トシテ差支ナイ、決シテ小學兒童ニ重キヲ背負ハセルト云フコトデナクシテ、而シテ之ヲ學ビ得テ居ル便宜ハ多大ナルモノガアルト云フコトデアリマスカラ、私ハ佐々木君ノ熱心ナル又其非常ニヤカマシイ御議論ガアツタニ拘ハラズ、極ク簡單ナ

ル「ローマ」字ノ簡單ナルガ如ク、簡單ナル問題デアリマスカラ、之ハ滿場一致ヲ以テ贊成アラシコトヲ希望致シマス

○福井三郎君 本員ノ贊否ヲ決セザル前ニ之ヲ報告セラレタ委員長ノ説明ヲ今少シ聞キタイノデアリマス、提出者ノ根本君ニ本員ガ質問ヲシタノニ向ッテハ根本君ハ一々斷言シテ答ヘラレテアル、本員曰ク、此「ローマ」字ノ普及ノ便利ト云フコトハ言換ヘレバ漢字廢止ノ前提カ、即チ「ローマ」字ガ普及セラレタ「曉」ニハ漢字ト云フモノハ廢スルノ意アリヤ否ヤト問ウタレバ、無論廢スルノデアルト答ヘテ、ソレカラ全國ノ學生ノ兒童ニアルハベト「ヲ教ヘテ行クノハ却ッテ之ガ進シテ英語ヲ學ブノニ頗ル便利デアルト云フコトヲ云ハレタルニ、然ラバ今ハ五百人デアラウガ、人口ノ進ムニ從ッテ年々新陳代謝スルケレドモ、六百万乃至七百万ニ學齡兒童ノ數ガナルデアラウ、ソレニ悉ク外國語ヲ習ハセルノ意カト問フ、同氏ハ然リト答ヘラレタ、此言葉ヲ以テ見レバ、取り直サズ漢字モ廢スルト同時ニ、「ローマ」字普及ノ「曉」ニハ漢字ガ廢セラレ、而シテ學齡兒童ニ努メテ英語ヲ教ヘテ、ソレガ未ダ普及セザル中ニ早ク既ニ法令ヲ以テ日本語ハ撤廢シテシマヒタイト云フ意味ニ聽ルヤウデアアル、モウ一ツ言換ヘレバ詰リ日本語ハ歐米人ニ作リ換ヘテシマヒタイ悉ク「モウ一ツ言ツタナラバ、其頭ノ毛モ赤クシタイ、其眼モ茶色ニシタイ、斯ウ云フヤウナ御説明デアルヤウニ伺ッタノデアアル、此ノ如クンバ我帝國ノ根本ヲ危クスルモノデアツテ、亡國案ト云フニ憚ラナイノデアリマス、故ニ今尙提出者ハ其考ヲ持タル、ヤ否ヤ、又委員會ニ於テ之ヲ審査セラル、時分ニハ本員ガ問ウタコロニ付テ趣意ノアルトコロハ審議シテ居ラレタコトデアラウカ、其邊ノ問題ニ付テハ論究シタノカ、論究セラレナカッタカ、果シテ論究セラレタトスレバ、今ドウ云フコトニナツタカ、モウ少シ委シク御説明ヲ聞キタイ、或人ガ本員ニ向ッテ曰ク、漢字ハ大切デアアルカラ廢スルコトハ出來ナイ、假名ハ尊イモノデ廢スルコトハ出來ナイ、假シ不便デアツテモ日本帝國ノ國體ト云フモノヲ重シズル上ニモ、愛國ノ觀念ノ上ニモ、一國ノ形式ニモ、ソレヲ決シテ廢スル考ハ持タヌ、ソレ程萬事物ヲ知ツタ國民ガ序ニ「アルハベト」ヲ知ツテ居ルテ不便デアアルマイヂヤナイカト云フ説明ヲ致シタ人ガアル、斯ノ如クンバ聊本員モ考ヘテハナイガ、唯本員ノ危險ニ感ズルハ佐々木君ノ如ク「ローマ」字ト云フ言葉ノ下ニ隠レテ、惡ルクシタナラバ國ヲ賣ルノデナイカト本員ハ心配スルノデアアル、故ニ此案ハ本員ヲシテ満足セシムルダケノ説明アラシコトヲ望ミマス

○石橋爲之助君 本員ハ先刻委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シタノデアアル、唯今福井君ニ答フベキコトハ申シタノデアリマスガ、併シ福井君ハ其時席ニ居ラレナカッタカラ御存ジガナカッタノデゴザイマセウ、委員會デ決シタノハ根本君ノ彼ノトキニ言ハレマシタ意味ヲ以テ決シタノデアリマセヌ、終ニ漢字竝ニ假名ヲ廢シテシマウト云フコトハ決シテ目的トスベキコトデナイ、サウ云フコトハ人間ノ力デ以テナスベキコトデアリマセヌ、故ニ決シテサウ云フ目的デナク、單ニ今日ノ場合國民ガ「ローマ」字ヲ知ツテ居ルト、一般ニ「ローマ」字ヲ知ツテ居ルト云フコトハ非常ニ便利デアルト云フダケノ意味ヲ以テ、彼ノ案ヲ可決シタノデアリマス、ソレデ無論外國トカサウ云フヤウナ國ヲ賣ルトカト云フコトハ決シテ御心配ニハ及ビマセヌ

○福井三郎君 討論終結、採決セラレンコトヲ望ミマス

○福井三郎君 是ハ輕々ニ看過スベキ問題デナイノデアアル……御許シナリマシタカ、本員モマダ少シク了解セヌトコロガアル故ニ、反對説ヲ述ベタイト思ッテ居リマスガ、提出者竝ニ本案ノ委員長カラ頗ル軟ル軟ル報告セラレタ、而シテ日本人ガ知ッテ居ルテモ支差ナク、序ニ知ッテ置カウト云フコトハ差支ナイト云フ答デアルノデアアル、斯ノ如クンバ何モ惡意ハナイ、別ニ禍心ヲ包藏シテ居ラヌナラ免角、本員ハ登壇ヲシテ反對スルコトダケハ止メマス、議場ノ自然ノ趨勢ニ任シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ノ採決ヲ致シマス、既ニ反對説ガアリマセヌカラ、本案

ハ委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長(長谷場純孝君) 多數、本案ハ可決シマシテ、日程第二十七、京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、委員長望月圭介君

第二十七 京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案 (委員長報告)

○望月圭介君 本案ハ當期議會ニ建議案ノ重要ナルモノデアリマスカラ、登壇ヲシテ說明スル旨デアリマス、會期切迫ノ折ニ此處カラ要旨ヲ申シマス、今申シマスルハ、ウナ次第デアリマス、委員會ハ慎重ニ質問及審議ヲシマシテ、政府委員、海軍、陸軍、大藏、遞信、内務ノ各所管ノ委員ガ出席サレマシテ、提出者ノ岩田、三浦ノ兩代議士カラ詳細ノ說明モアリマシタ、不幸ニシテ政府ハ軍事上ノ秘密ト云フコトノ下ニ殘念ナガラ同意ヲシ兼ネルト云フコトデアリマス、今日此日本海ニ面セルトコロノ方面ニ鐵道ノ聯絡ヲ有セテ居ルトコロ、此港灣ヲ開イテ、韓國及西北比伯利亞ノ方面ニ對シテ貿易上及經濟上ニ多大ナル發展ヲスルコト云フコトハ、極メテ急務中ノ急務トシテ岩田君、小寺君アタリノ熱心ナルトコロノ贊成論モアリ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、尙詳細ハ速記録ニアリマスカラ、御一讀ヲ願フト同時ニ、本案ハ二百有餘ノ名ヲ以テ提出セラレマシタル案デアリマスカラ、滿場一致ヲ以テ速ニ可決アラシコトヲ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り本案ハ可決シマス、日程第二十八、車輛統一ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長安東敏之君

第二十八 車輛統一ニ關スル建議案(安東敏之君) (委員長報告)

○安東敏之君 私モ當席ヨリ御報告ヲ致シマス、委員會ハ本案ノ趣旨、内容及其意旨ハ總テ採行スベキモノデアリ、併ナガラ此場合ニ於テ車輛ノ統一ハ必シモシテ置カナケレバアラズモノデアリ、然レドモ現在ノ所有者ヲシテ疑懼ノ念ヲ懷カシムルコト云フコトハ、氣ヲ毒デアル又急激ナル改正ヲシマシテ不安ノ念ヲ抱カシムルコト云フコトハ、忍ビテ譯デアリマスカラ、ソレデス様ニ修正スルコトニナツタ、一牛馬及大中荷車ノ車輛構造ヲ統一スル爲内務省ハ適當ノ規定ヲ設ケ新規製造シ若クハ改造スル者ヲシテ之ニ依ラシメ漸次統一セシメラレシコトヲ望ム、斯様ニ修正スルコトニ致シマシテ滿場異議ナク此修正ニ決シマシデアリマス、御報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス、委員長ノ報告通り本建議案ハ可決シマス、日程第二十九乃至第四十一ハ、請願デアリマスカラ、一件毎ニ委員長ニ報告ヲナシマス、逐次議題トナシ、之ヲ採擇スルコトニ致シマス、日程第二十九、特別報告第七十二號、中島遊廓設置許可取消ノ請願ヲ議題ト致シマス

第二十九 (特別報告第七十二號)中島遊廓設置許可 (委員長報告)

○立川雲平君 報告ヲ致シマス、本請願ハ北海道平民田中喜代松外四十八名ノ提出ニ係ル請願デアリマス、此請願ハ北海道石狩國中島町ニ設置ノ遊廓ハ旭川町ニ接續シテ殊ニ學校ニ接近シテ居ルガタメ甚ダ不都合デアリカラ之ヲ取消キタイト云フノ

ガ趣意デアリマシテ、前期議會ニ大問題ノ一ツトナツテ衆議院ハ院議トシテ其廢止ヲ政府ニ求メテアルデアリマス、所ガ政府ハ其院議ヲ重シク今日ニ及ンダデアリカラ本期議會ニモ此請願ガ出テ參ッタデアリ、政府ハヤハリ教育ノ上ニサマデア不都合ハナイカラ之ヲ取消ス考ハナイト云フ答辯ヲ致シテ居ッタデアリマス、然レドモ請願委員會ハ前期議會ニ依リテ之ヲ採擇スルコトニナツタデアリマス、採擇スルノミナラス、議院法第六十五條ニ依リテ政府ニ報告ヲ求ムルト云フ條件ヲ附スルコトニナツタデアリマス、此段報告ヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス、委員長報告通り決シマシテ日程第三十、特別報告第七十三號、民屬金下附ノ請願ヲ議題ニシマス、委員長報告

第三十 (特別報告第七十三號)民屬金下附ノ請願 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ハ大分縣直入郡久住村長皆田仲喜外二名ノ提出ニ係ル請願デアリマス、此請願ノ旨趣ハ元ト久住村入會所ノ營業金總額高金十一万七千五百六十八圓十二錢八厘デアリ、是ハ即チ民屬金デアリ、人民ニ歸スベキ金デアリ、然ルニ維新ノ變革ニ際シテ管轄ノ異リマシタ場合ニ遂ニ誤ッテ政府ノ收入トナツテ居ル、此收入ヲ政府ニ引繼イデ居ルデアリ、是ハ民屬金デアリカラ今下戻ラシテ貰ハナケレバナラヌト云フ請願デアリマス、此請願ハ委員會ニ於テ採擇ヲ致シマシテ、ヤハリ是モ政府ニ報告スルコトニ決シタデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス、委員長報告通り採擇スルコトニ決シマス、日程第三十一乃至第三十六、即チ特別報告第七十四號、銅山鑛毒及煙毒排除ニ關スル請願、外一件、特別報告第七十五號、煙害ニ關スル請願、特別報告第七十六號、煙害ニ關スル請願、特別報告第七十七號、煙害ニ關スル請願、特別報告第七十八號、煙害ニ關スル請願、特別報告第七十九號、煙害救濟ノ請願、特別報告第八十號、銅山鑛毒排除ニ關スル請願ハ關聯セル事柄デアリマスカラ、一括シテ議題ト致シマス、委員長報告

第三十一 (特別報告第七十四號)銅山鑛毒及煙毒排除ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第七十五號)煙害ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第七十六號)煙害ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第七十七號)小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第七十八號)煙害救濟ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第七十九號)銅山鑛毒排除ニ關スル請願 (委員長報告)

○立川雲平君 是ハ一括ハ致シマスガ、請願人ノ姓名ハ特ニ此處ニ申上ケル必要ガアルト思ヒマスカラ、申上ケテ置キマス、特別報告第七十四號ハ、茨城縣平民農金川孝八外一名ノ提出ニ係ルモノ、特別報告第七十五號ハ、愛媛縣平民農河野助兵衛外五百二十七名ノ提出ニ係ルモノ、特別報告第七十六號ハ、愛媛縣平民農一色耕平外三千七百八十四名ノ提出ニ係ルモノ、特別報告第七十七號ハ、秋田縣土族沼田信一外二千五百四名ノ提出ニ係ルモノ、特別報告第七十八號ハ、秋田縣秋田市手形新町秋田縣會議長井上廣吉外八名ノ提出ニ係ルモノ、特別報告第八十號ハ、茨城縣平民農關桂太郎外四名ノ提出ニ係ルモノ、マダ一ツ殘ッテ居リマスガ七十六號ノ

外一件ト云フノハ愛媛縣平民農會我部右吉外三千五百四名ノ提出ニ依ルモノ、此數件ハ請リ鑛山ノ毒、即チ此鑛山事業ノタメニ鑛煙毒ヲ被テ居ルカラ此鑛煙毒ヲ排除シテ與レト云フ意味ニ外ナラヌアリマス、其請願ノ趣意ハ分レテ五ツニテ居ル、或ル請願ハ器械ヲ用テ鑛煙毒ヲ排除スルコトヲ求ムルト云フ趣意ト、其二ハ稻ノ花咲クトキニ限リテ此採鑛ノ事業ヲ中止シテ實ヒタイト云フ趣意ト、其三ハ小阪ノ如キハ小阪ノモノ銅ヲ以テ製スルコトハ已マラ得ナイガ、此所ニ外ノ採鑛ヲ持テ來テ多ク盛ニヤルガタメニ其煙害ハ至大ナル、故ニ小阪ノ採鑛ノミニ限リテ實ヒタイト云フノガアル、其四ハ現在ノ場所ヲ變更シテ實ヒタイト云フノモアル、其五ハ此業ヲ禁止シテ實ヒタイト云フノモアル、小阪等ノ請願モ亦要スルニ此五ツノ方法ヲ以テ鑛毒ノ被害ヲ排除シテ實ヒタイト云フノガ請願ノ要旨デ、此問題タルヤ容易ナラヌ問題デアラガタメニ、請願委員會ニ於テモ分科中ニ特別委員ヲ設ケテ、特別委員ハ數回ノ審議ヲシテ、サウシテ政府ニ此趣旨ヲ質問應答致シマシタトコトコトガ、政府委員ニ於テモ此被害ハ認メテ居ル、即チ今日被害問題ハ一ノ事實トシテ政府モ大ニ苦心シテ居ル、力ノ及ブ限リ是ガ鑛煙毒ノ排除ニハ盡力ヲスル考デアルト云フコトヲ明言ヲサレタノデゴザイマス、故ニ茲ニ採鑛ヲシテ院議ニ付スルコトニナツタ次第デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第三十一乃至第三十八ハ唯今委員長報告通リ採擇スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ 日程第三十一乃至三十六ハ採擇スルコトニ決シマス、日程第三十七、特別報告第七十八號、青森港築修ノ請願ヲ議題ト致シマス、委員長報告

第三十七 (特別報告第七十八號) 青森港築修 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ハ青森商業會議所會頭樋口喜輔ノ提出ニ係ルモノデ、請願ノ要旨ハ青森港ノ修築ヲシテ實ヒタイト云フノデアアル、是ハ當地ノ北海道及樺太路領沿海州トノ交通運輸ニ至大ノ關係ガアルカラ、此青森港ヲ修築スルコト云フコトハ目下ノ處急務デアルト云フ旨趣デゴザイマス、是亦採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通本請願ハ採擇スルコトニ決シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナシト認メマスカラ、本請願ハ採擇スルコトニ決シマス、日程第三十八、特別報告第八十一號、加古川改修ノ請願ヲ議題ト致シマス、委員長報告

第三十八 (特別報告第八十一號) 加古川改修 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ハ兵庫縣加古郡加古川町長伊藤萬治郎外十八名ノ提出ニ係ル請願デゴザイマス、此請願ノ要旨ハ加古川ト云フ川ハ餘リ大キナ川デナケレドモ、水害ノ峻烈ナルコトハ實ニ他ノ河川ニ劣ラヌデアアル、サウシテ此川ハ年ヲ積メ毎三川底ガ埋メラレマシテ、此水害ハ非常ナモノデアアル、唯一言ヲ以テ申シマシナラハ、此邊ニ居ル古老ハ此川ヲ通リテ居ルトコロノ船ハ僅ニ帆ノ先キシカ見ルコトガ出來ナカッタノガ今ヤ船ノ全般ガ見ユルデアアル、因リテ以テ川底ノ上ツテ洪水ノ害ノ至大ナルコトノ一端ヲ知ルコトガ出來ルト云フ趣旨ヲ敷衍サレテ居ルデアアル、委員會ニ於テハ其事實ヲ審査致シマシタ結

果採擇スルコトニ決シマシタノデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通リ本請願ハ採擇スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナシト認メマスカラ、本請願ハ採擇スルコトニ決シマス、日程第三十九、特別報告第八十二號、四日市港修築費國庫補助ノ請願ヲ議題ト致シマス、委員長報告

第三十九 (特別報告第八十二號) 四日市港修築 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ハ三重縣四日市大字濱町七十五番屋敷平民三重紡績株式會社取締役伊藤傳七外九名ノ提出ニ係ル請願デ、請願ノ要旨ハ四日市港ヲ修築致シマスルニ付イテ到底地方費ノ能ク辨ズルコトコトコトニ依リテ、國庫ノ補助ヲ仰ギタイト云フデアリマス、四日市ハ御承知ノ通り位置ノ上ニ於テ樞要ノ港デアツテ、神戸橫濱ノ中間ニアツテ、此港ヲ以テ運輸交通ノ港道トナツテ居ルコトハ餘程至大ナルデアアル、而シテ此經濟上ノ關係ハドウカト云ヘバ、三十二年ニ始メテ開港場トナツタトキニハ、僅ニ六十九萬八千餘圓ノ金高デゴザイマシタガ、四十一年ニナリマシテ俄ニ二十倍ヲシテ、一千三百四十八萬餘圓ニ及ンテ居ル、又稅關ノ輸入ヲ調ベテ見マシテモ、三十二年ニハ八千九百三十九圓デアツタケレドモ、四十年ニナリマシテハ一躍五十三萬八千三百二十圓ニ上ツテ居ルノデゴザイマス、而シテ此界限ノ產出物品ハ茶、米、陶器類ノ如キ、此四日市港ハ當ニ該地方ノ港ノミナラズ、日本帝國ノ港ト致シマシテ海外トノ關係ハ餘程至大ナルデアラウト思フ、若シ此產出物品ヲ神戸港、橫濱港ヨリセンカ、必ズ名古屋ヨリ長キ鐵道ノ便ヲ藉ラナケレバナラヌデアアル、若シ此港ニシテ修築宜シキヲ得タラバ、直チニ此名古屋ヨリ此港ニ出シテ此港ヨリ海外ニ輸出スルニ於テハ如何ニ便利デアラウカ、尙此處ハ本邦開港場中第八位ヲ下ラヌトコロノ開港場デアリマス、ソレ故ニ此港ヲ修築スルニハ相當國庫ヨリ補助ヲシテ實ヒタイト云フ趣旨デゴザイマス、此請願モ請願委員會ニ於キマシテハ相當ト思ウテ採擇スルコトニ決シマシタ

(「大贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナシト認メマスカラ、本請願ハ採擇スルコトニ決シマス、日程第四十、特別報告第八十三號、樺太航路開始ノ請願、委員長報告

第四十 (特別報告第八十三號) 樺太航路開始 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ハ青森商業會議所會頭樋口喜輔ノ提出ニ係ルモノデ、樺太航路開始ノ請願デゴザイマス、明治三十七八年戰役ノ結果、南樺太ノ帝國版圖ニ歸セシヨリ青森港ト該島ノ交通關係ハ漸次親密トナツタノデアアル、此交通機關ノ設備ヲ要望スルガタメニハ速ニ青森ト樺太間ニ一ノ航路ヲ開始シタイト云フ請願ノ要旨デアリマス、本請願モ時宜ニ適シタルモノト見テ採擇スルコトニ決シマシタ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通リ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

官報號外 明治四十二年三月二十三日 衆議院議事速記録第二十四號 請願會誌

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長報告通り本請願ハ採擇スルコトニ決シマス、日程四十一、特別報告第八十四號、青森浦鹽間命令航路開始ノ請願、委員長報告

第四十一 (特別報告第八十四號)青森浦鹽間命令航路開始ノ請願 (委員長報告)

○立川雲平君 本請願ノ請願人ハヤハリ前請願人ト同一人デアリマス、此請願ノ要旨ハ青森浦鹽間命令航路ヲ開始シテ貫ヒタイト云フ請願デアツテ、是亦日露協約ノ結果ヲ確實ニシ兩國ノ和親ヲ鞏固ナラシムルニハ、彼我ノ交通ヲ利便ニシ、兩國ノ通商ヲ盛ナラシメナケレバナラス、而シテ是ガ方策トシテ先ツ採ルベキ手段ハ交通機關ノ設備ニアル、依テ明治四十二年度ヨリ政府ノ命令航路タル日本海回航線ヲ延長シテ、同回航船ヲ青森港ニ寄港セシメテ貫ヒタイト云フノアル、故ニ請願委員會ニ於テ其趣意ヲ至當ナリト認メ採擇スルコトニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ
○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本請願モ採擇スルコトニ決シマス

○議長(長谷場純孝君) 諸般ノ報告ヲ致シマス
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
上越鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者 日向 輝 武君 武藤 金 吉君
一根本正君外一名ヨリ遊廓濫設ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
遊廓濫設ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十二年三月二十二日
提出者 根本 正君 東 武君
賛成者 白石 義 郎君
外二十九名
遊廓濫設ニ關スル質問主意書

第一

北海道旭川町字中島遊廓地ハ公立上川中學校及高等小學校ニ接近シ教育上風紀上至大ノ影響アルコトハ既ニ天下ノ公論ニシテ第二十四回議會及當議會ニ於テ貴衆兩院ニ於テ請願採擇ノ主旨ニ徴スルモ明カナリ然ルニ政府ハ本件ニ對シ未ダ何等ノ調査ヲ遂ケヌ又何等ノ方針ヲ明示セサルハ公議公論ヲ無視スルノ嫌アリト信ス故ニ左ノ件ニ付キ質問セムトス
一政府ハ中島遊廓地ハ教育上風紀上弊害ナシト認ムルカ否
二政府ハ中島遊廓地ヲ撤廢スルノ意思ナキヤ否

三若シ弊害アリトスレハ何故ニ速ニ之カ調査ヲ遂ケ撤廢ノ方法ヲ講セサルカ
第二
陸軍當局者ハ軍隊ノ風紀取締上遊廓設置ヲ必要ト主張セラル、ハ左ノ新聞記事ニ依テ證明スルコトヲ得如斯ハ汎ク社會ノ風紀ヲ紊亂セシモノニアラサルヤ敢テ政府ノ意見ヲ明答サラレシコトヲ望ム

明治四十二年二月二十五日水戸常總新聞中陸軍中將殿島重雄ノ言中ニ
水戸市カ遊廓ヲ設置シテ風紀ヲ紊亂スルトカ風教ニ害カアルトカ義烈兩公ノ遺訓ニ背クト云フナラバハナセニ曖昧茶屋ノ増加ヲ默許シテ置クカ云々
來月中旬カラ二千人近クノ兵隊カ這入テ來レバ、彼等ノ最大慰藉トスルガ先ヅ第一ニ遊廓アル兵營所在地タル水戸ニ遊廓ガナケレバ曖昧茶屋ニ潛リ込ム様ニナル間接國防力ニ關係スルコトダカラ輕視スベキ問題デナカラウト思フ
水戸市一個ノ風紀ヤ風教トドツチガ重大デアラウ殊ニ予ハ遊廓ガ設置サレタカラトテ決シテ心配ハナカラウト思フ要スルニ予ヲシテ謂シムレバ寧ロ水戸市ニ遊廓ヲ設置スベシト主張スル側デアアル
又二月十五日水戸タイムズ新聞中高木陸軍中佐ノ言中ニ
妓樓ナキトキハ軍隊ノ風紀ヲ一層惡クシ其衛生ニモ亦大ナル影響ヲ有ス云々妓樓ガ殆ンド兵營ノ附キモノ、如キ感アリ
右及質問候也
一委員ヲ指名スルコト左ノ如シ
所得稅法中改正法律案
吉植 庄一郎君 荻野 芳藏君 澤田 寧君
森 茂 生君 石郷岡 文吉君 竹田 文吉君
小河 源一君 村田 虎次郎君 花井 卓藏君

○議長(長谷場純孝君) 明日ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會
午後五時十四分散會

衆議院議事速記録第二十二號正誤

頁 肆行 誤 正
四六〇 上二三 激甚地 激甚地激甚地